

滋賀医科大学外科
同門会誌

2020年度

一般社団法人 滋賀医科大学外科同門会

目 次

巻 頭 言

1. 巻 頭 言	加藤 弘文	1
2. 巻 頭 言	谷 徹	3
3. 巻 頭 言	谷 眞至	4
4. 巻 頭 言	鈴木 友彰	5

岡田 慶夫 先生追悼	加藤 弘文	6
------------	-------	---

2019 年度 同門会各賞受賞のことば

1. 同門会賞受賞	村田 聡	8
2. 理事長賞受賞	山口 智弘	9
3. 若手外科医賞	油木 純一	10
4. 若手外科医賞	首藤 加奈	11
5. 若手外科医賞	榎本 匡秀	12
6. 若手外科医賞	林 一喜	13

同門会便り

1. 甲南病院	山本 寛	14
2. 長岡京病院	藤野 光廣	15
3. 神崎中央病院	内藤 弘之	16
4. 新古賀病院	池添 清彦	17
5. 公立甲賀病院	藤田 琢也	18
6. 三菱京都病院	山下 直己	19
7. 近江八幡市立総合医療センター	松林 景二	20
8. 大津赤十字病院	近藤 康生	21

新入会員紹介

消化器外科	仁科 勇佑	22
消化器外科	三中 淳史	22

学生海外自主研修報告

医学科 4 年生	青山 滉平	23
医学科 4 年生	松川 華那	24

教室業績

滋賀医科大学外科学講座 (消化器・乳腺・一般外科)	25
滋賀医科大学外科学講座 (心臓血管外科)	39
滋賀医科大学外科学講座 (呼吸器外科)	40
滋賀医科大学総合外科学講座	43
滋賀医科大学革新的医療機器・システム研究開発講座	46
滋賀医科大学医学部看護学科臨床看護学講座	47

関連病院業績

1. 生田病院	51
2. 宇治徳洲会病院 外科	51
3. 近江八幡市立総合医療センター 心臓血管外科	52
4. 有明病院 消化器センター 大腸外科	52
5. 金沢循環器病院 心臓血管外科	60
6. 岸和田徳洲会病院 心臓血管外科	60
7. 北野病院	62
8. 京都医療センター 呼吸器外科	63
9. 京都第一赤十字病院 乳腺外科	63
10. 甲南病院 外科・消化器外科・肛門外科	64
11. 公立甲賀病院 呼吸器外科	65
12. 古賀病院 21 消化器外科	66
13. 滋賀病院 外科・乳腺外科	66
14. 静岡県立静岡がんセンター 食道外科	68
15. 順天堂大学 心臓血管外科	68
16. 第一東和会病院 内視鏡外科センター	71
17. 武田総合病院 呼吸器外科	72
18. 瘰癧生会脳神経外科病院 外科	72
19. 長浜赤十字病院 外科	73
20. のじまバスキュラーアクセスクリニック	76
21. 能登川病院	77
22. 東近江総合医療センター 呼吸器外科	78
23. ベルランド総合病院 外科	79
24. ベルランド総合病院 乳腺外科	80
25. 三菱京都病院 呼吸器外科	81
26. 南京都病院 呼吸器外科	82
27. 横浜総合病院 ハートセンター 心臓血管外科	82
28. 洛和会音羽病院 呼吸器外科	83

一般社団法人滋賀医科大学外科同門会

1. 役員一覧	85
2. 定款	86
3. 賛助会員一覧	89

卷 頭 言

- | | |
|---------------------------|---------|
| 1. 一般社団法人滋賀医科大学外科同門会 理事長 | 加 藤 弘 文 |
| 2. 一般社団法人滋賀医科大学外科同門会 副理事長 | 谷 徹 |
| 3. 一般社団法人滋賀医科大学外科同門会 理事 | 谷 眞 至 |
| 4. 一般社団法人滋賀医科大学外科同門会 理事 | 鈴 木 友 彰 |

◆ 巻 頭 言



一般社団法人滋賀医科大学外科同門会

理事長 加藤 弘文

2020年のはじめ新年恒例の行事、令和最初の「歌会始の儀」が1月16日、皇居・宮殿「松の間」で「望」をお題に行われました。

天皇陛下の御歌

「学舎（まなびや）にひびかふ子らのはずむ声さやけくあれとひたすら望む」

宮内庁によると、陛下は保育園や学校などを訪れ、子供らと触れ合うたびに、子供らの将来が明るくあってほしいと願う気持ちを表現されました。

滋賀医科大学外科同門会の新年にあたり、学び舎を巣立った若き医師が、より実りある臨床研修で切磋琢磨され、一人前の医師となり、的確な治療を用いて救命する医師となるよう切望しました。また、生きがいと矜持をもった、希望溢れる外科医となっただくように願いました。

大学では谷 眞至教授、鈴木友彰教授を筆頭に救急・集中治療部の江口 豊教授、医療安全管理部の清水智治両教授の協力などで、同門会の外科医がますます多くなり、優秀な人材として、滋賀県下および各地域医療を活性化させ、関連病院とともに前進飛躍されることを望みました。

2019年11月に、滋賀医科大学の大外科学講座となった同門会の初代会長であられた元学長 岡田慶夫先生の訃報に接し、滋賀医科大学開学以来45年の歴史とともに、先生の深いご遺徳とご功績を偲び、心から感謝の意をささげ、謹んで先生のご冥福をお祈り申し上げます。

多くの同門会外科医は様々な思いをいたし、明日への外科学の発展と外科診療の発展に努めることを誓いました。

2月には新型コロナウイルス感染症の発生と流行が明確になりました。中国武漢市での発生状況と医療体制の崩壊、都市封鎖など、非常事態の体制をとられましたが、パンデミックとなってしまいました。各国の国民性、医療体制、社会構造、経済的構造など多くの弱点を痛烈に攻撃され、様々な問題が明らかになってきています。

Sars cov-2の病理も不明な点が多く、100年前のスペイン風邪の時と同じく、感染症の古典的疫学的対処、接触感染、飛沫感染、空気感染、それら3経路の遮断と予防 感染症治療の原則は変わらない。確立された有効薬剤も不明であり、免役ワクチンの作成も1-2年は要する状況であります。

周知のことながら、問題は無症状でのウイルスキャリアが果たす、silent infection 不顕性感

染であります。

これらを通じた感染伝播を抑える方法「発見隔離の方法と、3密回避で伝播しない。」ことが重要であります。

しかし、この感染症のため既存の疾患の診療機会が減少し、重症化をまねいたり、治療機会を失うことがあります。Emergency の医療資源の割愛がなされてしまうことです。

これらに対して適正な診療システムの構築と合理的な流れを医療者自ら組み上げていく必要があります。

今後、インフルエンザを含む感染症の多発する秋冬を迎えて、家庭から始め福祉機関や地域社会での徹底した公衆衛生知識と実践をあらゆる人々が行えるように、社会教育から始まり、1次、2次、3次医療機関において地道な努力が必要です。

感染症学の専門家の諮問により、政府の対策は立てられ、実施されていますがまだまだ不十分です。実際に滋賀医科大学当局の発表でも、厳重な体制をとっていても、スタッフの症例、また入退院を繰り返す症例の発症など、精密な検査と対処とその結果報告が必要とされます。

我々外科医は、感染症も取り扱うものとして、感染症の原理原則を踏まえて 日常の生活行動も含めて、病院での行動も進めたいと思います。

新しいウイルス感染症を乗り越えて、

新しい社会を構築していく

新しい医療システムを構築して

新しい外科医となって活躍できるように頑張りましょう。

◆ 巻 頭 言



一般社団法人滋賀医科大学外科同門会 副理事長
滋賀医科大学 革新的医療機器・システム研究開発講座

特任教授 谷 徹

巻頭言を書く期日に遅れ8月に入って書いております。

2月から始まったコロナウイルスによる大禍は、3月に入って、会員の皆様にこの災いを乗り切った時に次の対策を話し合う組織を立ち上げようと呼びかけたのですが、今となってその予測の甘さに自分自身恐れ入っている次第です。当初9月くらいには落ち着くものと考えておりましたが、今後何波も来る可能性を秘めた感染の波は、今年中に終わりそうにない勢いを見せております。まして2021年の新年会に先駆け、話し合いを持つことさえもままならない状況になりました。新年会も皆さんと一堂に会することが可能かどうか、不確かになっている状況です。

このコロナの経験がもたらしたものが極めて大きいと感じる点は皆さん同じだと思われまます。今後変えなければならない新しい常態（new normal）が叫ばれております。しかし生活だけが変わるのではなく、我々は普通の日々の生活を続けていくにも、常にリスクを考えねばならないことに気づかされました。リスクは当然自然災害やコロナのような感染もありますが、自分たちが選んだ政府やその行政、社会構造、風習、経済活動等に至るまで広がり、構成員から有り方まで全て見直す必要があると感じられます。そしてその大改革に必要な代替えとなる技術も5G、8G等として登場しており、解決手段が全く無い訳ではないのも事実です。

しかし今我々に見えてきたものは通常時には立派な国だと思っていた母国の指導的立場の方々の言動を信用できなくなり、如何にも脆く頼りない政府や行政であった事です。昨今ではリーマンショックやバブル崩壊を超える経済崩壊と財政破綻が囁かれ、国家破綻の記事さえ目につく今日となりました。

対処すべきことは膨大ですが、今巻頭言において望むことは、来年の新年会に一堂に会することができてもできなくても皆さんが健康であり、その確認がとれることです。医療最前線で働かねばならない皆様にとって大きなリスクを抱えての毎日と存じますが、皆様リスクに立ち向かって身体に十分気をつけ、コロナに対処して元気にお会いできることを祈念する事でありまます。

◆ 巻 頭 言

一般社団法人滋賀医科大学外科同門会 理事
滋賀医科大学 外科学講座（消化器・乳腺・一般外科）

教授 谷 眞 至



同門会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は外科学講座の活動にご理解をいただき誠に有難うございます。今後とも、倍旧のご厚情を賜りますようお願い申し上げます。

さて、このような月並みな形でのご挨拶となりましたが、2020年のトピックスは何と言っても新型コロナウイルス感染症以外には思い描くことができません。この巻頭言は7月に書いていますので、以後、何も起こらないことを祈るばかりです。ウイルス感染自体は自然との闘いではあります。さらに、今年の梅雨は梅雨入り当初から前の降り方が尋常ではなく、今でこそ聞きなれた言葉になりました線状降水帯に起因する豪雨で多くの方が被災しております。自然の猛威に翻弄されてばかりですが、COVID-19に感染された方々、水害に被災された方々に対し、心からお見舞い申し上げます。

今年の同門会の新年会では、特別講演の講師の先生が体調不良で、急遽、中止になりましたが、今さらながら、これは今年1年の想定外の事態の予兆であったのかと、振り返れば思うことができます。

昨今、マスメディアなどで持続可能という意味の Sustainable という言葉を聞く機会が増えてきたように思います。当然のことながら、私たちも、医学の進歩と社会の変化に歩調を合わせた Sustainable な外科学講座であることが要求されますが、柔軟性の中にもキラリと輝く1本の硬い芯を持ち続けることも必要かと思えます。まさかの想定外のことがばかりが起こるため、持続可能というようなスマートな立ち位置どころか、なるようにしかならないといった開き直りしかできないような泥臭い時代になってきた感もあります。やはり外科医は、患者のために何かできることはないのか、何をすれば患者のためになるのか、日々考え、日々勉強し、日々悩み、そして、日々診療する医師になっていくべきと考え、それを実践するべく尽力したいと考えておりますので、同門会会員の皆様のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

◆ 巻 頭 言



一般社団法人滋賀医科大学外科同門会 理事
滋賀医科大学 外科学講座 (心臓血管・呼吸器外科)

教授 鈴木 友彰

2019年3月に前任の浅井教授より受け継ぎ、現時点(2020年7月)で一年4か月が経過しました。この間、何をしていたのだろうかというくらい教授としての実績を何も残していません。

ただ、微細な前進はあったので紹介させていただきます。

・2020年1月。済生会滋賀県病院に心臓血管外科医の常勤を送ることができました。宮下史寛です。済生会での心臓血管外科開設は初めてです。済生会さまからは、以前より熱望要請されていたのですが、なんとか期待に応えることができました。腹部大動脈手術やステントグラフトなど行っております。済生会は、県内トップの救急医療施設であり、そこに循環器外科医がいなかったという事態が解消されました。

・2020年4月。待望の新局員が入ってくれました。滋賀医大出身の森陽太郎です。今年入局員がなければ、本当に先の見通しが立たないところでしたが、首の皮一枚つながりました。大切にするあまり、甘やかしすぎて過保護になってしまっています。

・2020年4月。大津赤十字病院で心臓血管外科を開設し、常勤を置くことができました。近藤康生です。滋賀医大から単独科として大津赤十字に入るのは心臓血管外科が初めてのこのようです。大津赤十字は一年以上心臓手術を休止していましたが、わが教室から送り出し、再開することができました。安全運転で進めていきたいと思えます。

・2020年6月。なんと、急転直下、二人のベテラン心臓血管外科専門医が新たに我々の仲間となり、大学に赴任してくれました。川平敏博と神谷賢一です。また同門会の新年会であいさつさせていただきます。この二人の加入で一気に、教室としての充実度がアップしました。来てよかった、と思ってもらえるように、力を発揮していただきたいと思えます。

以上のような変化がありました。去年に比べ、新たなメンバーが3人増え、絶望的な人材不足のサイクルに陥っていましたが、回復の兆しがあります。ただ、いまだ関連病院では欠員枠が5つ以上残っており、少しずつ解消していきたいと思えます。

今後もしばらく仲間を増やすことに全力を傾け、重厚な教室になっていくよう尽力する所存でございます。

岡田 慶夫 先生追悼

岡田 慶夫 先生追悼

加藤 弘文

故 岡田 慶夫 先生



略歴

1952年3月	京都大学 卒業
1953年	京都大学結核研究所 外科
1967年6月	京都大学結核胸部疾患研究所 胸部外科
1970年	愛知県立ガンセンター 外科部長
1976年4月	滋賀医科大学第2外科 教授
1987年	滋賀医科大学 副学長
1993年	滋賀医科大学 学長
1997年	退任

表彰歴

2002年	勲二等瑞宝章 受賞
-------	-----------

追 悼 文

滋賀医科大学外科同門会 初代会長

故 岡田 慶夫先生

一般社団法人 滋賀医科大学外科同門会

理事長 加藤 弘文

岡田慶夫先生が2019年11月18日午後7時8分、多系統萎縮症のため左京区の病院で逝去されました。謹んで報告いたします。ご指導いただいた門下生をはじめ多くの同門会員にとって驚きでありました。ここに謹んで哀悼の意を表します。

岡田慶夫先生は1952年に京都大学を卒業され、京都大学結核研究所の外科 長石忠三教授の強い勧誘で胸部外科を専門とされました。京都大学結核胸部疾患研究所および愛知がんセンターで胸部外科において、肺結核から始まり肺癌へ対象の主体が移行していく時代に、長石先生監修の不朽の名著「肺・その構造」を分担執筆されました。呼吸器、肺胞の形態学的研究、とくに電子顕微鏡を用いた超微細構造の研究から始まって、肺のリンパ管構造とリンパ流、また肺癌の組織分類、発生過程など、その研究の集大成として著書「肺癌」を1972年に発表されています。当時、肺癌の基礎から臨床まで自分たちのデータを基にした本はなく、多くの研究者に愛読されました。

滋賀医科大学第二外科教授となられてからは京都、滋賀の多くの病院、医師と交流されました。滋賀医科大学ために建学の精神を発揮され、呼吸器外科、心臓外科、消化器一般外科を対象として教室員をまとめて1986年「外科の臨床研修」を刊行され、学部学生教育、外科医師の卒後教育にも多大の尽力をされました。また日本の胸部外科学会、肺癌学会の指導的立場で活躍され、大津市で日本呼吸器外科学会1989年 日本肺癌学会1991年を開催されました。

副学長となられてからは病院長として病院の充実のために救急部、集中治療部を設置され、また、学長として医学部看護学科の設置に努力され、病める人の立場に立って大学の充実に尽力されました。

これらのご業績から2003年勲二等瑞宝章の受勲をうけられました。

滋賀医科大学外科大講座制に移行してからは初代の外科同門会の会長として我々同門会の外科医に慈愛をもって指導してくださいました。

岡田先生の訃報に接し募る思いは尽きませんが、ここに同門会の各位の敬愛を集められた岡田慶夫先生のご遺徳とご功績を偲び、心より感謝の意を捧げますとともに謹んで先生のご冥福をお祈り申し上げます。

2019年度 同門会各賞受賞のことば

1. 滋賀医科大学附属病院 腫瘍センター 村田 聡
同門会賞受賞
Murata S, Yamamoto H, Shimizu T, Naitoh H, Yamaguchi T, Kaida S, Takebayashi K, Miyake T, Tani T, Tani M.
5-fluorouracil combined with cisplatin and mitomycin C as an optimized regimen for hyperthermic intraperitoneal chemotherapy in gastric cancer.
J Surg Oncol. 117:671-677,2018.
2. がん研究会有明病院 消化器センター 大腸外科 山口 智弘
理事長賞受賞
Yamaguchi T, Kinugasa Y, Shiomi A, Kagawa H, Yamakawa Y, Furutani A, S Manabe, Yamaoka Y, Hino H.
Oncological outcomes of robotic-assisted laparoscopic versus open lateral lymph node dissection for locally advanced low rectal cancer.
Surgical Endoscopy 32: 4498-4505, 2018.
3. 滋賀医科大学外科学講座 消化器・乳腺・一般外科 油木 純一
若手外科医賞受賞
油木 純一, 園田 寛道, 三宅 亨, 植木 智之, 太田 裕之,
清水 智治, 米丸 隼平, 森谷 鈴子, 谷 眞至
術前化学放射線療法により完全奏効が得られた局所進行直腸扁平上皮癌の2例
日本消化器外科学会雑誌 51 (12) : 791-799, 2018年
4. 北野病院 形成外科 首藤 加奈
若手外科医賞受賞
島田 加奈, 河合 由紀, 富田 香, 北村 美奈, 加藤 久尚, 坂井 幸子, 森 毅,
清水 智治, 梅田 朋子, 岡野 純子, 鈴木 義久, 目片 英治, 谷 眞至
診断に難渋した豊胸術後乳癌の1例
滋賀医科大学雑誌 31 (1) : 24-29, 2018年
5. 湖東記念病院 心臓血管外科 榎本 匡秀
若手外科医賞受賞
Enomoto M, Kinoshita T, Kondo Y, Suzuki T, Asai T.
Cardiac Surgery Using Hypothermic Circulatory Arrest in a Case of Essential Thrombocythemia.
Annals of Thoracic and Cardiovascular Surgery.
6. 草津総合病院 呼吸器外科 林 一喜
若手外科医賞受賞
Hayashi K, Motoishi M, Horimoto K, Sawai S, Hanaoka J
Left upper division segmentectomy with a simultaneous displaced bronchus and pulmonary arteriovenous anomalies: a case report.
Journal of cardiothoracic surgery 16 ; 13 (1) : 40, 2018

◎ 2019年度同門会 同門会賞受賞



滋賀医科大学附属病院 腫瘍センター

村田 聡 (平成元年卒)

この度は、大変栄誉ある同門会賞を賜り、深く感謝申し上げます。

「がんを克服できる人が一人でも多くなるがん治療」をめざし、その「治療に役立つ研究」をする事をモットーに努力を続けて参りました。

本研究は、多くの消化器がん患者さんを「再発から解放」する可能性が高い、腹腔内温熱化学療法 (Hyperthermic intraperitoneal chemotherapy: HIPEC) の「効果発現機序と治療法の最適化」を探る研究です。

つまり、様々な抗がん剤に対して温熱作用は抗腫瘍効果を増強させるのか？ 抗がん剤は、温度は何度で・どれだけの時間で・どの組み合わせで、腹腔内に存在するがん細胞と曝露させるのが効果的か？ を調べる研究です。

臨床での最適な HIPEC の施行方法を定める重要な研究でしたが、これが世に出るのは、実は長期にわたるかなりの難産の末でした。それだけに論文が世に出て、同門会賞までいただいた感慨はひとしおでした。

この苦勞の末生まれた論文のデータをベースに、これから多くの HIPEC 臨床論文が基礎データに支えられながら世の中に認められていくと思います。

そしてわたくし自身も、HIPEC が、がん手術治療とともにがん治療の中核に位置づけられ、再発を制御してがんを克服できる人が多くなることを信じて、さらに努力していく所存です。

研究の目的は、進行胃がんを治療手術しても発症してしまう腹膜播種性再発を防ぐために、胃がん手術後の腹腔内に存在する腹腔内遊離癌細胞を手術中に殺傷するために施行される HIPEC (腹腔内を温生食と抗がん剤を加え加熱して腹腔内を持続灌流する) 治療を想定し、in vitro でのシミュレーションにより HIPEC の最適条件を決めることでした。

実験では、CDDP、MMC、そして 5-FU の抗がん剤と、3 種類の異なった組織型の胃がん細胞株を用いました。抗腫瘍効果は 3 次元でのがん細胞培養が可能な CD-DST 法を用いて評価しました。

各抗がん剤の様々な濃度における、温熱環境 42℃ と常温 37℃ での各種がん細胞に対する抗腫瘍効果の比較、温熱増感作用の比較により、各抗がん剤の最適濃度を決定しました。

温熱・常温環境下での、抗がん剤の単剤での抗腫瘍効果と、併用での抗腫瘍効果の比較により、温熱環境下 3 剤併用の有用性を示しました。

温熱・常温環境下での、抗がん剤の各種がん細胞への抗腫瘍効果を接触時間で比較する事により、HIPEC の最適時間を決定しました。

これらにより、「3 薬剤併用、42℃、30 分間の HIPEC が最適」であることが判明しました。

論文の reviewer からは、今後の様々ながん種に対する HIPEC 治療の最適化に非常に重要な方法となるので、各細胞株において、さらに温度を変化させ、時間も変化させ、単剤・2 剤・3 剤での抗腫瘍効果を比較しなさいとの (無理難題の) 意見をいただきました。これを全部やっていたら、(私の生涯を捧げるくらい) 恐ろしく時間がかかり、永久に論文が世に出ないと思い、必死で reviewer と議論 (なだめすかし) を繰り返しながら、何とかご理解をいただき今回の受賞論文の publish にこぎ着けました。

最後に、共著者の皆様をはじめ、研究を支えてくださった同門の皆様、また長期にわたり一緒に研究を下された実験補佐の有川様、山元様に深く感謝を申し上げたいと思います。

◎ 2019年度同門会 理事長賞受賞



がん研究会有明病院 消化器センター 大腸外科

医長 山口 智弘 (平成12年卒)

同門会の先生方におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。このたび、理事長賞という大変名誉ある賞を頂き、心より感謝いたします。

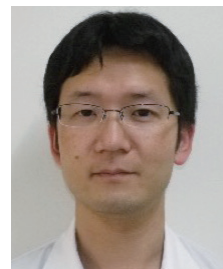
私は、滋賀医科大学附属病院での研修後、革新的医療機器・システム研究開発講座特任教授 谷 徹先生のご厚意で、京都第一赤十字病院、国立がん研究センター中央病院で研修させていただきました。2010年からの8年間は静岡がんセンターにて、東京医科歯科大学 消化管外科学分野教授 絹笠祐介先生のご指導のもと大腸癌の外科治療(特にロボット手術)を学びました。2018年4月より、外科学講座(消化器外科 乳腺・一般外科)教授 谷 眞至先生のご厚意のもと、がん研究会有明病院に赴任させていただきました。

受賞対象となりました私の研究は、直腸癌に対するロボット手術(ダビンチ手術)に関する臨床研究です。従来型の腹腔鏡下手術は、主に2Dの画像で、先端が曲がらない鉗子を使用します。一方、ロボット手術は、3D高解像度画像の下、モーションスケーリングや手振れ補正機能を有した多関節鉗子を使用することで、安定した操作を自由に行うことが可能です。狭い骨盤内で操作が必要な直腸癌手術では、開腹移行率や術後の機能障害の減少に寄与する可能性が報告されています。私は静岡がんセンターで、2011年から2018年までに、ロボット手術を大腸外科全体で約650例経験いたしました。2018年3月、世界で初めて直腸癌に対するロボット手術を報告したカリフォルニア大学の Alessio Pigazzi 教授のもとで研修を受け、さらに研鑽を積みましました。

直腸癌手術は、Circumferential resection margin (CRM) を1mm以上確保しなければ局所再発が増加し、予後に影響することが分かっています。ロボット手術はミリメートル単位の繊細な操作が得意のため、CRMを確実に確保できる可能性があります。後ろ向き研究ではありますが、ロボット手術と開腹手術をマッチングしたデータで比較しました。その結果、ロボット手術の局所無再発生存率は、開腹手術と比較して有意に良好という結果が得られ、Surgical Endoscopy に「Oncological outcomes of robotic-assisted laparoscopic versus open lateral lymph node dissection for locally advanced low rectal cancer」という形で報告いたしました。本研究は後ろ向き研究であるため、前向き試験でエビデンスを明らかにしていく必要がありますが、患者さんの予後に良い影響を与えられた可能性があり大変嬉しく思っています。

私はこの栄えある受賞をきっかけとして謙虚な気持ちを忘れず、襟を正して、常に努力していく所存です。今後とも、どうぞご指導のほどよろしくお願い申し上げます。このような素晴らしい医局に所属できたことを大変光栄に存じます。ありがとうございました。

◎ 2019年度同門会 若手外科医賞



滋賀医科大学 乳腺・一般外科
医員 油木 純一 (平成 24 年卒)

今回、このような栄誉ある賞を戴き、誠に有難うございます。

論文執筆にあたり、熱心かつ丁寧にご指導して頂いた谷 眞至教授、園田寛道先生に厚く御礼申し上げます。

論文の内容は、直腸原発の扁平上皮癌に対して術前放射線化学療法を施行した結果、癌が消失していたという内容です。癌の消失を確認したのは手術で病変を摘出することによりますが、この経験は手術に対する姿勢に大変影響を及ぼしました。一見、癌が消失しているのであれば手術をしなくてもよかったのではないかという疑問が湧いてきます。しかし実際のところ、術前の検査だけでは癌が消失したことは証明することができませんでした。たとえ、癌が消失したことが分かったとしても手術する意義があるため、手術を選択していた可能性も充分にあります。一度手術を施行すると元に戻すことはできないということ、手術前に十分検査をして医師と患者様、ご家族も納得した上で手術を行うことの重要性を痛感しました。

本論文の一部は私が研修医の時に初めて日本消化器外科学会で発表した症例報告です。発表スライドを懸命に作成し、指導医の先生方にご高覧頂き、何度もリハーサルをして臨んだ学会発表ですが、大変緊張してしまい見るに堪えない姿をお見せしてしまったことを今でも思い出します。その後、園田先生から論文化のご提案を頂きました。日々の臨床業務に追われなかなか論文執筆が進まない中、先生は辛抱強く見守って下さいました。私の力不足を補っていただきながら何とか論文化し、査読も通過して採用されたときはなんとも言えない達成感とともにご指導頂いた先生方に大きな感謝の気持ちが湧いてきました。さらに、若手外科医賞という賞を戴けたことに本当に光栄で恐縮しております。

私の論文で大変嬉しいことをお聞きしました。他院で同疾患の患者様がおられ、主治医の先生が私の症例報告を参考に治療したところ良好な経過を辿られたとのことでした。症例報告の意義の一つは、治療方針が確立していない疾患に関して、治療の参考にして頂ける点だと思います。私が勉強した参考書には「症例報告こそ医学論文の原点」と記載されておりました。症例報告をすることで、医療の発展に少しでも貢献できることを実感しております。

今後も臨床経験を通して、疑問に思うことはしっかりと心に留めて活かしていきたいと思えます。また、今の私があるのは多くの方の御陰であることを忘れずに不撓不屈の精神で臨んでいきたいと思えます。

◎ 2019年度同門会 若手外科医賞



北野病院 形成外科

首藤 加奈 (平成 27 年卒)

この度、若手医師奨励賞受賞をいただき、誠にありがとうございます。このような身に余る素晴らしい賞を得られましたのも、お忙しい中お時間をいただき諸先輩方のご指導いただいた結果であり、心より感謝申し上げます。

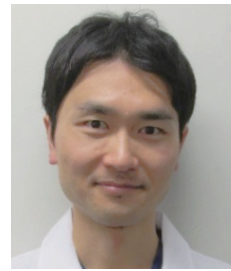
今回受賞させていただいた「診断に苦渋した豊胸後乳癌の1例」はシリコンバックにて豊胸歴のある乳癌患者様で、マンモグラフィが行えず診断に苦渋した症例を論文報告したものです。論文を書いたのは今回が初めてで、書き方の順序も何もわかっていない中、いちから丁寧に何度も見ていただいた河合先生・冨田先生をはじめ諸先輩方に深く感謝申し上げます。

私は形成外科専攻ですが、まだ形成外科が立ち上がったばかりということで谷眞至教授のご厚意で後期研修の初めから乳腺・一般外科にお邪魔させていただき、日々の診療・救急対応・ICの仕方・手術手技・学会発表など、医師としての基本的なことから応用まで本当に熱心に指導していただきました。最初から形成外科にいたら絶対に学べなかったことをたくさん教えていただきました。外科の先生方はすごく仕事熱心で、いつも患者さんのために遅くまで働いて、全然時間がない中でも後輩指導もしっかりとしてくださり、たくさん飲みにも連れて行ってくださったり、人として医師として本当に尊敬しています。女医としてロールモデルとなる先生方もたくさんいらっしゃり、憧れの存在です。

医大を出た後でも、しんどいなあとすることがあっても、外科の先生方の姿を思い出すと自分は全然まだまだだと思ひ頑張れます。自分にしてもらったことを同じようにいつか未来の後輩にしてあげることが恩返しだと思っております。

繰り返しとなりますがこのような大変名誉ある賞をいただき、誠にありがとうございます。この賞を励みにこれからも頑張っていきたいと思ひますので、今後ともご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願ひ申し上げます。

◎ 2019年度同門会 若手外科医賞



医療法人社団 昂会 湖東記念病院 心臓血管外科

榎本 匡秀 (平成 23 年卒)

この度は若手外科医賞を頂き、非常に嬉しく、選考して頂いた方々にお礼申し上げます。今回評価して頂いたのは、2018年に Annals of Thoracic and Cardiovascular Surgery 誌に掲載されました論文「Masahide Enomoto, Takeshi Kinoshita, Yasuo Kondo, Tomoaki Suzuki, Tohru Asai. Cardiac Surgery Using Hypothermic Circulatory Arrest in a case of Essential Thrombocythemia.」になります。血液凝固障害をもたらす本態性血小板血症を基礎疾患に持つ上行大動脈瘤及び大動脈弁狭窄症の患者に対し、術前の評価と対策を講じた上で、低体温循環停止下に上行大動脈置換と大動脈弁置換を行い、良好な結果を得た症例報告です。心臓血管外科とは毛色が異なる血液内科分野の知識も動員する必要がありました。今回の論文作成を経て、慢性骨髄増殖性疾患の一つである本態性血小板血症が3つのリスクカテゴリーに分類され、カテゴリーによって治療方法が変わってくることや、この疾患を持つ心臓血管外科症例に対する開心術の報告は限られており、画一的な対策は未だ無いことが分かりました。また、一つの論文を作り上げるためには多大な労力を要し、また多くの方々の協力も必要とすることを改めて実感しました。今回の執筆にあたり指導して頂いた先輩方はもちろんのこと、英文校正にあたり尽力して頂いた滋賀医科大学外科学講座スタッフの Piers Nigel Vigers 氏には書中をもって厚く御礼申し上げます。

医師として臨床の重要性は言うまでもなく、研究も日々挑むべき課題です。私の先輩方は臨床を全国トップレベルで行い、かつ、論文執筆も全国区レベルで行うといった矛盾するようなことを平気でやってのける方々です。今のままでは到底追いつくことができないと感じています。臨床における疑問を調査し、結果を文章にし、世界中の医師と共有するといった過程を積み重ねていくことが、厚みのある医師になるために求められていると感じています。

私は今年で卒後10年目になりますが、一人前の心臓血管外科医師になるのに最適な場所が滋賀であると自ら選択し、人から人への縁でここまで来ることができました。心臓血管外科の医師が関与できるのは手術の数時間と術後の数週間で、患者さんの一生の中でほんの僅かな時間です。しかしながら、人の体にメスを入れるのが仕事であり、責任の密度はどの科よりも大きいです。患者さんに頼られ、メディカルスタッフに支えられ、周囲の先生に認められる医師になるために、さらなる努力を続けていきたいと思えます。

◎ 2019年度同門会 若手外科医賞



草津総合病院 呼吸器外科

林 一喜 (平成 23 年卒)

この度はこのような名誉ある賞をいただき、誠にありがとうございます。まず初めに、日頃よりご指導いただいている医局員の先生方に対しまして、心より感謝申し上げます。

今回ご評価いただきました論文は 2018 年に Journal of Cardiothoracic Surgery 誌に掲載されました「Left Upper Division Segmentectomy With a Simultaneous Displaced Bronchus and Pulmonary Arteriovenous Anomalies: A Case Report」になります。修練させていただいていた国立病院機構京都医療センターにおいて担当させていただいた症例を中心に報告したものです。当時は「珍しい解剖学的破格を伴う症例」程度の認識でおりましたが、調べていくにつれ、これは報告する価値があるのではないか、と思うにいたりました。気管支の分岐異常は、その多くが右上葉支に集中しています。ところが本症例は左上葉支の異常であり、かつ、肺動静脈の走行異常も伴っておりました。過去の報告を検索してみると、左上葉支の分岐異常について言及している報告は、case series 中のもも含めて 13 例ありました。それらを見比べてみると、いくつかの共通点があることに気づきました。即ち、(1) 肺動脈が左上葉支背側を走行しない、(2) V1+2 が下肺静脈へと流入する、(3) 走行異常を伴う気管支が支配する区域には過分葉が存在する、というものです。いずれも、画像診断技術が発達した現代では、術前検査で把握することは可能ですが、手術に臨む外科医にとっては重要な tips であると考え、報告いたしました。

執筆した当時は、まだ和文の症例報告を 2 本書いた程度であり、本論文は英文での報告にチャレンジしてみた思い出深いものです。また、自分の報告が、以降の論文に引用される喜びを教えてくださいましたものでもあります。そのような論文をご評価いただきましたこと、非常に嬉しく思っております。

末筆となりましたが、本症例を経験した当時ご指導ご協力をいただきました澤井先生、元石先生、賀来先生、堀本先生に改めて感謝申し上げます。そして、諸先生方には今後ともご指導ご鞭撻をいただければ幸甚でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

同 門 会 便 り

- | | |
|-------------------|---------|
| 1. 甲南病院 | 山 本 寛 |
| 2. 長岡京病院 | 藤 野 光 廣 |
| 3. 神崎中央病院 | 内 藤 弘 之 |
| 4. 新古賀病院 | 池 添 清 彦 |
| 5. 公立甲賀病院 | 藤 田 琢 也 |
| 6. 三菱京都病院 | 山 下 直 己 |
| 7. 近江八幡市立総合医療センター | 松 林 景 二 |
| 8. 大津赤十字病院 | 近 藤 康 生 |

● 医療法人社団 仁生会甲南病院

院長 山本 寛 (平成元年卒)

令和2年は、コロナ禍で世界中の人々が不安を抱いて生活を強いられるようになりました。

令和2年1月1日より、古倉みのり理事長・院長の後任として、医療法人社団仁生会甲南病院院長に就任しました。本当に大変な時に院長を拝命したと思いますが、こんな時こそ、職員一丸となり、ピンチをチャンスに変え、地域の人々の安心・安全・信頼を得られるよう頑張っていきたいと思っております。

甲南病院は、磯矢良前会長が深川市場に開院され、その後現在の葛木に移転し20年になります。その間、外科同門会の田中久富先生や渡田正二先生が院長を務められ、谷徹名誉教授も理事となっただいており、外科同門会と緊密な関係を継続させていただいている病院です。常勤医は11名(総合内科2、循環器科2、消化器内科1、脳神経内科1、検診1、外科2、整形外科1、麻酔科1)で、外科の神谷純広先生、循環器科(兼透析センター長)の西崇男先生を含め約半数が滋賀医大出身で、さらに外科同門会から9名の非常勤医(消化器外科5、呼吸器外科3、乳腺外科1)にお手伝いいただいています。甲賀・甲南地区というと、大学から遠いイメージを持たれるかもしれませんが、実は甲南病院までは、新名神高速道路の甲南インターから車で7分と近く、大学からは30分程度で、大変便利です。

現在、甲南病院は、地域の皆様に高度な急性期医療から、長期にわたる療養まで安心して受けていただけるように急性期病病床50床、地域包括ケア病床50床、医療療養病床99床そして人工透析センター、検診センター、訪問リハビリテーション事業所を備え、さらに地域の在宅医療・介護医療のニーズにお応えすべく居宅介護支援事業所、訪問看護ステーションこなんの入所施設からなる仁生会 在宅医療支援センターこなんを併設しております。

この度、病院機能の増強、治療・療養環境のさらなる充実のため、令和2年12月の完成に向けて、5月より病院の増築を進めております。増築に伴い、外来化学療法専用のベットを確保し、地域のがん患者さんに対して、大学と連携しながら、当院で可能な手術治療・化学療法をしっかりと担っていきたいと考えております。昨年度の年間の手術症例は、413例(外科154例<全麻117例>、整形外科259例<全麻182例>)と前年度に比べ約1.4倍に増加しており、



消化器・乳腺一般外科手術の内訳は腹腔鏡下鼠経ヘルニア修復術28例、腹腔鏡下胆嚢摘出術26例、腹腔鏡下食道裂孔ヘルニア修復術10例、腹腔鏡下大腸切除4例、腹腔鏡下胃切除4例などで、全麻117例のうち約85%を鏡視下に行っております。今後、高齢者に対する健康寿命の延長を目指して腹腔鏡下鼠経ヘルニア修復術、腹腔鏡下食道裂孔ヘルニア修復術、腹腔鏡下直腸脱手術などの機能回復手術や減量・代謝改善手術である腹腔鏡下スリーブ状胃切除術などの手術症例を増やし、若手の同門の先生方にも魅力ある病院にしていきたいと考えております。今後とも同門会の御支援を宜しくお願い致します。

● 長岡京病院

院長 藤野 光廣 (昭和63年卒)

令和2年4月1日より、水黒知行理事長兼院長が理事長に、S63(8期)の藤野光廣が長岡京病院院長に就任しました。小玉外科に入局してはや32年、未熟な私を暖かくご指導いただき、同門会の諸先輩方には心より御礼申し上げます。

これまでに、常勤だけでも齊ノ内先生、森先生、荒木先生、神谷先生、佐藤先生、村上先生、安先生、村山先生、富田先生、若林先生とたくさんの先生方を長岡京病院に派遣していただき、医局や同門会にお世話になってきました。また、手術指導や当直にも谷 眞至教授はじめ医局より応援をいただきスタッフ一同大変感謝しております。

平安京遷都に先立つ10年間だけ都の置かれた長岡京の地に、昭和55年に当院は開設され、平成19年からALSやパーキンソン病など進行性神経難病の診療にも取り組む障害者施設等入院基本料(10対1)の一般病床97床で現在に至っています。大学からのアクセスも良好で、車で約35分。長岡京ICから現在の病院まで7分、建築中の新病院は阪急線の反対側に移るので、人混みを気にしつつ踏切を渡る必要もなくなり長岡京ICから約3分とより便利になります。大河ブームで人気の、明智光秀の娘・玉(ガラシャ)が新婚生活を送り、本能寺の変後の“山崎合戦”に敗れた光秀が最期の夜を過ごした勝龍寺城へも徒歩10分の場所にあります。

小玉杯の幹事も、花澤先生・水黒先生から引き継ぎ、私と日野記念の仲院長でさせていただくことになったのですが、コロナ対策でなかなか開催できずで申し訳ありません。コロナ肺炎を乗り越え、開催のご案内が届くのをもうしばらく楽しみにお待ちください。

外科臨床では、分娩時陰裂傷後の直腸膿瘍をメインテーマとして、肛門疾患を中心に手術を行なっています。直腸膿瘍は出産直後の若年女性におこる治療困難であった病態ですが、当院の術後成績は良好で口コミを中心に全国から来院されています。谷 徹前教授からも是非とも術式の確立をするようにと激励していただき、日々努力しております。以前は解剖書でしか読んだことがなかった会陰体ですが、ぼんやりと会陰体が見えるようになってきました。

開設後40年が経過し、2021年2月に新築移転の予定です。これまで、設備の老朽化や狭雑な環境で、皆様にもご不自由をおかけしてすみませんでした。現在病院の引っ越し計画に取り組んでいますが、コロナ禍のど真ん中での院長就任でもあり、うまく行くのだろうかと心配だらけで過ごしています。

最後になりましたが、同門会会員の皆様のご活躍とご健勝を祈願するとともに、当院へのご指導ご鞭撻をよろしくお願い致します。



● 医療法人医誠会 神崎中央病院

副院長 内藤 弘之 (昭和 62 年卒)

2020 年 4 月より 医療法人医誠会神崎中央病院（東近江市五個荘町）に赴任して、早いもので 4 カ月近くが経ちました。1987 年に医師になって以来 33 年間、ずっと急性期の患者さんを診療してきましたが、現在は、主に長期の人工呼吸器管理が必要な患者さん、脳梗塞後遺症、脊損、重度の認知症などの患者さん約 30 人の担当医として診療にあたっています。外科医としての片鱗は気管切開、C V ポート挿入、縫合処置程度です。

当院は、一般病棟 80 床（といっても患者さんは療養型病棟とほぼ同じ）、回復リハビリテーション病棟 32 床、療養型病棟 238 床、障害者病棟 50 床の計 400 床の病院です。人工透析も行っており、38 床で月曜日から土曜日まで 2 クールで行っています。期限なく入院でき、数年来入院されている患者様もおられます。新型コロナ感染問題で、どの病院も入院患者さんが減少していると伺っていますが、当院は小生が赴任してからも稼働率 98% 以上とほぼ満床となっています。入院待ちの患者さんもおられ、ほとんどの病院や老健施設が、入院期間に制限があるなかで、神崎中央病院のように期限なく入院できる施設がいかに望まれているかをつくづく感じております。

昨年の 5 月、母が脳梗塞で倒れ、済生会滋賀県病院に救急搬送、一命はとりとめました。その後、甲西リハビリ病院、J C H O 滋賀病院、そして神崎中央病院と転院を繰り返し、やっと本年 3 月に特別養護老人ホームに入所できて落ち着いたところです。家族の身になるといかに転院先を見つけるのが大変であるかを感じ、医療区分や要介護度、介護保険の仕組みなど、急性期を行っていたころは全く興味のなかった分野を、必要に迫られて深く調べ、知識を増やすこととなりました。

実は小生と神崎中央病院との関わりは長く、大学病院勤務時代 11 年、医療法人昂会勤務時代の 10 年間（日野記念病院 8 年 7 カ月、能登川病院 1 年 5 カ月）の 21 年にわたり週 1 回、お手伝いに行っておりました。

今回の母のイベント、小生と神崎中央病院との長い繋がりがもとで、この度、谷眞至教授のご配慮で神崎中央病院に赴任するに至った次第です。

急性期治療のあとの回復、療養等でお手伝いできることがあると思います。また、同門会の方々のご身内、友人等でお困りの際には連絡頂ければと思っております。

今までとは少し違う角度から、滋賀県の地域医療に貢献できるよう診療を行っていく所存です。同門会の方々におかれましては今後ともご指導を頂きますよう宜しくお願い申し上げます。



● 法人天神会 新古賀病院

消化器外科 池添 清彦 (平成6年卒)

平成19年より久留米の古賀病院21に赴任しておりましたが、この4月に新古賀病院へ異動になりました。今年は外科医になって27年目になりますが、その半分を九州で働いたことになります。

家族には1～2年だと話して九州入りしましたが、最近では1千支だったかな?とお茶を濁しています。久留米市は人口30万人、博多から約35km南に位置しており新幹線で15分強です。新古賀病院は、西鉄久留米駅から徒歩3分のところにあり、242床、平均在院日数11.9日、病床稼働率95.2%、年間救急車搬入件数3800件と筑後地域の中核病院として大きな役割を果たしています。また、2019年2月の週刊誌(東洋経済)では全国の医療法人中31位と経営安定力がある病院と評価されています。消化器外科の2019年の手術症例数は568件でした。スタッフは8人です。同門は、私と救急部長を兼任している宇治先生が頑張っております。肝胆膵外科学会高度技能専門医1人、消化器外科学会専門医5人、内視鏡外科学会技術認定医2人と選手層の厚いチームです。



新古賀病院新館の外観

日本肝胆膵外科学会高度技能専門医制度認定修練施設(A)を取得しています。さらに昨年末に新古賀病院にダビンチXi、古賀病院21にXが入りました。コロナ禍で研修が遅れていますが、近日直腸癌におけるロボット支援下手術の導入が安全にできるよう準備しています。このように現状に満足せず常に新しいことに挑戦し続けています。2020年末には久留米で外科系連合学会、年明けには福岡でロボット外科学会が開催されます。九州に来られる時がございましたらぜひ病院見学に来てくださいませ。B級?グルメと芋焼酎で大歓迎です。



向かって左が池添、右が宇治先生

宇治先生は2018年度の内視鏡外科学会技術認定医にパスしました



久留米は、トンコツラーメン発祥の地です

〒830-8577 福岡県久留米市天神町120 電話：0942-38-2222

● 公立甲賀病院

呼吸器外科 藤田 琢也 (平成9年卒)

当院は2013年4月に水口町鹿深から水口町松尾へ新病院として移転し、移転と同時に小生は就任し早7年が経過しております。

当院の現状としては、やはり全世界的な問題と思われませんが新型コロナウイルスの影響が非常に強く出ております。当院は第2種感染症指定病院であり、小生は感染制御部長も務めております。コロナ感染症患者の診療（外来での受診体制・入院病棟の設定）、院内感染の予防、マスク・ガウン等防護用品の不足、各部門からの不安・要求、コロナへの過剰対応からの診療拒絶、様々な問題に直面しております。これらの問題はコロナウィルスのないときには生じなかった問題ですが、医療の本質にもかかわる問題と感じ、辟易することも多くあります。しかしながら一方では、当院でコロナ診療の最前線に立つ医療従事者たちには強い責任感を感じ感服する日々です。

呼吸器外科としては、日々の一般診療は継続可能であり、当科の主要業務である肺癌の手術数は一定数保っております。肺癌診療は、比較優先すべき診療として考えられ、当院では、気管支鏡検査等の内視鏡検査部、当科担当の外科手術、化学療法部、放射線治療部、さらには、緩和ケアと、すべての設備が充実しております。

また、この数年で当院全体での医師数は増加しており、とくに呼吸器内科医が4名体制となっており、今後、呼吸器センターとして、ともに地域医療のニーズにこたえていきたいと思っております。



〒528-0074 滋賀県甲賀市水口町松尾 1256 番地 電話：0748-62-0234

● 三菱京都病院

呼吸器外科 山下 直己 (昭和 58 年卒)

三菱京都病院は 1946 年 10 月に三菱重工株式会社の企業立病院として京都市西京区に開設されました。その後三菱自動車工業株式会社の附属病院となり現在に至っております。

2020 年 7 月に親会社から独立し名称が菱令会 菱令記念京都病院に変更される予定でしたが、年頭からのコロナ禍の対応に追われ、社会情勢が落ち着くまで延期となりました。

当院は病床数 188 床の比較的小規模の病院ですが、循環器疾患、周産期医療、がん診療を 3 本柱に地域ニーズに応える診療を心がけております。心臓血管外科は京都府下で有数の実績を挙げ、小児科は認可 NICU を有し合併症のある分娩に対応しております。また緩和ケア病棟をいち早く導入し、がん診療においてシームレスな診療を行っております。

当院にはもともと呼吸器外科はなく呼吸器疾患は呼吸器・アレルギー科として喘息、COPD、肺炎などの診療を行っておりました。肺癌、転移性肺腫瘍などの外科症例は私の前任地に紹介されることがしばしばあり、そのような経緯もあり 2011 年に赴任しました。当時はひとりでしたので外科の先生、研修医の先生の協力のもと肺切除を始め、大学から寺本晃治先生、大学院生の橋本雅之先生、五十嵐知之先生、片岡瑛子先生はじめ多大のご助力でストレスなく胸腔鏡下手術を開始することができました。2015 年 6 月に堀哲雄先生、2017 年 8 月末が私の一応の定年ということで元石先生が赴任され、呼吸器外科として充実した構成となりました。

近隣には歴史のある呼吸器外科を有する病院がありますが、当院の特色を生かして地域の医療に少しでも貢献できるよう励みますので同門会の皆様のご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



〒 615-8087 京都市西京区桂御所町 1 番地 電話：075-381-2111

● 近江八幡市立総合医療センター

心臓血管外科主任部長 松林 景二 (平成4年卒)

近江八幡市立総合医療センターは滋賀県下4施設ある救命救急センターの1つであり、東近江医療圏における救急医療と重症集中医療の中核病院として重要な役割を担っています。日々、多くの重症救急患者を受け入れており、いつでも緊急の心臓血管疾患患者の対応ができる体制を取っております。

心臓血管外科は2013年4月に新規開設され、7月に私が赴任して以来、早くも丸7年が経過しました。開設当初から、できる限り断らない医療を目指して頑張っています。それを実践するためにも、循環器内科やコメディカルと密接な連携をとって、治療方針を決定する、いわゆる“ハートチーム”による診療を実践しています。

2019年2月より乃田浩光先生(平成12年卒)が赴任して、現在2人体制でやっておりますが、彼の得意分野である血管内治療が積極的に行う事ができるようになり、大動脈疾患の治療方針の幅がかなり広がりました。現在、定期的に週1-2例の心臓胸部大血管手術と腹部大動脈瘤や末梢血管手術をそれぞれ順調にこなしています。

また、近江八幡のみならず東近江医療圏の患者さんのお役に立てるよう、啓蒙活動の一環として、こういった心臓血管疾患があつて、どのような疾患に手術が必要で、手術とはどんなものか、手術を受けた後はどうなるのかなど、リハビリテーション部や薬剤部、栄養管理室のスタッフにも講演をしてもらって、開設当初から毎年欠かさずに市民公開講座を開催しています。

引き続き、“高水準、安心と信頼の心臓手術”をモットーに、近江八幡ならびに東近江地域のために貢献できるよう、今後も精進してまいります。今後とも同門会の皆様のご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



〒523-0082 滋賀県近江八幡市土田町1379 電話：0748-33-3151

● 日本赤十字社 大津赤十字病院

心臓血管外科 近藤 康生 (平成 23 年卒)

2020 年 4 月に大津赤十字病院心臓血管外科に赴任しました近藤と申します。

大津赤十字病院は 1904 年（明治 37 年）に発足し、創立 100 年を超える日本でも最も歴史のある病院の 1 つです。一般病床数 740 床というキャパシティーを生かして、併設されている高度救命救急センターで年間 7000 台超の救急車を受け入れており、全科 24 時間体制で湖西・大津地域の中核病院として医療に取り組んでいます。

心臓血管外科は昭和 57 年に新規開設されてからは緊急を含めた心臓血管外科手術で地域に貢献をしていました。ピーク時には滋賀医大心臓血管外科に次ぐ 100 件超の開心手術が行われていました。しかしながらここ数年の諸般の事情があり、奇しくもハイブリッド手術室が完成した 2019 年 4 月に心臓血管外科手術が休止となりました。緊急手術のみならず予定手術を受けられたはずの患者様も行き場に困り、地域の先生方も紹介先に困り、湖西地域の心臓血管外科診療がここ 2 年ほど停滞し揺らいでいました。どの地域においても『標準的な手術を標準的な医療として提供できる』を理念とする滋賀医大心臓血管外科としても湖西地域の心臓血管診療の状況を憂いておりました。そのような中、大津赤十字病院から

正式に心臓血管外科再建依頼があり、このたびの 2020 年 4 月からの心臓血管外科再開の運びとなりました。

常勤スタッフは現在私近藤 1 人ですが、関係各科やコメディカルを含めた当院スタッフ及び滋賀医大心臓血管外科の全面バックアップのもと心臓血管外科治療に当たっています。心臓血管外科診療再開と同時にコロナ禍もありましたが、おかげさまで 2020 年 4 月から 3 ヶ月で緊急を含む開心手術 8 件（平均術後日数 13 日）、開腹手術 3 件、血管内ステントグラフト治療 12 件、末梢血管治療 4 件と順調な再出発と

なっています。軌道にのりつつありますが、好事魔多しといいますので、足元をすくわれぬように細心の注意を払い診療を続けていきます。

今後は（1）24 時間 365 日の緊急手術ができる環境の構築、（2）湖西地域の心血管疾患ネットワーク・信頼の再構築、（3）人員が充足すればハイブリッド手術室を生かした TAVI（経カテーテル的大動脈弁留置術）開始の 3 つを直近の課題としています。正直、私一人では力が及ばぬ事が多く、地域の先生方や滋賀医大の先生方にご助力いただき何とか達成していく所存です。地域の信頼を得て地域医療に貢献できる診療科に発展していけるよう精進してまいります。今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願いします。

1904 年（明治 37 年）に発足

昭和 57 年 心臓血管外科部

令和 1 年 6 月 ハイブリッド手術室



● 新入会員紹介

消化器・乳腺・一般外科



仁科 勇佑

出身大学：滋賀医科大学

(平成 28 年卒)

この度、新たに滋賀医科大学外科同門会の一員となりました、仁科 勇佑と申します。同門の先生方におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。私は平成 28 年に滋賀医科大学を卒業し、卒後 2 年間は兵庫県尼崎市にあり、関西労災病院で初期研修を行いました。卒後 3 年目は同病院で泌尿器科の後期研修を開始いたしましたが、より広く外科学を学びたいと思い、泌尿器科専攻医から外科専攻医への転身を決意し、卒後 4 年目から外科研修を開始しております。母校で再び研修することができ、たいへん嬉しく思っております。一人前の外科医となるよう精進して参りますので、同門の先生方におかれましては、ご指導ご鞭撻の程、何卒よろしくお願いたします。



三中 淳史

出身大学：弘前大学

(平成 29 年卒)

近江八幡出身で平成 19 年京都薬科大学を卒業後、ヤクゴ薬局豊郷店、日野店で 5 年間薬剤師をしておりました。平成 24 年弘前大学医学部に学士編入し医師免許取得後、八戸市立市民病院で 2 年間の初期研修を行い、昨年滋賀医科大学外科学講座に入局しました。現在、長浜赤十字病院で修練中です。

医師 4 年目でまだまだ未熟ではありますが、滋賀の医療に貢献できるよう努めてまいりますので、ご指導ご鞭撻の程宜しくお願いたします。

● 学生海外自主研修報告

アメリカの基礎医学研究を見てきて

医学科4年 青山 滉平

私はこの夏、第4学年の海外自主研修として、当外科学講座からご紹介いただき、アメリカで2週間の研修をさせていただくことができました。研修させていただいたのは、ニューヨーク州にあるカナダとの国境の街、バッファローのロズウェルパーク癌センター。この免疫療法センターにて、当講座にもおられました、伊藤史人先生にご指導いただき、腫瘍免疫に関する免疫学の研究について学ぶことができました。



ロズウェルパーク癌センター

滋賀医科大学では、この夏季休暇期間中の自主研修以外には、基礎研究について学べる機会は少なく、実際にアメリカという地でいろいろな国籍の研究者が共同で研究をされている現場を見ると非常に新鮮で、毎日が新しい発見や学びで溢れていました。この学びは、事前に大学で医学を勉強したから得られたものであると思うとともに、大学での授業や試験勉強だけでは経験することのできない非常に貴重な体験は、伊藤先生をはじめ、現地で丁寧にご指導くださった先生方のご尽力があってこそ得られました。

また、先生方は、医学研究だけでなくアメリカで働くということや先輩の医師としてのアドバイスなどもお話ししてくださり、自分の将来を新たに見つめなおすことができました。今後どういった医師になりたいのか、どういう選択肢があるのかということを考えるととても刺激的な研修でした。

出発まで日本で研修のご指導をしてくださった谷 眞至教授からは出発前に、「医学の勉強だけでなく、アメリカという国を見てくることもまた勉強である」というお言葉を頂きました。その言葉を胸に、ほとんど海外に行く機会のなかった私は目で見て聞いて、肌で感じ、五感をすべて使って存分にアメリカでの滞在を楽しむことができました。異国の地で異なる言語や文化、マナーや社会など、すべてがワクワクするもので、間違いなく一生忘れることのない思い出になりました。

最後になりましたが、このような貴重な機会を与えてくださった、谷 眞至教授と秘書の中村康子さんをはじめ、春から長らくご指導、ご支援賜りました外科学講座の皆様にご感謝を述べさせていただきます。ありがとうございました。



ロズウェルパーク癌センター

● 学生海外自主研修報告

海外自主研修を終えて

医学科4年 松川 華那

私は一昨年の、本庶佑先生のオプジーボに関するノーベル賞受賞を受けて、腫瘍免疫を中心とした、最新の免疫学に非常に興味を持っていました。4年の海外自主研修で、この分野に一番近い内容の研修先を一昨年から学生に紹介して下さっていた、谷教授に直接お願いし、昨年私も、同学年の青山君と一緒にロズウェルパーク癌センターで8/30～9/13日の約2週間、研修させていただきました。

ロズウェルパーク癌センターの免疫療法センターで、滋賀医大を卒業された伊藤史人先生は、腫瘍に効果のあるT細胞や樹状細胞に着目した研究をされていて、これらについて、とても優しく丁寧に教えてくださりました。腫瘍免疫は、外科手術や放射線治療、薬物療法でも根治できないがんを根治しうる可能性を秘めていることに非常に感銘を受けました。特に樹状細胞に着目した研究はあまり耳にしたことがなかったので、大変勉強になりました。



ロズウェルパーク癌センター

バッファローはカナダの隣にあり、落ち着いた街で、綺麗な街でした。滞在中、バッファローの街を見て歩きましたが、至る所に動物のバッファローのロゴや銅像を見ることがありました（街の名前の由来はこのバッファローのようです）。伊藤先生とご一緒させてもらいました、バッファロー名物のウイング（スパイシーな手羽先）は私の好みで、二週間で何度も食べました。近くにナイアガラの滝もあり、大陸の壮大な自然も間近で感じることができ、アメリカの文化や自然、言語の勉強を通して、本当に有意義な滞在になりました。



バッファローの街並み

アメリカへの留学や研修の手続き、滞在の手配など、わからないことだらけでしたが、外科学講座の谷教授や、秘書の中村康子さんが丁寧に指導くださり、アメリカでの自主研修が実現することができました。ありがとうございました。これからは、医療人として、この夏に得た経験を活かしていくとともに、より良い医師を目指してさらに勉強したいと思います。

教室業績

滋賀医科大学外科学講座（消化器・乳腺・一般外科）

【論文発表】

- Iida H, Osaki R, Fujimoto T, Maehira H, Mori H, Kitamura N, Andoh A, Tani M.
Interval between hepatocellular carcinoma treatment and interferon-free direct-acting antiviral agents against hepatitis C is necessary to suppress tumor recurrence.
Mol Clin Oncol. 2019 Jul; 11(1): 99-105, 2019
- Iida H, Tani M, Maehira H, Mori H, Kitamura N, Miyake T, Kaida S, Shimizu T.
Postoperative Pancreatic Swelling Predicts Pancreatic Fistula after Pancreaticoduodenectomy.
Am Surg. 2019 Apr 1; 85(4): 321-326, 2019
- Iida H, Maehira H, Mori H, Tani M.
Serum procalcitonin as a predictor of infectious complications after pancreaticoduodenectomy: review of the literature and our experience.
Surgery Today(2020)50: 87-96, 2019
- Mori H, Miyake T, Shimizu T, Yamaguchi T, Kaida S, Takebayashi K, Iida H, Otsuki A, Inatomi O, Kitoh K, Andoh A, Tani M.
A case of spontaneous colonic perforation in collagenous colitis.
Surg Case Rep. 2019 May 31; 5(1): 90, 2019
- Tani T, Shimizu T, Tani M, Shoji H, Endo Y.
Anti-endotoxin Properties of Polymyxin B-immobilized Fibers.
Adv Exp Med Biol. 2019; 1145: 321-341, 2019
- Itoi N, Umeda T, Ishida M, Murata S, Mori T, Kawai Y, Tomida K, Shimizu T, Kushima R, Tani M.
Infiltration of CD4, CD8, CD56, and Fox-P3-positive lymphocytes in breast carcinoma tissue after neoadjuvant chemotherapy with or without trastuzumab.
Breast Dis. 2019; 38(2): 57-65, 2019
- Tsuchida H, Fujii T, Mizuma M, Satoi S, Igarashi H, Eguchi H, Kuroki T, Shimizu Y, Tani M, Tanno S, Tsuji Y, Hirooka Y, Masamune A, Mizumoto K, Itoi T, Egawa S, Kodama Y, Hamada S, Unno M, Yamaue H, Okazaki K.
Prognostic importance of peritoneal washing cytology in patients with otherwise resectable pancreatic ductal adenocarcinoma who underwent pancreatectomy: A nationwide, cancer registry-based study from the Japan Pancreas Society.
Surgery. 2019 Dec; 166(6): 997-1003, 2019
- Ohta H, Miyake T, Shimizu T, Sonoda H, Ueki T, Kaida S, Yamaguchi T, Iida H, Tani M.
The impact of pharmacological thromboprophylaxis and disease-stage on postoperative bleeding following colorectal cancer surgery.
World J Surg Oncol. 2019 Jun 27; 17(1): 110, 2019
- Iida H, Naka S, Tani M.
Feasibility of a new microwave energy-based scissors device for hepatectomy.
Asian J Surg. 2019 Aug; 42(8): 849-851, 2019
- Akabori H, Tani M, Kitamura N, Maehira H, Imashuku Y, Tsujita Y, Shimizu T, Kitagawa H, Eguchi Y.
Perioperative tight glycemic control using artificial pancreas decreases infectious complications via suppression of inflammatory cytokines in patients who underwent pancreaticoduodenectomy: A prospective, non-randomized clinical trial.
Am J Surg. 2020 Aug; 220(2): 365-371, 2019

Maehira H, Miyake T, Iida H, Tokuda A, Mori H, Yasukawa D, Mukaisho KI, Shimizu T, Tani M.
Vimentin Expression in Tumor Microenvironment Predicts Survival in Pancreatic Ductal Adenocarcinoma:
Heterogeneity in Fibroblast Population.
Ann Surg Oncol. 2019 Dec; 26(13): 4791-4804, 2019

Inoue A, Ota S, Sato S, Nitta N, Shimizu T, Sonoda H, Tani M, Ban H, Inatomi O, Ando A, Kushima R, Murata K.
Comparison of characteristic computed tomographic findings of gastrointestinal and non-gastrointestinal stromal
tumors in the small intestine.
Abdominal Radiology (2019) 44: 1237-1245, 2019

Akabori H, Tani M, Kitamura N, Maehira H, Imashuku Y, Tsujita Y, Shimizu T, Kitagawa H, Eguchi Y.
Perioperative tight glycemic control using artificial pancreas decreases infectious complications via suppression
of inflammatory cytokines in patients who underwent pancreaticoduodenectomy: A prospective, non-randomized
clinical trial.
Am J Surg. 2019 Dec 5, 2019

Ugi S, Morino K, Yamaguchi T, Yamamoto H, Kaida S, Miyazawa I, Sato D, Sekine O, Fujita Y, Kashiwagi A, Tani M,
Maegawa H.
Preserving β -cell function is the major determinant of diabetes remission following laparoscopic sleeve
gastrectomy in Japanese obese diabetic patients.
Endocr J. 2019 Sep 28; 66(9): 817-826, 2019

Hiroya Iida, Masaya Sasaki, Hiromitsu Maehira, Haruki Mori, Daiki Yasukawa, Katsushi Takebayashi, Mika
Kurihara, Shigeki Bamba, Masaji Tani.
The effect of preoperative synbiotic treatment to prevent surgical site infection in hepatic resection.
J Clin Biochem Nutr. 2020 Jan; 66(1): 67-73, 2019

Iida H, Maehira H, Mori H, Tani M.
Efficiency of a radiofrequency sealer (Aquamantys) for parenchymal transection during laparoscopic hepatectomy.
Asian J Endosc Surg. 2020 Jan 29. doi: 10.1111/ases.12785. [Epub ahead of print], 2020

Itoi N, Umeda T, Ishida M, Murata S, Mori T, Kawai Y, Tomida K, Shimizu T, Kushima R, Tani M.
Infiltration of CD4, CD8, CD56, and Fox-P3-positive lymphocytes in breast carcinoma tissue after neoadjuvant
chemotherapy with or without trastuzumab.
Breast Dis. 2020;39(1):47-49. doi: 10.3233/BD-190429. No abstract available. 2020

Fukuda M, Miyake T, Matsubara A, Ikai N, Tanaka E, Namura T, Wada Y, Noujima M, Moritani S, Murakami K,
Andoh A, Tani M, Kushima R.
Sclerosing Mesenteritis Mimicking IgG4-related Disease.
Intern Med. 2020 Feb 15;59(4):513-518. doi: 10.2169/internalmedicine.3221-19. Epub 2019 Nov 8. 2020

Iida H, Maehira H, Mori H, Maekawa T, Tani M.
Post-hepatectomy tolvaptan-induced hypernatremia in a hepatocellular carcinoma patient with cirrhosis: a case
report.
Surg Case Rep. 2020 Mar 30;6(1):61. doi: 10.1186/s40792-020-00825-w. 2020

【和文学術論文】

竹林克士, 谷 眞至

【ドクターが使う言葉の？を解消！ナースが知っておきたい消化器内科・外科キーワード】 消化器疾患の治療法 手術
消化器看護：がん・化学療法・内視鏡 24(1)：42-48, 2019

油木純一, 長谷川 均, 雑賀興慶, 松田和哉
虫垂と酷似した大腸重複症に穿孔と穿通を合併した1例
日本腹部救急医学会雑誌 39(5)：929-933, 2019

小島正継, 太田裕之, 赤堀浩也, 全 有美, 目片英治
術前に診断しえた, 小腸平滑筋肉腫の1例
日本外科系連合学会誌 44(6): 1045-1050, 2019

小島正継, 太田裕之, 赤堀浩也, 全 有美, 目片英治
術前に画像診断した, 穿孔性虫垂憩室炎の1例
日本外科系連合学会誌 44(6): 1073-1078, 2019

貝田佐知子, 竹林克士, 山口 剛, 安川大貴, 森 治樹, 谷 総一郎, 前平博充, 三宅 亨, 植木 智之, 飯田洋也,
園田寛道, 清水智治, 谷 眞至
当院におけるロボット支援下胃切除の導入と初期成績の報告
滋賀医科大学雑誌 32(1): 11-14, 2019

森 治樹, 飯田洋也, 前平博充, 松原亜希子, 谷 眞至
広範な神経周囲浸潤を伴った遠位胆管原発粘液癌の1例
胆道 33(1): 134-139, 2019

太田裕之, 園田寛道, 清水智治, 三宅 亨, 植木智之, 小島正継, 赤堀浩也, 全 有美, 目片英治, 谷 眞至
感染性心内膜炎を契機に診断された大腸癌の2例
日本外科系連合学会誌 44(4): 767-773, 2019

松永隆志, 山口 剛, 貝田佐知子, 竹林克士, 村田 聡, 清水智治, 園田寛道, 三宅 亨, 植木智之, 飯田洋也, 北村直美,
前平博充, 松原亜季子, 九嶋亮治, 谷 眞至
後腹膜脂肪肉腫8例の検討
癌と化学療法 46(13): 2104-2106, 2019

月井亮太, 大田信一, 沖 摩耶, 沖 達也, 関 晃吉, 神谷 梓, 永野冬樹, 渡辺尚武, 友澤裕樹, 新田哲久, 村田喜代史,
森 治樹, 飯田洋也, 谷 眞至
肝腫瘍破裂により発見された成人発症の肝未分化肉腫の1例
Japanese Journal of Radiology. 38(Suppl): 46, 2020

山口 剛, 貝田佐知子, 竹林克士, 神前英明, 桑原理充, 谷 眞至
食道亜全摘回結腸再建後の再建臓器壊死に遊離空腸再建を行い経口摂取可能となった1例(原著論文)
手術 74(3): 369-374, 2020

【国際学会】

Kaida S, Murakami Y, Yamaguchi T, Takebayashi K, Murata S, Shimizu T, Ohta S, Tani M.
Relationship between postoperative liver damage after laparoscopic gastrectomy and overlap of liver and stomach
based on preoperative CT.
13th International Gastric Cancer Congress, 2019, Prague

Murata S, Takebayashi K, Yamaguchi T, Kaida S, Kodama H, Shimoji M, Sihombing A.M, Iida H, Shimizu T,
Mekata E, Daigo Y, Tani M.
Cancer cells disseminated during gastric cancer surgery are associated with recurrence and can be effectively
treated with hyperthermic intraperitoneal chemotherapy.
13th International Gastric Cancer Congress, 2019, Prague

Yamaguchi T, Yamamoto H, Kaida S, Kurihara M, Takebayashi K, Shimizu T, Murata S, Ugi S, Morino K, Ando M,
Miura M, Kaminishi Y, Maegawa H, Tani M.
The impact of 3-month excess weight loss on the 3-year outcome after sleeve gastrectomy.
International Federation for the Surgery of Obesity and Metabolic Disorders(IFSO) 2019, Spain

Lida H, Maehira H, Mori H, Tani M.
Prediction of Post-Hepatectomy Complications by Activity Change Pattern.
The 7th Biennial Congress of the Asian-Pacific Hepato-Pancreato-Biliary Association, Coex, Seoul, 2019, Korea

Maehira H, Miyake T, Iida H, Ikuta D, Tokuda A, Kitamura N, Mori H, Yasukawa D, Shimizu T, Tani M.
Expression Pattern of Cancer-Associated Fibroblasts is An Independent Prognostic Marker in Pancreatic Ductal Adenocarcinoma
The 31st World Congress of the International Association of Surgeons, Gastroenterologists and Oncologists, 2019, Bangkok

Maehira H, Miyake T, Iida H, Ikuta D, Tokuda A, Kitamura N, Mori H, Yasukawa D, Shimizu T, Tani M.
"Outcome of laparoscopic sleeve gastrectomy on type 2 diabetes mellitus"
Endoscopic and Laparoscopic Surgeons of Asia (ELSA), 2019, Chiang Mai

Yamaguchi T, Yamamoto H, Kaida S, Takebayashi K, Miyake T, Tani T.
The perinephric fat thickness measured on computerized tomography predicts the technical difficulty of laparoscopic colectomy.
SAGES 2019 (The Society of American Gastrointestinal and Endoscopic Surgeons), 2019年, ボルチモア

【全国学会・研究会】

北村直美, 飯田洋也, 森 治樹, 前平博充, 貝田佐知子, 三宅 亨, 園田寛道, 清水智治, 谷 眞至, 田畑貴久, 藤野和典, 松下美季子, 江口 豊
腹腔鏡下胆嚢摘出術における腹直筋鞘ブロック法と局所浸潤麻酔法の術後鎮痛効果に関する前向き比較研究
第119回日本外科学会定期学術集会, 2019年4月, 大阪

飯田洋也, 海堀昌樹, 廣川文鋭, 井上義博, 上野昌樹, 松井康輔, 石崎守彦, 田中肖吾, 竹村茂一, 野見武男, 北東大督, 野田剛広, 江口英利, 中居卓也, 前平博充, 森 治樹, 谷 眞至, 久保正二
多発肝細胞癌に対する肝切除の多施設共同研究(長期予後が期待できる新たな切除基準)
第119回日本外科学会定期学術集会, 2019年4月, 大阪

松永隆志, 前平博充, 飯田洋也, 北村直美, 森 治樹, 貝田左知子, 三宅 亨, 園田寛道, 清水智治, 谷 眞至
臍頭十二指腸切除術後早期腹腔内液体貯留の臨床的意義
第119回日本外科学会定期学術集会, 2019年4月, 大阪

村本圭史, 園田寛道, 三宅 亨, 植木智之, 清水智治, 谷 総一郎, 貝田佐知子, 飯田洋也, 山口 剛, 谷 眞至
当院で経験した腸管気腫症・門脈ガス血症22例の検討
第119回日本外科学会定期学術集会, 2019年4月, 大阪

山口 剛, 山本 寛, 貝田佐知子, 竹林克士, 清水智治, 村田 聡, 園田寛道, 飯田洋也, 河合由紀, 坂井幸子, 北村直美, 三宅 亨, 植木智之, 前平博充, 谷 総一郎, 加藤久尚, 北村美奈, 安川大貴, 森 治樹, 松永隆志, 谷 眞至
腹腔鏡下スリーブ状胃切除後の減量効果不良因子の探索的研究
第119回日本外科学会定期学術集会, 2019年4月, 大阪

森 治樹, 飯田洋也, 前平博充, 北村直美, 三宅 亨, 園田寛道, 安川大貴, 貝田佐知子, 清水智治, 谷 眞至
頭背側領域に対する腹腔鏡下肝切除術の工夫
第119回日本外科学会定期学術集会, 2019年4月, 大阪

生田大二, 三宅 亨, 清水智治, 園田寛道, 植木智之, 徳田 彩, 貝田佐知子, 飯田洋也, 北村直美, 山口 剛, 谷 眞至
転移リンパ節の線維化は大腸癌における予後不良因子である
第119回日本外科学会定期学術集会, 2019年4月, 大阪

竹林克士, 村田 聡, 貝田佐知子, 山口 剛, 児玉泰一, 清水智治, 三宅 亨, 植木智之, 園田寛道, 前平博充, 北村直美, 飯田洋也, 谷 総一郎, 安川大貴, 森 治樹, 松永隆志, 塩見一徳, 村本圭史, 谷 眞至
胃癌切除後腹腔内洗浄液中における複数の癌特異的遺伝子をマーカーとした遊離癌細胞の検出法に関する検討
第119回日本外科学会定期学術集会, 2019年4月, 大阪

清水智治, 三宅 亨, 園田寛道, 植木智之, 山口 剛, 貝田佐知子, 飯田洋也, 竹林克士, 目片英治, 遠藤善裕, 谷 眞至

周期プロカルシトニンと大腸癌術後短期・長期成績の関連

第119回日本外科学会定期学術集会, 2019年4月, 大阪

前平博充, 飯田洋也, 北村直美, 森 治樹, 松永隆志, 貝田佐知子, 植木智之, 三宅 亨, 園田寛道, 山口 剛, 竹林克士, 清水智治, 谷 眞至

膵頭十二指腸切除術後ドレーン再挿入危険因子の検討

第119回日本外科学会定期学術集会, 2019年4月, 大阪

谷 総一郎, 園田寛道, 清水智治, 三宅 亨, 植木智之, 貝田佐知子, 北村直美, 飯田洋也, 山口 剛, 谷 眞至

大腸癌術後における癒着性腸閉塞発生リスクの検討

第119回日本外科学会定期学術集会, 2019年4月, 大阪

植木智之, 園田寛道, 清水智治, 三宅 亨, 竹林克士, 前平博充, 貝田佐知子, 飯田洋也, 山口 剛, 谷 眞至

腹部CT画像の腎周囲脂肪の厚さを用いた腹腔鏡下結腸切除術における手術時間に影響を与える指標の検討

第119回日本外科学会定期学術集会, 2019年4月, 大阪

赤堀浩也, 前平博充, 北村直美, 森 治樹, 飯田洋也, 三宅 亨, 山口 剛, 園田寛道, 清水智治, 谷 眞至

膵頭十二指腸切除術における周期血糖管理が耐糖能異常に与える影響

第119回日本外科学会定期学術集会, 2019年4月, 大阪

安川大貴, 貝田佐知子, 竹林克士, 山口 剛, 三宅 亨, 植木智之, 飯田洋也, 前平博充, 園田寛道, 清水智治, 谷 眞至

80歳以上の高齢胃癌患者に対する術後感染性合併症に関する検討

第119回日本外科学会定期学術集会, 2019年4月, 大阪

谷 眞至

膵臓癌に対する標準的治療方針

第119回日本外科学会定期学術集会, 2019年4月, 大阪

貝田佐知子, 村上陽子, 山口 剛, 村田 聡, 永谷幸裕, 大田信一, 安川大貴, 前平博充, 竹林克士, 三宅 亨, 植木智之, 飯田洋也, 園田寛道, 清水智治, 谷 眞至

胃癌に対する幽門側胃切除術 Billroth-I 法再建後の残胃容積・体積と残胃形状, 術後経過との関連性の検討

第119回日本外科学会定期学術集会, 2019年4月, 大阪

梅田朋子, 内藤弘之, 八木俊和, 児玉創太, 長澤芳信, 竹村克士, 杉原洋行, 中嶋 滋, 美馬野真次, 吉田章子, 清水智治, 谷 眞至, 来見良誠

遠隔病理診断ネットワークを利用した乳がん手術の検討

第119回日本外科学会定期学術集会, 2019年4月, 大阪

山本 寛, 谷 眞至

アディポネクチン測定による術後感染症のハイリスク患者の抽出

第119回日本外科学会定期学術集会, 2019年4月, 大阪

塩見一徳, 園田寛道, 三宅 亨, 植木智之, 清水智治, 貝田佐知子, 竹林克士, 飯田洋也, 山口 剛, 前平博充, 谷 総一郎

当科で手術を行った虫垂嚢胞性病変の検討

第119回日本外科学会定期学術集会, 2019年4月, 大阪

山口 剛, 清水智治, 貝田佐知子, 竹林克士, 村田 聡, 園田寛道, 飯田洋也, 河合由紀, 坂井幸子, 加藤久尚, 北村直美, 三宅 亨, 前平博充, 植木 智, 谷 眞至

再発を繰り返す腹壁癒着ヘルニアに腹腔鏡を併用し修復術を行った1例

第18回日本ヘルニア学会学術集会, 2019年5月, 三重

油木純一, 長谷川 均

CT 所見における鼠径ヘルニアと Radoievitch's angle の特徴

第 18 回日本ヘルニア学会学術集会, 2019 年 5 月, 三重

徳田文, 三宅亨, 森 治樹, 安川大貴, 生田大二, 前平博光, 清水智治, 谷 眞至

大腸癌由来エクソソームは M1 マクロファージを誘導することで腹膜播種を抑制する

第 40 回癌免疫外科研究会, 2019 年 5 月, 金沢

坂井幸子, 加藤久尚, 河合由紀, 清水智治, 谷 眞至

正常肛門を有する直腸膣前庭瘻に対し会陰体形成による修復術を施行した 3 例

第 56 回日本小児外科学会学術集会, 2019 年 5 月, 福岡

加藤久尚, 坂井幸子, 久保田良浩, 河合由紀, 清水智治, 谷 眞至

広範囲交通性小腸重複症と孤立性十二指腸重複症を合併した 1 例

第 56 回日本小児外科学会学術集会, 2019 年 5 月, 福岡

貝田佐知子, 竹林克士, 山口 剛, 森 治樹, 谷 総一郎, 前平博充, 植木智之, 三宅 亨, 飯田洋也, 園田寛道, 清水智治, 谷 眞至

当院におけるロボット支援下胃切除の短期成績と膣上縁郭清手技の工夫

第 73 回手術手技研究会, 2019 年 5 月, 東京

Maehira H, Iida H, Kitamura N, Mori H, Miyake T, Ikuta D, Tokuda A, Yasukawa D, Shimizu T, Tani M.

Diversities and clinical roles of mesenchymal markers in the stroma of pancreatic ductal adenocarcinoma.

第 31 回日本肝胆膵外科学会学術集会, 2019 年 6 月, 香川

Iida H, Kaibori M, Hirokawa F, Inoue Y, Ueno M, Matsui K, Ishizaki M, Tanaka S, Takemura S, Nomi T, Hokutou D, Noda T, Eguchi H, Nakai T, Maehira H, Mori H, Tani M, Kubo S.

New criteria of hepatectomy for multiple hepatocellular carcinoma to be expected for long-term survival -Multicenter collaborative.

第 32 回日本肝胆膵外科学会学術集会, 2019 年 6 月, 香川

Tani M.

Minimal requirements for Board-certified HBP surgeons-Pancreaticoduodenectomy based on anatomical diagnosis.

第 33 回日本肝胆膵外科学会学術集会, 2019 年 6 月, 香川

河合由紀, 北村美奈, 木村由梨, 田崎亜希子, 富田 香, 勝元さえこ, 佐藤智佳, 茶野徳宏, 赤堀浩也, 太田裕之, 塩見尚礼, 三宅 亨, 清水智治, 谷 眞至

BRCA2 遺伝子変異を有し異時性両側乳癌と膵癌を発症した 1 例

第 25 回日本家族性腫瘍学会学術集会, 2019 年 6 月, 東京

北村美奈, 辰巳征浩, 富田 香, 河合由紀, 清水智治, 谷 眞至

当院で HER2 陽性乳癌の NAC で DTX+H+P 療法を行い, pCR を得られた 5 症例の検討

第 44 回日本外科系連合学会学術集会, 2019 年 6 月, 金沢

竹林克士, 山口 剛, 貝田佐知子, 清水智治, 園田寛道, 飯田洋也, 三宅 亨, 谷 眞至

下咽頭喉頭食道全摘における遊離空腸付加胃管再建の検討

第 73 回日本食道学会学術集会, 2019 年 6 月, 福岡

山口 剛, 貝田佐知子, 竹林克士, 村田 聡, 神前英明, 桑原理充, 清水智治, 清水猛史, 谷 眞至

食道全摘回結腸再建後の再建臓器壊死に遊離空腸再建を行い経口摂取可能となった 1 例

第 73 回日本食道学会学術集会, 2019 年 6 月, 福岡

北村美奈, 辰巳征浩, 島田加奈, 富田 香, 坂井幸子, 河合由紀, 三宅 亨, 植木智之, 貝田佐知子, 北村直美, 飯田洋也, 山口 剛, 園田寛道, 梅田朋子, 清水智治, 谷 眞至
BRACAnalysis 診断システムにて変異陽性となった高齢者再発乳癌の1例
第27回日本乳癌学会学術総会, 2019年7月, 東京

河合由紀
若年乳癌の現状と課題
第27回日本乳癌学会学術総会, 2019年7月, 東京

富田 香, 河合由紀, 辰巳征浩, 北村美奈, 加藤久尚, 坂井幸子, 森 毅, 清水智治, 梅田朋子, 谷 眞至
当院における乳癌発見契機別の病期分布と術式について
第27回日本乳癌学会学術総会, 2019年7月, 東京

島田加奈, 富田 香, 河合由紀, 辰巳征浩, 北村美奈, 坂井幸子, 清水智治, 谷 眞至
腹直筋皮弁による再建乳房内に転移を認めた再発乳癌の1例
第27回日本乳癌学会学術総会, 2019年7月, 東京

梅田朋子, 河合由紀, 富田 香, 北村美奈, 辰巳征浩, 坂井幸子, 加藤久尚, 澤田佳奈, 油木理恵, 島田加奈, 森 毅, 阿部 元, 清水智治, 谷 眞至
トラスツズマフブエムタシンにて長期間SDを維持できた1例
第27回日本乳癌学会学術総会, 2019年7月, 東京

澤田佳奈, 梅田朋子, 河合由紀, 富田 香, 北村美奈, 辰巳征浩, 油木映里, 坂井幸子, 加藤久尚, 島田加奈, 清水智治, 森谷鈴子, 谷 眞至
乳癌術後15年目に発生した骨肉腫の1例
第27回日本乳癌学会学術総会, 2019年7月, 東京

前平博充, 三宅 亨, 飯田洋也, 生田大二, 徳田 彩, 北村直美, 森 治樹, 安川大貴, 清水智治, 谷 眞至
膵癌間質における線維化マーカーによる予後予測
第50回日本膵臓学会大会, 2019年7月, 東京

飯田洋也, 前平博充, 森 治樹, 安川大貴, 塩見一徳, 三宅 亨, 清水智治, 谷 眞至
膵頭十二指腸切除術前の減黄処置が、手術部位感染と栄養状態に及ぼす影響
第50回日本膵臓学会大会, 2019年7月, 東京

山口 剛, 山本 寛, 貝田佐知子, 竹林克士, 清水智治, 村田 聡, 園田寛道, 飯田洋也, 三宅 亨, 谷 眞至
2型糖尿病に対する腹腔鏡下スリープ状胃切除の成績
第74回日本消化器外科学会総会, 2019年7月, 東京

飯田洋也, 海堀昌樹, 廣川文鋭, 上野昌樹, 江口英利, 竹村茂一, 野見武男, 石崎守彦, 谷 眞至, 久保正二
肝切除術後の腹壁癒痕ヘルニアに対するリスク因子の検討(多施設症例検討)
第74回日本消化器外科学会総会, 2019年7月, 東京

前平博充, 三宅 亨, 生田大二, 徳田 彩, 飯田洋也, 北村直美, 森 治樹, 安川大貴, 清水智治, 谷 眞至
膵癌間質における線維化マーカーの多様性と臨床的意義
第74回日本消化器外科学会総会, 2019年7月, 東京

三宅 亨, 園田寛道, 植木智之, 前平博充, 竹林克士, 貝田佐知子, 飯田洋也, 山口 剛, 清水智治, 谷 眞至
早期大腸癌における腸内細菌叢の多様性の解析
第74回日本消化器外科学会総会, 2019年7月, 東京

安川大貴, 前平博充, 飯田洋也, 北村直美, 森治樹, 松永隆志, 貝田佐知子, 三宅 亨, 清水智治, 谷 眞至
周術期因子からみた膵頭十二指腸切除術後ドレーン再挿入の予測
第74回日本消化器外科学会総会, 2019年7月, 東京

竹林克士, 山口 剛, 貝田佐知子, 清水智治, 園田寛道, 三宅 亨, 植木智之, 飯田洋也, 前平博充, 谷 眞至
咽頭喉頭食道全摘症例の検討
第 74 回日本消化器外科学会総会, 2019 年 7 月, 東京

貝田佐知子, 山口 剛, 竹林克士, 村田 聡, 植木智之, 三宅 亨, 飯田洋也, 園田寛道, 清水智治, 谷 眞至
化学療法施行後に根治切除可能と判断し conversion surgery を施行した StageIV 胃癌症例の検討
第 74 回日本消化器外科学会総会, 2019 年 7 月, 東京

植木智之, 園田寛道, 三宅 亨, 清水智治, 長澤芳信, 竹林克士, 貝田佐知子, 飯田洋也, 山口 剛, 谷 眞至
大腸全摘術を施行した異形成・癌合併潰瘍性大腸炎の検討
第 74 回日本消化器外科学会総会, 2019 年 7 月, 東京

清水智治, 三宅 亨, 園田寛道, 植木智之, 山口 剛, 飯田洋也, 貝田佐知子, 太田裕之, 目片英治, 谷 眞至
大腸癌における Oncologic emergency としての閉塞および穿孔の治療戦略
第 74 回日本消化器外科学会総会, 2019 年 7 月, 東京

塩見一徳, 貝田佐知子, 谷 眞至
胃全摘術後に確定診断に至った胃 Mixed adenoneuroendocrine carcinoma の 1 例
第 74 回日本消化器外科学会総会, 2019 年 7 月, 東京

村田 聡, 竹林克士, 山口 剛, 貝田佐知子, 飯田洋也, 北村直美, 前平博充, 森 治樹, 清水智治, 谷 眞至
消化器癌治療手術後の再発予見バイオマーカーとしての腹腔内 洗浄液培養
第 74 回日本消化器外科学会総会, 2019 年 7 月, 東京

青木崇紘
小腸 calcifying fibrous tumor に対し腹腔鏡下小腸部分切除術を行った一例
第 74 回日本消化器外科学会総会, 2019 年 7 月, 東京

園田寛道, 三宅 亨, 植木智之, 清水智治, 前平博充, 竹林克士, 貝田佐知子, 飯田洋也, 山口 剛, 谷 眞至
経肛門腹腔鏡手術を用いた局所進行低位直腸 GIST に対する術前化学療法後の腹腔鏡下直腸部分切除
第 74 回日本消化器外科学会総会, 2019 年 7 月, 東京

生田大二, 三宅 亨, 徳田 彩, 植木智之, 貝田佐知子, 飯田洋也, 山口 剛, 園田寛道, 清水智治, 谷 眞至
Claudin-9 は大腸癌リンパ節転移に関与する
第 74 回日本消化器外科学会総会, 2019 年 7 月, 東京

太田裕之, 園田寛道, 三宅 亨, 小島正継, 川崎誠康, 龍田 健, 井内武和, 神谷純広, 清水智治, 谷 眞至
大腸癌切除術後に発症する下痢症のリスク因子と臨床経過に関する観察研究
第 74 回日本消化器外科学会総会, 2019 年 7 月, 東京

松永隆志, 前平博充, 飯田洋也, 北村直美, 森 治樹, 安川大貴, 貝田佐知子, 三宅 亨, 清水智治, 谷 眞至
膵頭十二指腸切除術後早期における CT での腹腔内液貯留と術後合併症との関連性
第 74 回日本消化器外科学会総会, 2019 年 7 月, 東京

山本 寛, 神谷純広, 貝田佐知子, 山口 剛, 谷 眞至
高度肥満症治療における腸内細菌叢の変化 - 内科治療と外科治療の比較 -
第 74 回日本消化器外科学会総会, 2019 年 7 月, 東京

村本圭史, 清水智治, 谷 眞至
肛門外脱出を認めた直腸癌に対し, 腹腔鏡下に切除術を施行した 2 例
第 74 回日本消化器外科学会総会, 2019 年 7 月, 東京

谷 総一郎, 三宅 亨, 園田寛道, 植木智之, 飯田洋也, 山口 剛, 貝田佐知子, 河合由紀, 清水智治, 谷 眞至
Adolescent and Young Adult (AYA) 世代における大腸癌手術症例の検討
第 74 回日本消化器外科学会総会, 2019 年 7 月, 東京

北村直美, 谷 眞至, 飯田洋也, 前平博充, 三宅 亨, 貝田佐知子, 清水智治, 佐田蓉子, 北川裕利, 江口 豊
腹腔鏡下胆嚢摘出術後の疼痛に対して腹直筋鞘ブロック法と局所浸潤麻酔法のどちらの鎮痛効果が高いか
第 74 回日本消化器外科学会総会, 2019 年 7 月, 東京

小島正継, 三宅 亨, 植木智之, 大塚武人, 長澤芳信, 伊藤 文, 飯田洋也, 貝田佐知子, 清水智治, 谷 眞至
当院での直腸 NET 症例のリンパ節転移リスク因子に関する検討
第 91 回大腸癌研究会, 2019 年 7 月, 浜松

前平博充, 飯田洋也, 松永隆志, 森 治樹, 安川大貴, 三宅 亨, 清水智治, 谷 眞至
膵頭十二指腸切除術後早期の吻合部周囲液貯留部位と術後合併症との関連性
第 46 回日本膵切研究会, 2019 年 8 月, 岐阜

木藤寛敬, 坂井幸子, 加藤久尚, 河合由紀, 清水智治, 谷 眞至
胎児期より卵巣嚢腫が疑われていた多嚢胞性異形成腎 (MCDK) の一例
第 55 回日本小児外科学会近畿地方会・奈良, 2019 年 8 月, 奈良

加藤久尚, 坂井幸子, 河合由紀, 清水智治, 谷 眞至
サイロ内に穿孔部を置き管理しえた小腸穿孔を合併した腹壁破裂の 1 例
第 55 回日本小児外科学会近畿地方会・奈良, 2019 年 8 月, 奈良

仁科勇佑, 三宅 亨, 小島正継, 植木智之, 長澤芳信, 清水智治, 竹林克士, 貝田佐知子, 飯田洋也, 石川 健, 山口 剛,
谷 眞至
回盲部 lipohyperplasia による腸重積に対し腹腔鏡下回盲部切除術を施行した一例
第 202 回近畿外科学会, 2019 年 9 月, 大阪

三中淳史, 竹林克士, 貝田佐知子, 山口 剛, 石川 健, 清水智治, 三宅 亨, 植木智之, 小島正継, 飯田洋也,
前平博充, 谷 眞至
導入化学療法により pCR が得られた cT4 食道癌の 1 例
第 202 回近畿外科学会, 2019 年 9 月, 大阪

三宅 亨, 清水智治, 植木智之, 小島正継, 前平博充, 竹林克士, 貝田佐知子, 飯田洋也, 石川 健, 谷 眞至
当科における下部直腸癌に対する TaTME の導入と手術手技の工夫
第 32 回近畿内視鏡外科研究会, 2019 年 9 月, 大阪

竹林克士, 貝田佐知子, 山口 剛, 石川 健, 清水智治, 三宅 亨, 植木智之, 小島正継, 飯田洋也, 前平博充,
谷 眞至
当院における腹臥位胸腔鏡下食道切除の左反回神経周囲リンパ節郭清
第 32 回近畿内視鏡外科研究会, 2019 年 9 月, 大阪

飯田洋也, 前平博充, 森 治樹, 徳田 彩, 清水智治, 谷 眞至
腹腔鏡下肝切除におけるバイポーラ型 RF 電極を用いた Synchronous Ablative Technique
第 38 回 Microwave Surgery 研究会, 2019 年 9 月, 大阪

前平博充, 三宅 亨, 飯田洋也, 徳田 彩, 森 治樹, 安川大貴, 清水智治, 谷 眞至
膵癌間質における癌関連繊維芽細胞の多様性と臨床的意義
第 68 回近畿膵疾患談話会, 2019 年 9 月, 大阪

村田 聡, 山口 剛, 貝田佐知子, 竹林克士, 児玉泰一, 小島正継, 下地みゆき, Sihombing A Michael, 醍醐弥太郎,
谷 眞至
HIPEC の抗腫瘍メカニズム
日本ハイパーサーミア学会第 36 回大会, 2019 年 9 月, 埼玉

村田 聡, 山口 剛, 貝田佐知子, 竹林克士, 児玉泰一, 小島正継, 下地みゆき, Michael Sihombing, 飯田洋也, 前平博充, 三宅 亨, 清水智治, 谷 眞至

腹膜転移による難治性癌性腹水に対する HIPEC 治療

日本ハイパーサーミア学会第 36 回大会, 2019 年 9 月, 埼玉

貝田佐知子, 山口 剛, 竹林克士, 石川 健, 龍田 健, 西村彰一, 太田裕之, 川崎誠康, 清水智治, 谷 眞至
胃癌手術における術後静脈血栓塞栓症に関する多施設共同前向き観察研究

第 49 回胃外科・術後障害研究会, 2019 年 10 月, 鹿児島

児玉泰一, 貝田佐知子, 竹林克士, 石川 健, 山口 剛, 飯田洋也, 三宅 亨, 植木智之, 清水智治, 谷 眞至
当科における腹腔鏡下 / ロボット支援下噴門側胃切除食道残胃吻合再建術の現状と術後栄養評価

第 49 回胃外科・術後障害研究会, 2019 年 10 月, 鹿児島

飯田洋也, 前平博充, 森 治樹, 三宅 亨, 清水智治, 貝田佐知子, 徳田 彩, 谷 眞至

胆嚢周囲の脂肪縦濃度を用いた腹腔鏡下胆嚢摘出術の手術難易度予測

第 55 回日本胆道学会学術集会, 2019 年 10 月, 名古屋

森 治樹, 飯田洋也, 前平博充, 清水智治, 貝田佐知子, 三宅 亨, 谷 眞至

胆嚢亜全摘後の胆汁瘻予防に Omentum plugging technique (OPT) を施行した胆嚢炎の 1 例

第 55 回日本胆道学会学術集会, 2019 年 10 月, 名古屋

前平博充, 三宅 亨, 飯田洋也, 徳田 彩, 森 治樹, 安川大貴, 貝田佐知子, 山口 剛, 清水 智治, 谷 眞至
ビメンチン単独発現する癌関連線維芽細胞が睥 癌における独立した予後因子である

第 57 回日本癌治療学会学術集会, 2019 年 10 月, 福岡

貝田佐知子, 竹林克士, 山口 剛, 児玉泰一, 村田 聡, 植木智之, 三宅 亨, 飯田洋也, 清水智治, 谷 眞至
当院におけるロボット支援下胃切除術と腹腔鏡 下胃切除術の比較検討

第 57 回日本癌治療学会学術集会, 2019 年 10 月, 福岡

河合由紀, 木村文則, 田崎亜希子, 木村由梨, 清水智治, 山内智香子, 谷 眞至, 村上 節

滋賀県における共通ツールを用いたがん・生殖医療の取り組み

第 57 回日本癌治療学会学術集会, 2019 年 10 月, 福岡

三宅 亨, 清水智治, 植木智之, 小島正継, 竹林克士, 貝田佐知子, 飯田洋也, 山口 剛, 谷 眞至

当科での切除不能進行再発大腸癌に対する Afibercept の使用経験

第 57 回日本癌治療学会学術集会, 2019 年 10 月, 福岡

村田 聡, 山口 剛, 貝田佐知子, 竹林克士, 児玉泰一, 小島正継, 下地みゆき, Michael Sihombing, 前平博充, 飯田洋也,
清水智治, 目片英治, 醍醐弥太郎, 谷 眞至

腹腔内温熱化学療法による難治性がん性腹水の制御

第 57 回日本癌治療学会学術集会, 2019 年 10 月, 福岡

園田寛道, 清水智治, 長澤芳信, 三宅 亨, 植木智之, 谷 眞至

ロボット支援腹腔鏡下直腸低位前方切除術の初期治療成績

第 57 回日本癌治療学会学術集会, 2019 年 10 月, 福岡

植木智之, 園田寛道, 三宅 亨, 清水智治, 遠藤善裕, 谷 眞至

ステント留置後の閉塞性大腸癌に対する治療成績の検討

第 74 回日本大腸肛門病学会学術集会, 2019 年 10 月, 東京

三宅 亨, 清水智治, 植木智之, 園田寛道, 長澤芳信, 西田敦史, 安藤 朗, 谷 眞至

クローン病腸管病変に対する外科治療と合併症について

第 74 回日本大腸肛門病学会学術集会, 2019 年 10 月, 東京

小島正継, 太田裕之, 水田寛郎, 全有美, 赤堀浩也, 目片英治
術後に急速に増大する肝転移が出現した,S状結腸原発 SMARCB1 陰性悪性ラブドイド腫瘍の1例
第74回日本大腸肛門病学会学術集会, 2019年10月, 東京

村本圭史, 三宅亨, 園田寛道, 清水智治, 柚木智之, 北村直美, 貝田佐知子, 飯田洋也, 山口剛, 谷眞至
卵巣癌孤立性大腸転移の一例
第74回日本大腸肛門病学会学術集会, 2019年10月, 東京

貝田佐知子, 竹林克士, 山口剛, 村田聡, 石川健, 前平博充, 三宅亨, 飯田洋也, 清水智治, 谷眞至
当院におけるロボット支援下胃切除の短期成績と膈上縁郭清手技の工夫
第27回日本消化器関連学会週間, 2019年11月, 神戸

飯田洋也, 海堀昌樹, 廣川文鋭, 井上善博, 上野昌樹, 松井康輔, 石崎守彦, 田中肖吾, 竹村茂一, 野見武男,
北東大督, 野田剛広, 江口英利, 中居卓也, 前平博充, 森治樹, 谷眞至, 久保正二
長期予後が期待できる多発肝細胞癌に対する新たな切除基準
第27回日本消化器関連学会週間, 2019年11月, 神戸

竹林克士, 村田聡, 貝田佐知子, 山口剛, 児玉泰一, 三宅亨, 園田寛道, 飯田洋也, 清水智治, 谷眞至
胃癌切除後腹腔内洗浄液における癌特異的遺伝子発現と細胞培養による癌細胞検出
第27回日本消化器関連学会週間, 2019年11月, 神戸

松永隆志, 前平博充, 飯田洋也, 北村直美, 森治樹, 安川大貴, 貝田佐知子, 三宅亨, 清水智治, 谷眞至
膈頭十二指腸切除術後早期の腹腔内液貯留部位による術後合併症予測
第27回日本消化器関連学会週間, 2019年11月, 神戸

三宅亨, 生田大二, 徳田彩, 清水智治, 園田寛道, 植木智之, 前平博充, 竹林克士, 貝田佐知子, 飯田洋也, 山口剛,
長澤芳信, 谷眞至
大腸癌先進部における Extracellular matrix の臨床的意義についての検討
第27回日本消化器関連学会週間, 2019年11月, 神戸

Murata S, Takebayashi K, Tani M.
Intraoperative peritoneal liquid biopsy as a predictive biomarker for recurrence after curative gastrointestinal
cancer surgery.
第27回日本消化器関連学会週間, 2019年11月, 神戸

徳田彩, 三宅亨, 森治樹, 安川大貴, 長澤芳信, 生田大二, 前平博充, 貝田佐知子, 竹林克士, 村田聡, 谷眞至
CT26 大腸癌由来エクソソームは M1 マクロファージの誘導により腹膜播種を抑制する
第32回日本バイオセラピー学会学術集会総会, 2019年11月, 岡山

前平博充, 飯田洋也, 松永隆志, 森治樹, 安川大貴, 徳田彩, 竹林克士, 貝田佐知子, 植木智之, 三宅亨, 山口剛,
清水智治, 谷眞至
膈頭十二指腸切除術後早期の吻合部周囲液貯留部位からみたドレーン留置至適部位
第32回日本外科感染症学会総会学術集会, 2019年11月, 岐阜

飯田洋也, 前平博充, 徳田彩, 三宅亨, 植木智之, 小島正継, 伊藤文, 山口剛, 石川健, 貝田佐知子, 竹林克士,
児玉泰一, 清水智治, 谷眞至
高齢者における周術期の活動量と肝切除後合併症の関連
第32回日本外科感染症学会総会学術集会, 2019年11月, 岐阜

山口剛, 山本寛, 貝田佐知子, 石川健, 竹林克士, 卯木智, 森野勝太郎, 栗原美香, 上西祐輝, 服部百恵, 山口雅之,
三浦美智子, 清水智治, 前川聡, 谷眞至
腹腔鏡下スリーブ状胃切除術後の嘔吐に関する検討
第37回日本肥満症治療学会学術集会, 2019年11月, 東京

清水智治, 園田寛道, 三宅 亨, 植木智之, 小島正継, 長澤芳信, 山口 剛, 石川 健, 貝田佐知子, 竹林克士, 前平博充, 飯田洋也, 目片英治, 遠藤善裕, 谷 眞至
当院における直腸癌に対するロボット支援下手術の現状と課題
第 81 回日本臨床外科学会総会, 2019 年 11 月, 高知

永井 望, 小島正継, 三宅 亨, 植木智之, 伊藤 文, 飯田洋也, 前平博充, 貝田佐知子, 石川 健, 清水智治, 谷 眞至
腹腔鏡下に切除した, 長径 11cm の低異型度虫垂粘液性腫瘍の 1 例
第 81 回日本臨床外科学会総会, 2019 年 11 月, 高知

小島正継, 清水智治, 三宅 亨, 植木智之, 長澤芳信, 前平博充, 竹林克士, 石川 健, 貝田佐知子, 飯田洋也, 山口 剛, 谷 眞至
膀胱鏡併施が有用であり, 腹腔鏡下に手術し得た S 状結腸膀胱瘻の 1 例
第 81 回日本臨床外科学会総会, 2019 年 11 月, 高知

前川 毅, 竹林克士, 貝田佐知子, 山口 剛, 石川 健, 清水智治, 三宅 亨, 植木智之, 小島正継, 飯田洋也, 前平博充, 谷 眞至
DCF 療法にて根治切除が可能となった頸部食道癌の 1 例
第 81 回日本臨床外科学会総会, 2019 年 11 月, 高知

塩見一徳, 竹林克士, 貝田佐知子, 石川 健, 山口 剛, 清水智治, 三宅 亨, 植木智之, 小島正継, 飯田洋也, 前平博充, 伊藤 文, 児玉泰一, 徳田 彩
食道アカラシアに合併した進行食道癌に対して胸腔鏡下手術を 施行した 1 例
第 81 回日本臨床外科学会総会, 2019 年 11 月, 高知

竹林克士, 貝田佐知子, 山口 剛, 石川健, 清水智治, 三宅 亨, 植木智之, 小島正継, 飯田洋也, 前平博充, 伊藤 文, 児玉泰一, 徳田 彩, 谷 眞至
胸部食道癌周術期における経腸栄養投与と術後感染性合併症の関連性
第 81 回日本臨床外科学会総会, 2019 年 11 月, 高知

谷 眞至
夢見る外科医療の未来を育むための地域と密着した大学病院を目指して
第 81 回日本臨床外科学会総会, 2019 年 11 月, 高知

山口 剛
「Bariatric and metabolic surgery の現状」
消化器病学術講演会 (大阪医大研究会), 2019 年 11 月, 大阪

飯田洋也, 前平博充, 徳田 彩, 三宅 亨, 植木智之, 小島正継, 伊藤 文, 山口 剛, 石川 健, 貝田佐知子, 竹林克士, 児玉泰一, 清水智治, 谷 眞至
肝切除術前のシンバイオティクス投与が手術部位感染に及ぼす影響
第 81 回日本臨床外科学会総会, 2019 年 11 月, 高知

山口 剛, 山本 寛, 貝田佐知子, 石川 健, 竹林克士, 清水智治, 村田 聡, 飯田洋也, 三宅 亨, 植木智之, 坂井幸子, 小島正継, 前平博充, 児玉泰一, 谷 眞至
腹腔鏡下スリーブ状胃切除術後 3 年の減量効果に影響する因子の検討
第 32 回日本内視鏡外科学会総会, 2019 年 12 月, 横浜

植木智之, 清水智治, 三宅 亨, 小島正継, 長澤芳信, 前平博充, 竹林克士, 貝田佐知子, 飯田洋也, 山口 剛, 谷 眞至
自己拡張型金属ステント留置後に腹腔鏡下切除術を施行した閉塞性大腸癌の治療成績
第 32 回日本内視鏡外科学会総会, 2019 年 12 月, 横浜

清水智治, 園田寛道, 三宅 亨, 植木智之, 小島正継, 長澤芳信, 山口 剛, 貝田佐知子, 石川 健, 竹林克士, 前平博充, 飯田洋也, 徳田 彩, 伊藤 文, 谷 眞至
当院における直腸悪性腫瘍に対するロボット支援下手術の経験
第 32 回日本内視鏡外科学会総会, 2019 年 12 月, 横浜

貝田佐知子, 村上陽子, 山口 剛, 竹林克士, 石川 健, 児玉泰一, 小島正継, 前平博充, 植木智之, 三宅 亨, 飯田洋也, 村田 聡, 清水智治, 谷 眞至
術前 CT により肝臓と重複する胃容積から腹腔鏡下胃切除術後の肝障害を予測する新しい概念
第 32 回日本内視鏡外科学会総会, 2019 年 12 月, 横浜

竹林克士, 貝田佐知子, 山口 剛, 石川 健, 清水智治, 三宅 亨, 植木智之, 小島正継, 飯田洋也, 前平博充, 児玉泰一, 伊藤 文, 徳田 彩, 長澤芳信, 谷 眞至
当院における腹臥位胸腔鏡下食道切除の反回神経周囲リンパ節郭清
第 32 回日本内視鏡外科学会総会, 2019 年 12 月, 横浜

飯田洋也, 前平博充, 徳田 彩, 三宅 亨, 植木智之, 小島正継, 山口 剛, 石川 健, 貝田佐知子, 竹林克士, 児玉泰一, 清水智治, 谷 眞至
腹腔鏡下胆嚢摘出術の手術難易度予測における胆嚢周囲脂肪織濃度測定の有用性
第 32 回日本内視鏡外科学会総会, 2019 年 12 月, 横浜

三宅 亨, 清水智治, 植木智之, 小島正継, 長澤芳信, 児玉泰一, 徳田 彩, 前平博充, 竹林克士, 貝田佐知子, 飯田洋也, 石川 健, 山口 剛, 谷 眞至
クローン病腸管病変に対する腹腔鏡手術の安全性についての検討
第 32 回日本内視鏡外科学会総会, 2019 年 12 月, 横浜

北村直美, 谷 眞至, 飯田洋也, 前平博充, 三宅 亨, 貝田佐知子, 清水智治, 全 有美, 安 炳九, 赤堀浩也, 太田裕之, 日片英治
腹腔鏡下胆嚢摘出術における腹直筋鞘ブロック法と局所浸潤麻酔法の術後鎮痛効果
第 32 回日本内視鏡外科学会総会, 2019 年 12 月, 横浜

小島正継, 三宅 亨, 植木智之, 長澤芳信, 飯田洋也, 貝田佐知子, 石川 健, 竹林克士, 前平博充, 伊藤 文, 児玉泰一, 徳田 彩, 山口 剛, 清水智治, 谷 眞至
結腸憩室炎による S 状結腸膀胱瘻に対する腹腔鏡手術
第 32 回日本内視鏡外科学会総会, 2019 年 12 月, 横浜

児玉泰一, 貝田佐知子, 竹林克士, 石川 健, 山口 剛, 飯田洋也, 三宅 亨, 植木智之, 小島正継, 前平博充, 伊藤 文, 徳田 彩, 清水智治, 谷 眞至
腹腔鏡下 / ロボット支援下噴門側胃切除症例の術後短期成績と栄養評価の検討
第 32 回日本内視鏡外科学会総会, 2019 年 12 月, 横浜

清水智治, 園田寛道, 三宅 亨, 植木智之, 小島正継, 長澤芳信, 山口 剛, 貝田佐知子, 石川 健, 竹林克士, 前平博充, 飯田洋也, 徳田 彩, 伊藤 文, 谷 眞至
当院における直腸悪性腫瘍に対するロボット支援下手術の経験
第 32 回日本内視鏡外科学会総会, 2019 年 12 月, 横浜

山本 寛, 神谷純広, 山口 剛, 貝田佐知子, 谷 眞至
肥満糖尿病患者における腹腔鏡下スリーブ後の糖尿病の寛解には β 細胞機能が維持されていることが重要である
第 32 回日本内視鏡外科学会総会, 2019 年 12 月, 横浜

小島正継, 三宅 亨, 植木智之, 清水智治, 大塚武人, 飯田洋也, 貝田佐知子, 石川 健, 竹林克士, 前平博充, 伊藤 文, 児玉泰一, 徳田 彩, 山口 剛, 谷 眞至
大腸 SM 癌のリンパ節転移危険因子に関する検討
第 92 回大腸癌研究会, 2020 年 1 月, 広島

三宅 亨, 生田大二, 前平博充, 谷 眞至

創傷治癒と癌周囲環境における線維化の臨床的意義と機序解析

第1回日本癌学会若手の会, 2020年2月, 静岡

児玉泰一, 飯田洋也, 前平博充, 仁科勇佑, 前川 毅, 三中淳史, 塩見一徳, 徳田 彩, 谷 眞至

レンパチニブ投与後の腫瘍壊死部切除によって継続投与が可能となった1例

第48回近畿肝臓外科研究会, 2020年2月, 大阪

小島正継, 三宅 亨, 植木智之, 飯田洋也, 貝田佐知子, 石川 健, 竹林克士, 前平博充, 山口 剛, 清水智治, 谷 眞至

当院でのクローン病の穿孔・穿通手術症例に関する検討

滋賀消化器研究会第84回学術講演会, 2020年2月, 大津

前川 毅, 貝田佐知子, 石川 健, 竹林克士, 前平博充, 三宅 亨, 植木智之, 飯田洋也, 山口 剛, 谷 眞至

癌性腹膜炎との鑑別が困難であった腹膜サルコイド様反応の一例

滋賀消化器研究会第84回学術講演会, 2020年2月, 大津

児玉泰一, 村田 聡, 竹林克士, 三宅 亨, 貝田 佐知子, 石川 健, 山口 剛, 飯田洋也, 植木 智之, 清水 智治, 谷 眞至

胃癌腫瘍最深部におけるCD44s, CD44v6, CD44v9の発現の臨床的意義

滋賀消化器研究会第84回学術講演会, 2020年2月, 大津

竹林克士, 村田 聡, 貝田佐知子, 山口 剛, 児玉泰一, 石川 健, 三宅 亨, 植木智之, 飯田洋也, 前平博充, 清水智治, 谷 眞至

胃癌切除後腹腔内洗浄液における癌細胞検出と再発形式の検討

滋賀消化器研究会第84回学術講演会, 2020年2月, 大津

三宅 亨, 安川大貴, 生田大二, 前平博充, 小島正継, 植木智之, 貝田佐知子, 飯田洋也, 山口 剛, 清水智治, 谷 眞至

大腸癌転移におけるClaudin9発現の機能解析

滋賀消化器研究会第84回学術講演会, 2020年2月, 大津

飯田洋也, 米田浩二, 野見武男, 松島秀之, 松井康輔, 廣川文鋭, 前平博充, 海堀昌樹, 谷 眞至

肝細胞癌術後, 予後予測マーカーとしてのAlbumin-Lymphocyte-CRPratioの有用性

第35回日本臨床栄養代謝学会学術集会, 2020年2月, 京都 (開催中止)

竹林克士, 貝田佐知子, 山口 剛, 石川 健, 飯田洋也, 小島正継, 馬場重樹, 清水智治, 佐々木雅也, 谷 眞至

胸部食道癌術後におけるアバントドの使用経験

第35回日本臨床栄養代謝学会学術集会, 2020年2月, 京都 (開催中止)

貝田佐知子, 山口 剛, 竹林克士, 石川 健, 飯田洋也, 三宅 亨, 栗原美香, 佐々木雅也, 清水智治, 谷 眞至

胃癌に対する幽門側目切除術Biliroth-I法再建後の残胃形状が術後巣餐状態にもたらす影響についての検討

第35回日本臨床栄養代謝学会学術集会, 2020年2月, 京都 (開催中止)

小島正継, 植木智之, 三宅 亨, 清水智治, 長澤芳伸, 飯田洋也, 竹林克士, 貝田佐知子, 石川 健, 伊藤 文, 前平博充, 児玉泰一, 徳田 彩, 山口 剛, 谷 眞至

大腸癌腹腔鏡手術におけるサルコペニアと肥満が術後合併症に与える影響の検討

第35回日本臨床栄養代謝学会学術集会, 2020年2月, 京都 (開催中止)

滋賀医科大学外科学講座（心臓血管外科）

【論文発表】

Suzuki T, Asaia T, Kinoshita T.

Emergency surgery for acute type A aortic dissection in octogenarians without patient selection.

Ann Thorac Surg. 107(4): 1146-1153

【和文学術論文】

宮下史寛, 南館直志, 鉢呂康平, 榎本匡秀, 鈴木友彰

慢性解離性胸部大動脈瘤に対するオープンステントグラフト法を用いた全弓部大動脈置換術後のステントグラフトによる再解離

胸部外科 72(8) : 595-598, 2019

【全国学会・研究会】

鈴木友彰

当科における心臓大血管手術症例の詳細 - 緊急救命例にしてしまわないために -

第 180 回草津栗東医師会循環器研究会, 2019 年 4 月, 滋賀

鈴木友彰

胸腹部大動脈瘤Ⅱ型の手術手技を徹底的に学ぼう

KCJL2019, 2019 年 4 月, 大阪

鈴木友彰

末梢吻合

KCJL2019, 4 月, 大阪

鈴木友彰

『最新の心臓血管外科治療の現状』

あおばな医療セミナー, 2019 年 4 月, 草津

玉岡幸記, 高島範之, 脇坂穂高, 鉢呂康平, 宮下史寛, 近藤康生, 木下 武, 鈴木友彰

バルサルバ洞仮性動脈瘤破裂により右房穿破 を来した一例

第 128 回 日本循環器学会近畿地方会, 2019 年 11 月, 大阪

鈴木友彰

大動脈弁置換術の工夫とテクニク

Abbott Aortic Valve Workshop in Osaka, 2019 年 9 月, 大阪

鈴木友彰, 扇田久和, 佐藤 朗, 木下 武, 高島範之, 近藤康生, 宮下史寛, 鉢呂康平, 脇坂穂高

冠動脈周囲死亡組織が動脈硬化に及ぼす影響

第 33 回日本冠疾患学会, 2019 年 12 月, 岡山

脇坂穂高, 鉢呂康平, 宮下史寛, 近藤康生, 高島範之, 木下 武, 鈴木友彰

LMT 解離を伴う急性大動脈解離に対し、緊急 PCI 後に上行大動脈置換術、冠動脈バイパス術を施行した 1 例

第 33 回日本冠疾患学会, 2019 年 12 月, 岡山

松林優児, 脇坂穂高, 森本政憲, 宮下史寛, 南館直志, 近藤康生, 高島範之, 木下 武, 鈴木友彰

Streptococcus zooepidemicus による感染性腹部大動脈瘤の手術例

第 34 回日本血管外科学会近畿地方会, 2020 年 2 月, 大阪

鈴木友彰

見のがされてしまった循環器疾患の検討～心房細動の薬物治療も含めて～

第 185 回草津栗東医師会循環器研究会, 2020 年 2 月, 滋賀

滋賀医科大学外科学講座（呼吸器外科）

【論文】

〈英文学術論文〉

Okamoto K, Ueda K, Ichinose M.

Cardiac injury due to the rapid progress of the dislocation of rib fractures: a rare case that required urgent open reduction and internal rib fixation.

Respiratory Medicine Case Reports. 27: 100840, 2019

Hayashi K, Ohshio Y, Hanaoka J.

Gangrenous ischemic colitis following lung wedge resection.

BMJ Case rep. 12(5): e227908, 2019

Hanaoka J, Ohuchi M, Kaku R, Okamoto K, Ohshio Y.

Bronchoscopic balloon dilatation combined with laser cauterization of high and long segmental tracheal stenosis secondary to endobronchial tuberculosis: A case report.

Respiratory Medicine Case Reports. 28: 100917, 2019

Kataoka Y, Igarashi T, Ohshio Y, Fujita T, Hanaoka J.

Predictive importance of galectin-3 for recurrence of non-small cell lung cancer.

General Thoracic and Cardiovascular Surgery. 67(8): 704-711, 2019

Kawaguchi Y, Hanaoka J, Ohshio Y, Okamoto K, Kaku R, Hayashi K, Shiratori T, Yoden M.

Sarcopenia predicts poor postoperative outcome in elderly patients with lung cancer.

General Thoracic and Cardiovascular Surgery. 67(11): 949-954, 2019

Kawaguchi Y, Hanaoka J

How to predict the risk of post-lobectomy complications in elderly lung cancer patients.

Journal of Thoracic Disease. 11(Suppl 9): S1432-S1433, 2019

Hayashi K, Motoishi M, Sawai S, Horimoto K, Hanaoka J.

Postoperative delirium after lung resection for primary lung cancer: Risk factors, risk scoring system, and prognosis.

PLoS ONE. 14(11): e0223917, 2019

Kawaguchi Y, Hanaoka J, Hayashi H, Fukuda Y, Iihara H, Suzuki A, Okamoto K, Sugiyama T.

Clinical efficacy of osimertinib for a patient with ileus due to peritoneal carcinomatosis.

Clin Case Rep. 8: 347-350, 2020

〈和文学術論文〉

岡本圭伍, 花岡 淳

c-T1 肺癌に対する区域切除術の成績と工夫

胸部外科 7 : 550-553, 2019

〈国際学会〉

Kataoka Y, Fujita T, Hanaoka J.

CD271 SERVES AS A PROGNOSTIC MARKER IN NON SMALL CELL LUNG CANCER (NSCLC).

27th Meeting of the European Society of Thoracic Surgeons, 2019, Dublin

〈全国学会・地方会・その他〉

大塩恭彦, 余田 誠, 林 一喜, 白鳥琢也, 岡本圭伍, 賀来良輔, 川口 庸, 大塩麻友美, 花岡 淳

当科における肺癌手術時のエナジーデバイスの使用とその有用性の検討

第119回日本外科学会定期学術集会, 2019年4月, 大阪

花岡 淳, 余田 誠, 白鳥琢也, 林 一喜, 岡本圭伍, 賀来良輔, 川口 庸, 大塩恭彦
X線動態解析システムを用いた術後肺機能予測の試み
第36回 日本呼吸器外科学会学術集会, 2019年5月, 大阪

花岡 淳, 余田 誠, 白鳥琢也, 林 一喜, 岡本圭伍, 賀来良輔, 川口 庸, 大塩恭彦
右肺上葉管状切除・気管支形成術後局所再発に対して右 sleevepneumonectomy を施行した1例
第36回 日本呼吸器外科学会学術集会, 2019年5月, 大阪

大塩恭彦, 余田 誠, 林 一喜, 白鳥琢也, 岡本圭伍, 賀来良輔, 川口 庸, 大塩麻友美, 花岡 淳
エネルギーデバイスと持続吸引カテーテルを組み合わせた胸腔鏡手術における工夫
第36回 日本呼吸器外科学会学術集会, 2019年5月, 大阪

岡本圭伍, 余田 誠, 白鳥琢也, 林 一喜, 賀来良輔, 大塩恭彦, 花岡 淳
右上葉における複合亜区域切除術症例の後方視的検討
第36回 日本呼吸器外科学会学術集会, 2019年5月, 大阪

川口 庸, 花岡 淳, 大塩恭彦, 岡本圭伍, 賀来良輔, 白鳥琢也, 林 一喜, 余田 誠
後方アプローチによる椎体切除・神経根処理を先行した胸壁椎体合併右上葉切除の1例
第36回 日本呼吸器外科学会学術集会, 2019年5月, 大阪

川口 庸, 余田 誠, 白鳥琢也, 林 一喜, 岡本圭伍, 賀来良輔, 大塩恭彦, 花岡 淳
粘液癌(腹膜偽粘液腫)肺転移に対して気管支先行処理を行った左肺下葉切除の1例
第36回 日本呼吸器外科学会学術集会, 2019年5月, 大阪

賀来良輔, 余田 誠, 白鳥琢也, 林 一喜, 岡本圭伍, 大塩恭彦, 花岡 淳
肺葉切除術施行例の周術期における呼吸抵抗の変化についての検討
第36回 日本呼吸器外科学会学術集会, 2019年5月, 大阪

林 一喜, 余田 誠, 白鳥琢也, 岡本圭伍, 賀来良輔, 大塩恭彦, 花岡 淳
中年女性に発症した縦隔原発卵黄嚢腫瘍の一切除例
第36回 日本呼吸器外科学会学術集会, 2019年5月, 大阪

余田 誠, 白鳥琢也, 林 一喜, 賀来良輔, 岡本圭伍, 川口 庸, 大塩恭彦, 花岡 淳
急性心膜炎発症を契機に発見された胸腺腫の一例
第36回 日本呼吸器外科学会学術集会, 2019年5月, 大阪

川口 庸, 花岡 淳
腹膜偽粘液腫胸膜播腫に対する Cytoreductive Surgery
第62回 関西胸部外科学会学術集会, 2019年6月, 徳島

林 一喜, 余田 誠, 白鳥琢也, 岡本圭伍, 賀来良輔, 大塩恭彦, 花岡 淳
胸部大動脈置換術後に左肺癌に対して解剖学的肺切除術を施行した5例
第62回 関西胸部外科学会学術集会, 2019年6月, 徳島

白鳥琢也, 余田 誠, 林 一喜, 賀来良輔, 岡本圭伍, 大塩恭彦, 花岡 淳
肺癌手術後の乳び胸とその治療方法についての考察
第62回 関西胸部外科学会学術集会, 2019年6月, 徳島

賀来良輔, 余田 誠, 白鳥琢也, 林 一喜, 岡本圭伍, 大塩恭彦, 花岡 淳
高度分葉不全左下葉肺癌に対し、肺門背側アプローチで胸腔鏡下に根治手術を完遂した一例
第62回 関西胸部外科学会学術集会, 2019年6月, 徳島

林 一喜, 余田 誠, 白鳥琢也, 岡本圭伍, 賀来良輔, 大塩恭彦, 花岡 淳, 寺本晃治, 内田泰樹, 仲川宏昭, 中野恭幸
Osimertinibによる erythema multiforme malor を生じたと考えられた1例
第110回 日本肺癌学会関西支部学術集会, 2019年6月, 京都

余田 誠, 白鳥琢也, 林 一喜, 岡本圭伍, 賀来良輔, 大塩恭彦, 花岡 淳
赤芽球房、低 γ グロブリン血症を合併した胸腺腫のf除例
第110回 日本肺癌学会関西支部学術集会, 2019年6月, 京都

大塩恭彦, 余田 誠, 林 一喜, 白鳥琢也, 岡本圭伍, 賀来良輔, 川口 庸, 大塩麻友美, 仲川宏昭, 福永健太郎,
中野恭幸, 花岡 淳
肺手術時の胸膜損傷の修復における新規肺瘻閉鎖材料の模索
第42回 日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2019年7月, 東京

岡本圭伍, 余田 誠, 白鳥琢也, 林 一喜, 賀来良輔, 大塩恭彦, 花岡 淳
上大区・舌区気管支間を潜進するA4+5を認めた左上葉肺癌の1切除例—自施設症例の気管支形態との比較—
第42回 日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2019年7月, 東京

川口 庸, 余田 誠, 林 一喜, 岡本圭伍, 賀来良輔, 大塩恭彦, 花岡 淳
気管支内腔をポリープ状に進展した多形癌の3例
第42回 日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2019年7月, 東京

花岡 淳
よくわかる呼吸器外科治療 (ロボット支援手術から集学的治療まで)
呼吸器外科を知る講演会, 2019年7月, 近江八幡

大塩恭彦
当院の呼吸器外科外来のご紹介
呼吸器外科を知る講演会, 2019年7月, 近江八幡

岡本圭伍, 花岡 淳, 余田 誠, 白鳥琢也, 林 一喜, 賀来良輔, 大塩恭彦
高位胸壁浸潤肺癌へのSurgical Approach
第59回 近江呼吸器疾患研究会, 2019年9月, 京都

余田 誠, 白鳥琢也, 林 一喜, 賀来良輔, 岡本圭伍, 大塩恭彦, 花岡 淳
胸腔鏡下生検によりIgG4関連疾患と診断した縦隔腫瘍の1例
第105回 日本呼吸器内視鏡学会近畿支部会, 2019年8月, 大阪

大塩恭彦, 余田 誠, 林 一喜, 白鳥琢也, 賀来良輔, 岡本圭伍, 川口 庸, 大塩麻友美, 花岡 淳
胸腔鏡手術における肺末梢病変の位置同定に対するICG蛍光システム的应用
第72回 日本胸部外科学会定期学術集会, 2019年10月・11月, 京都

林 一喜, 余田 誠, 白鳥琢也, 岡本圭伍, 賀来良輔, 大塩恭彦, 花岡 淳, 川口 庸
原発性肺癌術後に生じた異時性第2肺癌および肺内再発に対する切除例の検討
第72回 日本胸部外科学会定期学術集会, 2019年10月・11月, 京都

川口 庸, 余田 誠, 白鳥琢也, 林 一喜, 岡本圭伍, 賀来良輔, 大塩恭彦, 花岡 淳
粘液癌に対する肺切除の検討
第72回 日本胸部外科学会定期学術集会, 2019年10月・11月, 京都

余田 誠, 白鳥琢也, 林 一喜, 賀来良輔, 岡本圭伍, 大塩恭彦, 花岡 淳
左肺癌縦隔リンパ節郭清に伴う反回神経麻痺の検討
第72回 日本胸部外科学会定期学術集会, 2019年10月・11月, 京都

片岡瑛子, 藤田琢也, 花岡 淳
非小細胞肺癌におけるがん間質線維芽細胞の役割
第72回 日本胸部外科学会定期学術集会, 2019年10月・11月, 京都

花岡 淳, 余田 誠, 白鳥琢也, 林 一喜, 賀来良輔, 岡本圭伍, 川口 庸, 大塩恭彦
X線動態解析システムを用いた術後肺機能予測
第72回 日本胸部外科学会定期学術集会, 2019年10月・11月, 京都

花岡 淳
X線動態解析を用いた術後肺機能予測の試み
第2回 X線動態画像セミナー, 2019年11月, 東京

白鳥琢也, 余田 誠, 林 一喜, 岡本圭伍, 賀来良輔, 大塩恭彦, 花岡 淳
心臓手術後の漏斗胸に対し、体外式循環装置の準備下に Nuss 法を施行した一症例
第19回 Nuss 法漏斗胸手術手技研究会, 2019年11月, 前橋

大塩恭彦, 林 一喜, 白鳥琢也, 大塩麻友美, 花岡 淳
当科における縦隔疾患に対する治療戦略と工夫について
第32回 日本内視鏡外科学会総会, 2019年12月, 横浜

林 一喜, 余田 誠, 白鳥琢也, 岡本圭伍, 賀来良輔, 大塩恭彦, 花岡 淳, 内田泰樹, 仲川宏昭, 中野恭幸
胸部大動脈置換術後の肺癌に対して切除術を施行した8例の検討
第60回 日本肺癌学会学術集会, 2019年12月, 大阪

白鳥琢也, 余田 誠, 林 一喜, 岡本圭伍, 賀来良輔, 大塩恭彦, 花岡 淳
肺癌術後乳び胸に対する当院での工夫
第60回 日本肺癌学会学術集会, 2019年12月, 大阪

余田 誠, 白鳥琢也, 林 一喜, 岡本圭伍, 賀来良輔, 大塩恭彦, 花岡 淳, 内田泰樹, 仲川宏昭, 中野恭幸
免疫チェックポイント阻害薬による治療中オリゴ再発を認めるも局所治療追加で寛解状態が維持できている3例
第60回 日本肺癌学会学術集会, 2019年12月, 大阪

花岡 淳
X線動態解析システムを用いた術後肺機能予測
第12回 呼吸機能イメージング研究会学術集会, 2020年1月, 東京

滋賀医科大学総合外科学講座

【論文】

〈英文学術論文〉

Ohta H, Miyake T, Shimizu T, Sonoda H, Ueki T, Kaida S, Yamaguchi T, Iida H, Tani M.

The impact of pharmacological thromboprophylaxis and disease-stage on postoperative bleeding following colorectal cancer surgery.

World Journal of Surgical Oncology 17, Article number : 110, 2019

Inoue A, Furukawa A, Nitta N, Takaki K, Ota S, Zen Y, Kojima M, Akabori H, Ohta H, Mekata E, Saotome T, Murata K.

Accuracy, criteria, and clinical significance of visual assessment on diffusion-weighted imaging and apparent diffusion coefficient quantification for diagnosing acute appendicitis.

Abdominal Radiology : <https://doi.org/10.1007/s00261-019-02180-3> : Published online, 2019

Akabori H, Tani M, Kitamura N, Maehira H, Imashuku Y, Tsujita Y, Shimizu T, Kitagawa H, Eguchi Y.

Perioperative tight glycemic control using artificial pancreas decreases infectious complications via suppression of inflammatory cytokines in patients who underwent pancreaticoduodenectomy A prospective, non-randomized clinical trial.

Am J Surg. 2020 Aug; 220(2): 365-371, 2019

Yagi M, Morishita K, Ueno A, Nakamura H, Akabori H, Senda A, Kojima M, Aiboshi J, Todd Costantini, Raul Coimbra, Otomo Y.
Electrical stimulation of the vagus nerve improves intestinal blood flow after trauma and hemorrhagic shock A prospective, non-randomized clinical trial.
Surgery. 167 : 638-645, 2019

Byonggu Ann, Zen Y, Akabori H, Kitamura N, Ohta H, Otsuki A, Mizuta H, Tsujikawa T, Mekata E.
Gastric volvulus and giant Bochdalek hernia in an adult patient that were safely repaired by endoscopic reduction and elective laparoscopic surgery.
Asian Journal of Endoscopic Surgery : DOI : 10.1111/ases.12806, 2020

〈和文学術論文〉

太田裕之, 園田寛道, 清水智治, 三宅 亨, 植木智之, 小島正継, 赤堀浩也, 全 有美, 目片英治, 谷 眞至
感染性心内膜炎を契機に診断された大腸癌の2例
日本外科系連合会誌 44 (4) : 767-773, 2019

小島正継, 太田裕之, 赤堀浩也, 全 有美, 目片英治
術前に画像診断した、穿孔性虫垂憩室炎の1例
日外科系連合会誌 44 (6) : 1073-10478, 2019

小島正継, 太田裕之, 赤堀浩也, 全 有美, 目片英治
術前に診断しえた、小腸平滑筋肉腫の1例
日外科系連合会誌 44 (6) : 1045-1050, 2019

【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

目片英治, 谷 徹, 山田篤史, 太田裕之, 赤堀浩也, 小島正継, 全 有美, 島垣昌明
樹脂製手術器具の開発 続報
第119回日本外科学会定期学術集会, 2019年4月, 大阪

北村直美, 飯田洋也, 森 治樹, 前平博充, 貝田佐知子, 三宅 亨, 園田寛道, 清水智治, 谷 眞至, 田畑貴久, 藤野和典, 松下美季子, 江口 豊
腹腔鏡下胆嚢摘出術における腹直筋鞘ブロック法と局所浸潤麻酔法の術後鎮痛効果に関する前向き比較研究
第119回日本外科学会定期学術集会, 2019年4月, 大阪

赤堀浩也, 前平博充, 北村直美, 森 治樹, 飯田洋也, 三宅 亨, 山口 剛, 園田寛道, 清水智治, 谷 眞至
臍頭十二指腸切除後における周術期血糖管理が耐糖能異常に与える影響
第119回日本外科学会定期学術集会, 2019年4月, 大阪

安 炳九, 安部哲也, 植村則久, 檜垣栄治, 細井敬泰
食道癌根治術後再発症例における予後についての検討
第73回日本食道学会学術集会, 2019年6月, 福岡

太田裕之, 園田寛道, 三宅 亨, 小島正継, 川崎誠康, 龍田 健, 井内武和, 神谷純広, 清水智治, 谷 眞至
大腸癌切除後に発症する下痢症のリスク因子と臨床経過に関する観察研究
第74回日本消化器外科学会総会, 2019年7月, 東京

北村直美, 谷 眞至, 飯田洋也, 前平博充, 三宅 亨, 貝田佐知子, 清水智治, 佐田蓉子, 北川裕利, 江口 豊
腹腔鏡下胆嚢摘出術後の疼痛に対して腹直筋鞘ブロック法と局所浸潤麻酔法のどちらの鎮痛効果が高いか
第74回日本消化器外科学会総会, 2019年7月, 東京

高山 悟, 鶴飼佳子, 小島正継, 太田裕之, 藤本徳毅
抗がん剤の血管外漏出により遅発性に皮膚障害を呈した1例
日本皮膚科学会第462回京滋地方会, 2019年9月, 京都

大内政嗣, 北村直美, 田丸大, 大西正人, 五月女隆男
胸腔内に感染が進展し膿胸を併発した化膿性脊椎炎の1例
第47回日本救急医学会総会・学術集会, 2019年10月, 東京

全有美, 小島正継, 安炳九, 北村直美, 赤堀浩也, 太田裕之, 目片英治
増加の経路をたどった感染性腸間膜嚢胞の1切除例
第81回日本臨床外科学会総会, 2019年11月, 高知

太田裕之, 全有美, 安炳九, 北村直美, 赤堀浩也, 目片英治
直腸癌術後難治性直腸腔瘻に対して腹腔鏡操作を併用して会陰体の形成術を施行した1例
第32回日本内視鏡外科学会総会, 2019年12月, 横浜

北村直美, 谷眞至, 飯田洋也, 前平博充, 三宅亨, 貝田佐知子, 清水智治, 全有美, 安炳九, 赤堀浩也, 太田裕之,
目片英治
腹腔鏡下胆嚢摘出術における腹直筋鞘ブロック法と局所浸潤麻酔法の術後鎮痛効果
第32回日本内視鏡外科学会総会, 2019年12月, 横浜

安炳九, 太田裕之, 全有美, 赤堀浩也, 北村直美, 目片英治
腹腔鏡手術にて診断しえた空腸異所性膵の1例
第32回日本内視鏡外科学会総会, 2019年12月, 横浜

森太平, 大槻晋士, 伊藤昂, 水田寛郎, 神田暁博, 安炳九, 伊藤明彦, 目片英治, 辻川知之
横隔膜ヘルニア内に脱出した胃が軸捻転を来し内視鏡的整復を施行し得た一例
第103回日本消化器内視鏡学会近畿支部例会, 2020年1月, 大阪

山田安希, 田丸大, 北村直美, 杉本俊郎, 辻川知之
悪性症候群で治療中に肺水腫になった一例
第27回びわこ臨床研修ネットワーク学術講演会, 2020年2月, 大津

山本順子, 伊藤明彦, 東里映, 西村幾美, 白石智順, 山根あゆみ, 畠中真由, 田中勝久, 太田裕之, 辻川知之
Wilson病の栄養管理～銅含有量の少ないツインラインNF®を用いて～
第35回日本臨床栄養代謝学会学術集会, 2020年2月, 京都

山根あゆみ, 畠中真由, 山本順子, 山下美帆, 田中勝久, 西村幾美, 東里映, 一瀬亮介, 白石智順, 太田裕之, 伊藤明彦,
辻川知之
リフィーディング症候群高リスク患者の抽出と介入
第35回日本臨床栄養代謝学会学術集会, 2020年2月, 京都

東里映, 西村幾美, 伊藤明彦, 山本順子, 畠中真由, 山根あゆみ, 白石智順, 庄野裕志, 河合実, 太田裕之,
辻川知之
結核患者に対するNST活動の実際とその効果
第35回日本臨床栄養代謝学会学術集会, 2020年2月, 京都

西村幾美, 東里映, 伊藤明彦, 山本順子, 畠中真由, 山根あゆみ, 白石智順, 庄野裕志, 河合実, 太田裕之,
辻川知之
抗結核薬による消化器関連症状の発現状況とNSTの関わり
第35回日本臨床栄養代謝学会学術集会, 2020年2月, 京都

白石智順, 植村江里子, 山本順子, 畠中真由, 山根あゆみ, 東里映, 西村幾美, 山田圭子, 太田裕之, 伊藤明彦,
前田憲吾, 辻川知之
行性神経筋難病とPEG～経口摂取併用のツールとして～
第35回日本臨床栄養代謝学会学術集会, 2020年2月, 京都

滋賀医科大学革新的医療機器・システム研究開発講座

【論文】

〈英文学術論文〉

Dang Tran Khiem, Naka S, Nguyen Quoc Vinh, Yamada A, Tani T.

Functional evaluation of a novel microwave surgical device in a canine splenectomy model. *Journal of Investigative Surgery*, Published online; 10 Jun 2019

Tani T, Endo Y.

In memory of professor Akira Yamamoto.

Therapeutic Apheresis and Dialysis 23(3) ; 206-207, 2019

Tani T, Shimizu T, Tani M, Shoji H, Endo Y.

Anti-endotoxin properties of polymyxin B-immobilized fibers.

Advances in Experimental Medicine and Biology, 1145 ; 321-341, 2019

Tanaka R, Tani T, Nitta N, Tabata T, Matsutani N, Muraoka S, Yoneyama T, Sanada S.

Detection of pulmonary embolism based on reduced changes in radiographic lung density during cardiac beating using dynamic flat-panel detector: An animal-based study.

Academic Radiology, 26(10) ; 1301-1308, 2019

Yamada A, Naka S, Dang Tran Khiem, Morikawa S, Tani T.

Development of an MR-compatible high-definition flexible endoscope for real-time MR image-guided microwave ablation.

IFMBE Proceedings 69 ; 21-26, 2020

Dang Tran Khiem, Tani T, Naka S, Yamada A, Tani S.

Comparative study of novel microwave coagulation surgical instrument and currently commercialized energy devices in an animal model.

IFMBE Proceedings 69 ; 115-118, 2020

Tani T, Naka S, Yamada A, Tani S, Dang Tran Khiem, Nguyen Quoc Vinh.

Overview of our less invasive operation system-Development of three dimensional real-time MR image guided operation system using microwave devices and relating technologies.

IFMBE Proceedi, ngs 69 ; 11-13, 2020

Yamada A, Nitta N, Naka S, Dang Tran Khiem, Morikawa S, Tani T.

Design and implementation of loop shaped steering mechanisms for flexible needles.

IFMBE Proceedings, 69 ; 15-19, 2020

Yamada A, Tokuda J, Naka S, Murakami K, Tani T, Morikawa S.

Magnetic resonance and ultrasound image-guided navigation system using a needle manipulator.

Medical Physics, 47(3) ; 850-858, 2020

【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

Nitta N, Yamada A, Sonoda A, Otha S, Watanabe S, Tomozawa Y, Imai Y, Inoue A, Naka S, Tani T.

Capturing-performance Assessment of an Endovascular Snare System Based on a Loop-Formed Torque Wire.

第78回日本医学放射線学会総会, 2019年4月, 横浜

金一暁, 山田篤史, 園田悠馬, 山本 寛, 矢端博行, 塚本剛士, 和田英貴, 玉木良高, 小川暢弘, 北村彰浩, 山川 勇, 川合寛道, 漆谷 真

神経変性疾患のリハビリテーションにおける functional connectivity network の検討

第60回日本神経学会学術大会, 2019年5月, 大阪

山田篤史, 谷 徹
人工血管用素材を用いたアクティブカニューレのマニピュレーション
第 37 回日本ロボット学会学術講演会, 2019 年 9 月, 東京

山田篤史
弾性アームに基づく屈曲・伸展機構
DAFUL セミナー 2019, 2019 年 9 月, 東京

谷 徹, 鈴木麻子, 山田篤史, 仲 成幸, D,T,Khiem, 大平 孝, 塚本悟司, 石崎俊雄, 松室亮之
マイクロ波止血鉗子による血管封止中のインピーダンスと病理変化 - リアルタイムインピーダンスモニターによる -
第 38 回 Microwave Surgery 研究会, 2019 年 9 月, 大阪

谷 徹, 仲 成幸, 山田篤史, Tran Dan Khiem, 谷 総一郎
マイクロ波の医療への導入 - マイクロ波手術機器の開発
2019 Microwave Workshops & Exhibition (マイクロウェーブ展 2019), 2019 年 11 月, 横浜

仲 成幸, 山田篤史, 谷 徹
マイクロ波手術機器と術中 MRI が実現する究極の手術システム
2019 Microwave Workshops & Exhibition (マイクロウェーブ展 2019), 2019 年 11 月, 横浜

山田篤史, 米道 渉, 嶋 辰也, 谷 徹
人工血管用素材を用いたアクティブカニューレの開発
第 28 回日本コンピュータ外科学会大会, 2019 年 11 月, 東京

谷 徹
手術支援機器へのマイクロ波導入 - 血も煙も出ず、MR 画像と干渉しないエネルギー手術機器開発 -
第 13 回日本電磁波エネルギー応用学会研究会, 2020 年 1 月, 東京

谷 徹
マイクロ波医療機器の技術的分野的事業展開
第 6 回医療と介護の総合展 (メディカル ジャパン 大阪) 関西バイオクラスター, 2020 年 2 月, 大阪

滋賀医科大学医学部看護学科臨床看護学講座

【論文】

〈英文学術論文〉

Okayama H, Ninomiya S, Naito K, Endo Y, Morikawa S.
Effects of wearing supportive underwear versus pelvic floor muscle training or no treatment in women with symptoms of stress urinary incontinence: an assessor-blinded randomized control trial.
International urogynecology journal 30(7): 1093-1099, 2019

Tani T, Endo Y.
In Memory of Professor Akira Yamamoto.
Therapeutic apheresis and dialysis : official peer-reviewed journal of the International Society for Apheresis, the Japanese Society for Apheresis, the Japanese Society for Dialysis Therapy 23(3): 206-207, 2019

Tani T, Shimizu T, Tani M, Shoji H, Endo Y.
Anti-endotoxin Properties of Polymyxin B-immobilized Fibers.
Advances in experimental medicine and biology 1145: 321-341, 2019

〈和文学術論文〉

清水智治, 園田寛道, 三宅 亨, 植木智之, 小島正継, 長澤芳信, 山口 剛, 石川 健, 貝田佐知子, 竹林克士, 前平博充, 飯田洋也, 目片英治, 遠藤善裕, 谷 眞至

ロボット支援下手術の現状と今後の展開 2 当院における直腸癌に対するロボット支援下手術の現状と課題
日本臨床外科学会雑誌 80(増刊): 367-367, 2019

井上和明, 長沼 誠, 古屋智規, 安部隆三, 佐々木 茂, 遠藤善裕

消化器疾患におけるガイドラインの位置づけ
日本アフレル学会雑誌 38(3): 184-191, 2019

植木智之, 園田寛道, 三宅 亨, 清水智治, 遠藤善裕, 谷 眞至

ステント留置後の閉塞性大腸癌に対する治療成績の検討
日本大腸肛門病学会雑誌 72(9): A130-A130, 2019

二宮早苗, 杉野菜穂子, 森川茂廣, 内藤紀代子, 遠藤善裕, 岡山久代

女性の腹圧性尿失禁症状の改善を目的とした膀胱頸部挙上作用を有する下着の評価者盲検無作為化比較試験
日本排尿機能学会誌 29(2): 426-434, 2019

園田寛道, 清水智治, 三宅 亨, 植木智之, 竹林克士, 前平博充, 貝田佐知子, 飯田洋也, 山口 剛, 森 毅, 太田裕之, 目片英治, 遠藤善裕, 伴 宏充, 杉本光繁, 安藤 朗, 谷 眞至

閉塞性大腸癌に対するステント留置後腹腔鏡下手術の有用性
日本大腸肛門病学会雑誌 72(5): 248-248, 2019

園田寛道, 清水智治, 三宅 亨, 植木智之, 谷 総一郎, 竹林克士, 前平博充, 貝田佐知子, 飯田洋也, 山口 剛, 森 毅, 太田裕之, 目片英治, 遠藤善裕, 谷 眞至

Stage 2-3 大腸癌における腫瘍占拠部位の予後に与える影響
日本大腸肛門病学会雑誌 72(5): 314-314, 2019

寺本和雄, 遠藤善裕, 上田祐二, 小笠原一誠

LAP 陽性細胞選択吸着材カラムによる免疫治療の作用機序の解明
日本透析医学会雑誌 52(Suppl.1): 367-367, 2019

園田寛道, 清水智治, 三宅 亨, 植木智之, 竹林克士, 前平博充, 貝田佐知子, 飯田洋也, 山口 剛, 森 毅, 太田裕之, 目片英治, 遠藤善裕, 伴 宏充, 杉本光繁, 安藤 朗, 谷 眞至

閉塞性大腸癌に対するステント留置後腹腔鏡下手術の有用性
日本大腸肛門病学会雑誌 72(5): 248-248, 2019

園田寛道, 清水智治, 三宅 亨, 植木智之, 谷 総一郎, 竹林克士, 前平博充, 貝田佐知子, 飯田洋也, 山口 剛, 森 毅, 太田裕之, 目片英治, 遠藤善裕, 谷 眞至

Stage 2-3 大腸癌における腫瘍占拠部位の予後に与える影響
日本大腸肛門病学会雑誌 72(5): 314-314, 2019

清水智治, 三宅 亨, 園田寛道, 植木智之, 山口 剛, 貝田佐知子, 飯田洋也, 竹林克士, 目片英治, 遠藤善裕, 谷 眞至

外科侵襲と予後 周術期プロカルシトニンと大腸癌術後短期・長期成績の関連
第 119 回日本外科学会定期学術集会抄録集, 2019 年 4 月

【学会発表】

〈国際学会〉

Endo Y, Tani T.

In Memory of Prof. Akira Yamamoto.

The joint Meeting of The 12th World Congress of International Society for Apheresis (ISFA2019).

The 40th Annual Meeting of Japanese Society for Apheresis (JSFA2019), 2019 年 10 月, 京都市

Teramoto K, Endo Y, Ueda Y, Ogasawara K.

The application of the column adsorbing LAP positive cells to therapy of sepsis-induced immune paralysis.

The joint Meeting of The 12th World Congress of International Society for Apheresis (ISFA2019).

The 40th Annual Meeting of Japanese Society for Apheresis (JSFA2019), 2019年10月, 京都市

〈全国学会・地方会・その他〉

清水智治, 三宅 亨, 園田寛道, 植木智之, 山口 剛, 貝田佐知子, 飯田洋也, 竹林克士, 目片英治, 遠藤善裕, 谷 眞至
外科侵襲と予後 周術期プロカルシトニンと大腸癌術後短期・長期成績の関連

第119回日本外科学会定期学術集会抄録集, 2019年4月, 大阪市

關連病院業績

医療法人社団美松会 生田病院

【学会発表】

< 全国学会・地方会・その他 >

生田大二, 三宅 亨, 清水智治, 園田寛道, 植木智之, 徳田彩, 貝田佐知子, 飯田洋也, 北村直美, 山口 剛, 谷 眞至
 転移リンパ節の線維化は大腸癌における予後不良因子である
 第 119 回日本外科学会定期学術集会, 2019 年 4 月, 大阪

生田大二, 三宅 亨, 徳田彩, 植木智之, 貝田佐知子, 飯田洋也, 山口 剛, 園田寛道, 清水智治, 谷 眞至
 Claudin-9 は大腸癌リンパ節転移に関与する
 第 74 回日本消化器外科学会総会, 2019 年 7 月, 品川

医療法人徳洲会 宇治徳洲会病院 外科

【論文】

< 和文学術論文 >

下松谷匠, 松木豪志, 新美雄大, 長野心太, 日並淳介
 大腸癌による成人腸重積症の 9 例 - 待機的加療に関する検討
 日本腹部救急医学会雑誌, 39 巻 6 号 : 1127-1130, 2019 年 7 月

【学会発表】

< 全国学会・地方会・その他 >

高岸智子, 新美雄大, 松木豪志, 仲原英人, 橋本恭一, 日並淳介, 金児 潔, 下松谷匠, 久保田良浩, 仲井 理
 脳転移をきたした腹膜偽粘液腫の症例
 第 74 回日本消化器外科学会総会, 2019 年 7 月, 東京

下松谷匠, 松木豪志, 新美雄大, 長野心太, 仲原英人, 高岸智子, 橋本恭一, 日並淳介, 金児 潔, 久保田良浩
 腸重積を合併した大腸癌症例の検討
 第 74 回日本消化器外科学会総会, 2019 年 7 月, 東京

竹内 豪, 下松谷匠, 松木豪志, 青山諒平, 松山剛久, 仲原英人, 高岸智子, 橋本恭一, 日並淳介, 金児 潔, 久保田良浩,
 仲井 理, 増田道彦
 肺癌胃転移の一切除例
 第 202 回近畿外科学会, 2019 年 9 月, 大阪

下松谷匠, 青山諒平, 松山剛久, 高岸智子, 金児 潔, 久保田良浩
 閉塞性大腸癌に対する bridging to surgery としての大腸ステント留置の短期成績
 第 81 回日本臨床外科学会総会, 2019 年 11 月, 高知

松山剛久, 伊東真哉, 竹内 豪, 松木豪志, 青山諒平, 仲原英人, 高岸智子, 橋本恭一, 日並淳介, 三瀬圭一, 金児 潔,
 下松谷匠, 久保田良浩
 胸腔鏡補助下肋骨整復術を施行し遅発性下行大動脈損傷を防いだフレイル chests の 1 例
 第 81 回日本臨床外科学会総会, 2019 年 11 月, 高知

久保田良浩, 竹内 豪, 松木豪志, 青山諒平, 松山剛久, 仲原英人, 高岸智子, 橋本恭一, 日並淳介, 伊東真哉, 金児 潔,
 下松谷匠, 三瀬圭一, 仲井 理, 増田道彦
 子宮内膜症による鼠径部腫瘍を合併した大腿ヘルニアの 1 例
 第 81 回日本臨床外科学会総会, 2019 年 11 月, 高知

高岸智子, 橋本恭一, 下松谷匠, 金児 潔, 日並淳介, 松木豪志, 久保田良浩
当院における癒着性腸閉塞の腹腔鏡下手術と開腹手術の比較検討
第 32 回日本内視鏡外科学会総会, 2019 年 12 月, 横浜

長野心太, 久保田良浩, 松木豪志, 高岸智子, 橋本恭一, 日並淳介, 金児 潔, 下松谷匠
腹腔鏡下に手術しえた非定型的腸回転異常症の一例
第 32 回日本内視鏡外科学会総会, 2019 年 12 月, 横浜

橋本恭一, 松木豪志, 青山諒平, 松山剛久, 高岸智子, 日並淳介, 金児 潔, 下松谷匠, 久保田良浩
腹腔鏡手術手技向上のための手術ビデオ編集学習
第 32 回日本内視鏡外科学会総会, 2019 年 12 月, 横浜

近江八幡市市立総合医療センター 心臓血管外科

【論文】

< 和文学術論文 >

平松範彦, 宮下史寛, 松林景二

心筋血流予備量比測定中にプレッシャーワイヤ - が冠動脈内で断裂し, 外科的摘除を行った 1 例
日本冠疾患学会雑誌 1 : 5-8, 2019

河野浩人, 卯津羅泰徳, 斎藤 実, 西村 修, 松林景二, 岡野 晃, 中島正之
心原性脳塞栓症に上肢動脈急性閉塞を合併した 1 例
脳卒中, (J-STAGE 早期公開 2019 年 12 月 10 日), 2019

【学会発表】

< 全国学会・地方会・その他 >

乃田浩光, 上山克史, 坂倉玲欧, 三上直宜

破裂性腹部大動脈瘤に対する EVAR におけるバルーンオクルージョンの盲点
第 47 回日本血管外科学会学術総会, 2019 年 5 月, 名古屋

乃田浩光, 松林景二

心タンポナーデを伴った破裂性急性 B 型大動脈解離に対して緊急 TEVAR にて救命できたが対麻痺を生じた症例
第 60 回日本脈管学会総会, 2019 年 10 月, 東京

公益社団法人がん研究会 有明病院 消化器センター大腸外科

【論文】

< 英文学術論文 >

Tominaga T, Nagasaki T, Akiyoshi T, Fukunaga Y, Fujimoto Y, Yamaguchi T, Konishi T, Nagayama S, Ueno M.
Feasibility of neoadjuvant treatment for elderly patients with locally advanced rectal cancer.
Surg Today. 49(8): 694-703, 2019

Nakanishi R, Fukunaga Y, Nagasaki T, Emoto S, Hirayama K, Yoshioka S, Kitagawa Y, Honma S, Nagaoka T,
Matsui S, Tominaga T, Minami H, Miyanari S, Yamaguchi T, Akiyoshi T, Konishi T, Fujimoto Y, Nagayama S,
Saito S, Ueno M.

Laparoscopic-endoscopic cooperative surgery for ileal lipoma: A case report.
Asian J. Endosc. Surg. 13(2): 219-222, 2019

Yamaguchi T, Kinugasa Y, Mori K.

Oncological outcomes of robotic-assisted laparoscopic lateral lymph node dissection for rectal cancer.

Ann Laparosc Endosc Surg. 4(56); 1-2, 2019

Nagasaki T, Mise Y, Honma S, Sato T, Akiyoshi T, Fukunaga Y, Tominaga T, Nagaoka T, Yamaguchi T, Ueno M.
Simultaneous laparoscopic left hemicolectomy and spleen-preserving distal pancreatectomy for descending colon cancer with pancreatic invasion.

Asian J. Endosc. Surg. 12(3); 334-336, 2019

Nagasaki T, Akiyoshi T, Fukunaga Y, Tominaga T, Yamaguchi T, Konishi T, Fujimoto Y, Nagayama S, Ueno M.
The short- and long-term feasibility of laparoscopic surgery in colon cancer patients with bulky tumors.

J. Gastrointest. Surg. 23(9); 1893-1899, 2019

Nakai N, Yamaguchi T, Kinugasa Y, Shiomi A, Kagawa H, Yamakawa Y, Numata M, Furutani A, Yamaoka Y, Manabe S, Sawada A.

Diagnostic value of computed tomography (CT) and positron emission tomography (PET) for paraaortic lymph node metastasis from left-sided colon and rectal cancer.

Asian J Surg. 43(6); 676-682, 2019

Tominaga T, Akiyoshi T, Yamamoto N, Oba K, Nagasaki T, Yamaguchi T, Konishi T, Fukunaga Y, Ueno M.

Prognostic value of metastatic lymph node regression grade after neoadjuvant chemoradiotherapy in patients with locally advanced rectal cancer.

Surgery. 166(6); 1061-1067, 2019

Tominaga T, Nagayama S, Takamatsu M, Miyanari S, Nagasaki T, Yamaguchi T, Akiyoshi T, Konishi T, Fujimoto Y, Fukunaga Y, Ueno M.

A case of severe megacolon due to acquired isolated hypoganglionosis after low anterior resection for lower rectal cancer.

Clin J Gastroenterol. 13(3); 328-333, 2019

Yamaoka, Y, Imai K, Shiomi A, Kagawa H, Hino H, Yamakawa Y, Yamaguchi T, Kinugasa Y, Kishida Y, Ito S, Hotta K, Imai T.

Endoscopic resection of T1 colorectal cancer prior to surgery does not affect surgical adverse events and recurrence.

Surg. Endosc. 2019 Dec 9. doi: 10.1007/s00464-019-07295-8, 2019

Nakanishi R, Yamaguchi T, Akiyoshi T, Nagasaki T, Nagayama S, Mukai T, Ueno M, Fukunaga Y, Konishi T.

Laparoscopic and Robotic Lateral Lymph Node Dissection for Rectal Cancer.

Surg Today. 50(3); 209-216, 2020

Matsui S, Fukunaga Y, Iwagami M, Mukai M, Nagasaki T, Yamaguchi T, Akiyoshi T, Konishi T, Nagayama S, Ueno M.

Long-term outcomes of needlescopic surgery in patients with colon cancer: a retrospective cohort study.

Surgical Endoscopy. 2020 Feb 26. doi: 10.1007/s00464-020-07465-z, 2020

Mukai T, Fukunaga Y, Iwagami M, Mukai M, Nagasaki T, Yamaguchi T, Akiyoshi T, Konishi T, Nagayama S, Ueno M.

Laparoscopic Multivisceral Resection for Locally Advanced Colon Cancer: A Single-Center Analysis of Short- And Long-Term Outcomes.

Surg Today. 2020 Mar 9. doi: 10.1007/s00595-020-01986-9, 2020

< 和文学術論文 >

福長洋介, 上野雅資, 長山 聡, 小西 毅, 秋吉高志, 長壽寿矢, 山口智弘, 向井俊貴

【先進施設に学ぶ! 進行直腸癌の治療方針】 当院における進行直腸癌に対する治療

消化器外科 42 (8) : 1161-1175, 2019

池田篤志, 向井俊貴, 山口智弘, 長壽寿矢, 秋吉高志, 長山 聡, 上野雅資, 福長洋介, 佐野 武, 小西 毅
【大腸手術における術前経口抗菌薬投与の是非】腹腔鏡下大腸手術における予防的経口抗菌薬の是非 Cons の立場から
日本外科感染症学会雑誌 16 (4) ; 209-216, 2019

永岡智之, 小西 毅, 向井俊貴, 山口智弘, 長壽寿矢, 秋吉高志, 長山 聡, 福長洋介, 上野雅資
瘻・消化管神経内分泌腫瘍 - 診断・治療の基本と最新動向 小腸・結腸・直腸神経内分泌腫瘍の外科治療
臨床外科 74 (9) ; 1066-1069, 2019

福長洋介, 斎藤彰一, 千野晶子, 為我井芳郎, 上野雅資, 長山 聡, 小西 毅, 秋吉高志, 長壽寿矢, 山口智弘, 向井俊貴,
五十嵐正広
【特集 消化器腫瘍に対する腹腔鏡・内視鏡合同手術 (LECS) up date】胃粘膜下腫瘍以外に対する LECS 大腸腫瘍
に対する LECS
臨床外科 81 (11) ; 1158-1164, 2019

【学会発表】

< 国際学会 >

Konishi T, Tominaga T, Yamaguchi T, Nagasaki T, Akiyoshi T, Fujimoto Y, nagayama S, Fukunaga Y, Ueno M.
Different Oncologic Impact of Mesocolic Lymph Node Metastasis Between Right and Left Colon Cancer After
Curative Colectomy: Results of Anatomical Mapping of Harvested Lymph Nodes in 1,429 Patients Undergoing D3
Dissection.
ASCRS Annual Meeting 2019, 2019 年 6 月, グリーブランド

Yamaguchi T.

Robotic Surgery for Rectal Cancer

The 5th Huaxia minimally invasive surgery forum in Yanjiao city, 2019 年 8 月, 河北省

Yamaguchi T.

Robotic Surgery for Rectal Cancer.

Forum on deep blockade and minimally invasive techniques in Enhanced Recovery After Surgery for colorectal
cancer. Robotic Surgery for Rectal Cancer. 2019 年 9 月, 江蘇省

Konishi T, Tominaga T, Mukai T, Yamaguchi T, Nagasaki T, Akiyoshi T, Nagayama S, Fukunaga Y, Ueno M.
Oncologic impact of proximal mesocolic and superior mesenteric lymph node metastasis after curative right
colectomy with D3 dissection: results of prospective anatomical mapping of harvested lymph nodes.
2019 European Society of Coloproctology, 14th scientific & annual meeting, 2019 年 9 月, Wien

Konishi T, Tominaga T, Mukai T, Yamaguchi T, Nagasaki T, kiyoshi T, Nagayama S, Fukunaga Y, Ueno M.
Improved oncologic outcomes of D3 dissection for colon cancer with standardization of laparoscopic surgery:
results of 10 years experiences at a single cancer center.
2019 European Society of Coloproctology, 14th scientific & annual meeting, 2019 年 9 月, Wien

T Nagaoka, T Mukai, T Yamaguchi, T Nagasaki, T Akiyoshi, S Nagayama, Y Fukunaga, M Ueno, T Konishi.
Circular Stapler Size and Risk of Anastomotic Stricture after Colorectal Anastomosis Safety of smaller
circular staplers in double-stapling technique anastomosis for sigmoid colon and rectal cancer.
2019 European Society of Coloproctology, 14th scientific & annual meeting, 2019 年 9 月, Wien

Akiyoshi T, Tominaga T, Nagasaki T, Yamaguchi T, Konishi T, Fukunaga Y, Ueno M.
Prognostic value of metastatic lymph node regression grade following neoadjuvant chemoradiotherapy in patients
with locally advanced rectal cancer.
2019 European Society of Coloproctology, 14th Annual Meeting in Vienna, 2019 年 9 月, Wien

Nagasaki T, Tominaga T, Akiyoshi T, Fukunaga Y, Matsui S, Yamaguchi T, Ueno M.
Correlation between prognostic nutritional index and the occurrence of postoperative complications in colon cancer patients undergoing laparoscopic surgery.
2019 European Society of Coloproctology, 14th Annual Meeting in Vienna, 2019年9月, Wien

Matsui S, Fukunaga Y, Ueno M, Nagayama S, Nagasaki T, Akiyoshi T, Konishi T, Yamaguchi T, Mukai T, Sano T.
Prognostic value of peritoneal cytology in colorectal cancer.
2019 European Society of Coloproctology, 14th Annual Meeting in Vienna, 2019年9月, Wien
Yamaguchi T.
Robotic extralevator abdominoperineal resection with en-block multivisceral resection and lateral node dissection for locally advanced rectal cancer.
THE 8TH ASIAN ROBOTIC AND LAPAROSCOPIC CAMP FOR COLORECTAL SURGEONS, 2020年11月, 上海

<全国学会・地方会・その他>

山口智弘

直腸がん手術におけるロボットの有用性と手術のコツ
第15回名古屋消化器外科セミナー, 2019年4月, 愛知

長山 聡, 清谷一馬, 建 智博, 山口智弘, 長壽寿矢, 秋吉高志, 小西 毅, 藤本佳也, 福長洋介, 上野雅資
癌特異的抗原の効率的な同定とそれらを標的とした免疫治療戦略の開発
第119回日本外科学会定期学術集会, 2019年4月, 大阪

秋吉高志, 中西良太, 江本 慎, 平山和義, 北川祐資, 吉岡 聡, 本間 理, 永岡智之, 松井信平, 富永哲郎, 南 宏典, 宮成 淳, 山口智弘, 長壽寿也, 小西 毅, 藤本佳也, 長山 聡, 福長洋介, 上野雅資
Preoperative chemoradiotherapy for advanced low rectal cancer ~ Current status and future perspective
第119回日本外科学会定期学術集会, 2019年4月, 大阪

長壽寿矢, 秋吉高志, 山口智弘, 小西 毅, 長山 聡, 福長洋介, 上野雅資
当院における局所進行下部直腸癌に対する治療戦略
第119回日本外科学会定期学術集会, 2019年4月, 大阪

松井信平, 福長洋介, 上野雅資, 長山聡, 小西毅, 秋吉高志, 藤本佳也, 長壽寿矢, 山口智弘, 佐野 武
腹腔鏡下大腸切除手術におけるNeedlescopic surgeryの長期予後に与える影響
第119回日本外科学会定期学術集会, 2019年4月, 大阪

永岡智之, 小西 毅, 山口智弘, 長壽寿矢, 秋吉高志, 藤本佳也, 長山 聡, 福長洋介, 上野雅資
DST吻合における小径および大径吻合器の安全性の比較検討
第119回日本外科学会定期学術集会, 2019年4月, 大阪

本間 理, 福長洋介, 石塚直樹, 永岡智之, 松井信平, 富永哲郎, 南 宏典, 宮成 淳, 山口智弘, 長壽寿矢, 秋吉高志, 小西 毅, 藤本佳也, 長山 聡, 上野雅資
層別化解析を用いた直腸癌手術における経肛門ドレーンの検討
第119回日本外科学会定期学術集会, 2019年4月, 大阪

江本 慎, 福長洋介, 北川祐資, 吉岡 聡, 平山和義, 中西良太, 永岡智之, 本間 理, 松井信平, 富永哲郎, 南 宏典, 宮成 淳, 山口智弘, 長壽寿矢, 秋吉高志, 小西 毅, 藤本佳也, 長山 聡, 上野雅資
腹腔鏡下結腸癌手術後の吻合法別短期成績の検討
第119回日本外科学会定期学術集会, 2019年4月, 大阪

中西良太, 秋吉高志, 江本 慎, 平山和義, 吉岡 聡, 北川祐資, 本間 理, 永岡智之, 松井信平, 富永哲郎, 南 宏典, 宮成 淳, 山口智弘, 長壽寿矢, 小西 毅, 藤本佳也, 長山 聡, 福長洋介, 上野雅資
当院における骨盤内臓摘除術の適応と治療成績
第119回日本外科学会定期学術集会, 2019年4月, 大阪

山口智弘

技術認定医合格を目指して

The 6th JUNTENDO UNIVERSITY Colorectal Video Conference, 2019年5月, 東京

山口智弘

ロボット手術導入時の工夫

第1回ダビンチ直腸切除勉強会, 2019年6月, 埼玉

山口智弘

がん研アカデミー

第8回腹腔鏡下大腸切除術スキルアップコース, 2019年6月, 東京

山口智弘, 平山和義, 江本 慎, 中西良太, 永岡智之, 本間 理, 松井信平, 富永哲郎, 南 宏典, 宮成 淳, 長壽寿矢, 秋吉高志, 小西 毅, 長山 聡, 福長洋介, 上野雅資

直腸癌手術におけるモダリティーの選択～開腹・腹腔鏡・ロボット～ロボット手術導入時の工夫

第44回日本外科系連合学会学術集会, 2019年6月, 石川

山口智弘

ロボット手術導入時の工夫

第11回腹腔鏡下大腸切除研究会セミナー, 2019年6月, 沖縄

山口智弘

MEDTRONIC EDUCATION and TRAINING

滋賀医科大学 Web ビデオカンファレンス, 2019年7月, 東京

Fukunaga Y, Ueno M, Nagayama S, Konishi T, Akiyoshi T, Nagasaki T, Yamaguchi T, Mukai T.

Laparoscopic transverse colectomy with D3 lymph node dissection in each location.

第74回日本消化器外科学会総会, 2019年7月, 東京

Akiyoshi T, Nagasaki T, Yamaguchi T, Konishi T, Fujimoto Y, Nagayama S, Fukunaga Y, Ueno M, Sano T.

Laparoscopic surgery for locally advanced or recurrent rectal cancer.

第74回日本消化器外科学会総会, 2019年7月, 東京

山口智弘

ダビンチデュアルコンソールを用いたトレーニングデモ

第74回日本消化器外科学会総会, 2019年7月, 東京

長山 聡, 山口智弘, 長壽寿矢, 秋吉高志, 小西 毅, 藤本佳也, 福長洋介, 上野雅資

直腸癌手術に情熱を注いだ偉大なる先人たち

第74回日本消化器外科学会総会, 2019年7月, 東京

肥田侯矢, 住井敦彦, 西崎大輔, 有菌茂樹, 赤木智徳, 山口智弘, 秋吉高志, 小西 毅, 坂井義治, 渡邊昌彦

下部進行直腸癌 746 例の骨盤 MRI 中央判定で側方郭清の意義を探索

第74回日本消化器外科学会総会, 2019年7月, 東京

小西 毅, 向井俊樹, 山口智弘, 長壽寿矢, 秋吉高志, 長山 聡, 福長洋介, 上野雅資

JCOG0212 は予防的側方郭清を支持したのか?- 両側予防郭清を標準としない立場からの解釈と提言 -

第74回日本消化器外科学会総会, 2019年7月, 東京

長壽寿矢, 秋吉高志, 山口智弘, 小西 毅, 長山 聡, 福長洋介, 上野雅資

当院における側方リンパ節郭清症例の治療成績

第74回日本消化器外科学会総会, 2019年7月, 東京

富永哲郎, 秋吉高志, 長壽寿矢, 山口智弘, 藤本佳也, 小西 毅, 長山 聡, 福長洋介, 上野雅資

直腸癌術前化学放射線療法におけるリンパ節 regression の予後に対する影響

第74回日本消化器外科学会総会, 2019年7月, 東京

永岡智之, 秋吉高志, 山口智弘, 長壽寿矢, 小西 毅, 藤本佳也, 長山 聡, 福長洋介, 上野雅資
 他臓器浸潤結腸癌に対する腹腔鏡下手術の安全性
 第 74 回日本消化器外科学会総会, 2019 年 7 月, 東京

中西良太, 中屋恵梨香, 小西 毅, 山口智弘, 長壽寿矢, 秋吉高志, 長山 聡, 福長洋介, 比企直樹, 上野雅資
 Covering ileostomy を伴う直腸切除術における High output syndrome と栄養状態悪化の現状と対策
 第 74 回日本消化器外科学会総会, 2019 年 7 月, 東京

平山和義, 長壽寿矢, 南 宏典, 山口智弘, 藤本佳也, 秋吉高志, 小西 毅, 長山 聡, 福長洋介, 上野雅資
 当院における閉塞性大腸癌に対する術前ステント留置症例の検討
 第 74 回日本消化器外科学会総会, 2019 年 7 月, 東京

福長洋介, 上野雅資, 長山 聡, 小西 毅, 秋吉高志, 長壽寿矢, 山口智弘, 向井俊貴, 松井信平, 三城弥範,
 福岡宏倫
 当院における大腸癌に対する Needlescopic surgery の治療成績
 8th Reduced Port Surgery Forum 2019 in Tokyo, 2019 年 8 月, 東京

山口智弘
 大腸がんのロボット手術について
 健保連東京連合会神田地区方面会病院見学会, 2019 年 9 月, 東京

山口智弘
 直腸癌に対するロボット手術導入時の工夫
 第 51 回埼玉大腸疾患研究会, 2019 年 9 月, 埼玉

清住雄希, 福長洋介, 向井俊貴, 長壽寿矢, 山口智弘, 秋吉高志, 小西 毅, 長山 聡, 上野雅資
 直腸 NET の術前検査におけるリンパ節転移診断に関する検討
 第 7 回日本神経内分泌腫瘍研究会, 2019 年 9 月, 東京

山口智弘
 大腸切除術に対する体腔内吻合導入を目指して
 The 1st intracorporeal anastomosis hands-on seminar, 2019 年 10 月, 東京

山口智弘
 ロボット手術導入時期に必要な知識と準備について
 第 13 回 北東北 LAC 情報交換会, 2019 年 10 月, 岩手

山口智弘
 ロボット手術を安全に導入するためには？
 県北周術期研究会～医療の安全を考える会～, 2019 年 10 月, 栃木

長山 聡, 山口智弘, 長壽寿矢, 秋吉高志, 小西 毅, 福長洋介, 中村祐輔, 上野雅資
 大腸癌の診断・再発予測マーカーとしての ctDNA の有用性
 第 57 回日本癌治療学会学術集会, 2019 年 10 月, 福岡

長壽寿矢, 秋吉高志, 向井俊貴, 山口智弘, 長壽寿矢, 小西 毅, 長山 聡, 福長洋介, 上野雅資
 当院における進行下部直腸癌に対する治療戦略
 第 74 回日本大腸肛門病学会学術集会, 2019 年 10 月, 東京

富永哲郎, 秋吉高志, 長壽寿矢, 山口智弘, 小西 毅, 長山 聡, 福長洋介, 上野雅資
 直腸癌術前化学放射線療法施行症例における可溶性 PD-L1 値と予後に関する検討
 第 74 回日本大腸肛門病学会学術集会, 2019 年 10 月, 東京

山口智弘

直腸・肛門2

第81回日本臨床外科学会総会, 2019年11月, 高知

山口智弘

悩みを解消し能力を引き出す! ロボット支援下直腸切除術の工夫

第81回日本臨床外科学会総会, 2019年11月, 高知

山口智弘

ロボット支援下直腸癌手術 ~思い通りにいかないことはないですか?~

第6回大腸癌 Expert Meeting, 2019年11月, 愛媛

Nagayama S, Yamaguchi T, Nagasaki T, Akiyoshi T, Konishi T, Fukunaga Y, Nakamura Y, Ueno M.

The application of circulating tumor DNA analysis for detecting minimal residual disease and predicting recurrence in colorectal cancer patients.

JDDW 2019 KOBE, 2019年11月, 神戸

江本 慎, 福長洋介, 富永哲郎, 平山和義, 中西良太, 永岡智之, 田島ジェシー雄, 松井信平, 村橋 賢, 向井俊貴, 山口智弘, 長壽寿矢, 秋吉高志, 小西 毅, 長山 聡, 上野雅資

大腸癌術後の異時性傍大動脈リンパ節転移切除症例の検討

第81回日本臨床外科学会総会, 2019年11月, 高知

富永哲郎, 長壽寿矢, 秋吉高志, 山口智弘, 小西 毅, 長山 聡, 福長洋介, 上野雅資

腹腔鏡下結腸切除患者における術前 Prognostic nutritional index と術後合併症に関する検討

JDDW 2019 KOBE, 2019年11月, 神戸

松井信平, 福長洋介, 上野雅資, 長山 聡, 小西 毅, 秋吉高志, 長壽寿矢, 山口智弘, 佐野 武
原発性大腸癌における腹水細胞診の長期予後に与える影響

JDDW 2019 KOBE, 2019年11月, 神戸

山口智弘

直腸癌に対する腹腔鏡下側方リンパ節郭清の適応, 予後

第32回日本内視鏡外科学会総会, 2019年12月, 横浜

山口智弘

結腸癌体腔内吻合から直腸癌ロボット手術~明日からの診療に役立つ手技のコツ~

第32回日本内視鏡外科学会総会, 2019年12月, 横浜

山口智弘, 田島ジェシー雄, 江本 慎, 中西良太, 平山和義, 永岡智之, 松井信平, 村橋 賢, 向井俊貴, 長壽寿矢, 秋吉高志, 小西 毅, 長山 聡, 上野雅資, 福長洋介

直腸癌に対するロボット支援手術の問題点をどう解決するか?

第32回日本内視鏡外科学会総会, 2019年12月, 横浜

山口智弘

大腸切除術に対する体腔内吻合

第32回日本内視鏡外科学会総会, 2019年12月, 横浜

山口智弘

大腸悪性 直腸癌ロボット支援手術1

第32回日本内視鏡外科学会総会, 2019年12月, 横浜

山口智弘

手技のコツ! 結腸体腔内吻合から直腸ロボット手術まで

The 7th JUNTENDO UNIVERSITY Colorectal Video Conference, 2019年12月, 東京

山口智弘

手技のコツ！結腸体腔内吻合から直腸ロボット手術まで
East Saitama Cancer Board, 2019年12月, 埼玉

向井俊貴, 山口智弘, 長壽寿矢, 秋吉高志, 小西 毅, 長山 聡, 上野雅資, 福長洋介
cT4b 結腸癌に対する腹腔鏡下手術の治療成
第32回日本内視鏡外科学会総会, 2019年12月, 横浜

長山 聡, 向井俊貴, 山口智弘, 長壽寿矢, 秋吉高志, 小西 毅, 上野雅資, 福長洋介
腹腔鏡下結腸右半切除術における D3 リンパ節郭清の定型化
第32回日本内視鏡外科学会総会, 2019年12月, 横浜

長壽寿矢, 秋吉高志, 福長洋介, 向井俊貴, 山口智弘, 小西 毅, 長山 聡, 村橋 賢, 松井信平, 永岡智之, 江本 慎,
中西良太, 平山和義, 上野雅資
当院における腹腔鏡下側方リンパ節郭清の治療成
第32回日本内視鏡外科学会総会, 2019年12月, 横浜

永岡智之, 福長洋介, 向井俊貴, 山口智弘, 長壽寿矢, 秋吉高志, 小西 毅, 長山 聡, 上野雅資
当科における腹腔鏡下直腸癌術後の縫合不全回避の試み
第32回日本内視鏡外科学会総会, 2019年12月, 横浜

中西良太, 秋吉高志, 福長洋介, 向井俊貴, 山口智弘, 長壽寿矢, 小西 毅, 長山 聡, 上野雅史
下部直腸癌に対する TaTME 併用腹腔鏡下 ISR の手技と短期成績
第32回日本内視鏡外科学会総会, 2019年12月, 横浜

中西良太, 小西 毅, 向井俊貴, 山口智弘, 長壽寿矢, 秋吉高志, 長山 聡, 福長洋介, 上野雅資
がん研有明病院大腸外科における内視鏡技術認定取得を目指した教育システム
第32回日本内視鏡外科学会総会, 2019年12月, 横浜

江本 慎, 福長洋介, 平山和義, 中西良太, 永岡智之, 田島ジェシー雄, 松井信平, 村橋 賢, 向井俊貴, 山口智弘,
長壽寿矢, 秋吉高志, 小西 毅, 長山 聡, 上野雅資
横行結腸癌に対する腹腔鏡下手術における吻合法別短期および長期成績の検討
第32回日本内視鏡外科学会総会, 2019年12月, 横浜

松井信平, 福長洋介, 上野雅資, 長山 聡, 小西 毅, 秋吉高志, 長壽寿矢, 山口智弘, 向井俊貴
虫垂腫瘍に対する腹腔鏡手術
第32回日本内視鏡外科学会総会, 2019年12月, 横浜

田島ジェシー雄, 長壽寿矢, 村橋 賢, 平山和義, 江本 慎, 中西良太, 永岡智之, 松井信平, 向井俊貴, 山口智弘,
秋吉高志, 小西 毅, 長山 聡, 上野雅資, 福長洋介
胃大腸重複癌に対する腹腔鏡下同時切除術の検討
第32回日本内視鏡外科学会総会, 2019年12月, 横浜

平山和義, 長山 聡, 中西良太, 江本 慎, 田島ジェシー雄, 永岡智之, 松井信平, 村橋 賢, 向井俊貴, 山口智弘,
長壽寿矢, 秋吉高志, 小西 毅, 上野雅資, 福長洋介
S状結腸多発癌手術時に偶然発見された閉鎖孔ヘルニアの1例
第32回日本内視鏡外科学会総会, 2019年12月, 横浜

深田浩志, 向井俊貴, 山口智弘, 長壽寿矢, 秋吉高志, 小西 毅, 長山 聡, 福長洋介, 上野雅資
脾彎曲部進行結腸癌に対する腹腔鏡下手術の手技と治療成績
第32回日本内視鏡外科学会総会, 2019年12月, 横浜

銚之原健太郎, 秋吉高志, 向井俊貴, 山口智弘, 長壽寿矢, 小西 毅, 長山 聡, 福長洋介, 上野雅資
当院における前立腺癌の既往を有する直腸癌症例に対する腹腔鏡下根治切除の手術成績
第32回日本内視鏡外科学会総会, 2019年12月, 横浜

山口智弘

大腸切除術に対する体腔内吻合導入を目指して

THE 2nd INTRACORPOREAL ANASTOMOSIS HANDS-ON SEMINAR, 2020年1月, 川崎

山口智弘

直腸がんに対するMIS-腹腔鏡下手術とロボット手術-

第92回大腸癌研究会, 2020年1月, 広島

山口智弘

これからの医療を担う次世代へ ロボット手術をどう伝えるか

007会(消化器外科2007年卒の会), 2020年2月, 東京

山口智弘

下部消化管①

第12回日本ロボット外科学会, 2020年2月, 東京

鉦之原健太郎, 山口智弘, 深田浩志, 澤田隆一郎, 清住雄希, 田島ジェシー雄, 平山和義, 中西良太, 江本 慎, 永岡智之, 松井信平, 村橋 賢, 向井俊貴, 長壽寿矢, 秋吉高志, 小西 毅, 長山 聡, 上野雅資, 福長洋介

下部消化管⑤ロボット支援下直腸癌手術における助手の役割

第12回日本ロボット外科学会, 2020年2月, 東京

医療法人社団浅ノ川 心臓血管センター 金沢循環器病院 心臓血管外科

【学会発表】

<全国学会・地方会・その他>

上山克史, 坂倉玲欧, 村上 新, 永吉靖弘

人工弁脱落により3回目の手術を行った大動脈基部拡大を伴わない大動脈炎症候群の1例

胸部外科, 72:1089-1092, 2019年12月

医療法人徳洲会 岸和田徳洲会病院 心臓血管外科

【学会発表】

<国際学会>

Komooka M, Higashiue S, Kuroyanagi S, Furuya O, Hiramatsu N, Matsuura M, Kasuga K, Takemoto T.

The false lumen occlusion concept after PETTICOAT technique for type B aortic dissection.

27th ASCVTS & 65th IACTSCON, 2019, India

Komooka M, Higashiue S, Kuroyanagi S, Furuya O, Hiramatsu N, Matsuura M, Kasuga K, Takemoto T.

The method of complete aortic remodeling after PETTICOAT technique for aortic dissection.

ASIAN SOCIETY FOR VASCULAR SURGERY 2019, Indonesia

Matsuura M, Higashiue S, Kuroyanagi S, Komooka M, Furuya O, Hiramatsu N, Kasuga K, Takemoto T.

Effect of the early detected Type 2 endoleak on the delayed Type 1 endoleak.

ASIAN SOCIETY FOR VASCULAR SURGERY 2019, Indonesia

<全国学会・地方会・その他>

畔柳智司, 東上震一, 薦岡成年, 降矢温一, 平松範彦, 松浦 誠, 小島三郎, 春日健介, 竹本哲史

当院の感染性心内膜炎の治療方針と成績

第49回日本心臓血管外科学会学術総会, 2019年2月, 岡山

薦岡成年，東上震一，畔柳智司，降矢温一，平松範彦，松浦 誠，小島三郎，春日健介，竹本哲史
大動脈解離に対する PETTICOAT 法と re-intervention
第 50 回日本心臓血管外科学会学術総会，2019 年 2 月，岡山

降矢温一，東上震一，畔柳智司，薦岡成年，平松範彦，松浦 誠，小島三郎，春日健介，竹本哲史
内胸動脈に次ぐグラフト選択 橈骨動脈は有効か
第 51 回日本心臓血管外科学会学術総会，2019 年 2 月，岡山

薦岡成年，東上震一，畔柳智司，降矢温一，平松範彦，松浦 誠，小島三郎，春日健介，竹本哲史
弓部大動脈瘤への hybrid TEVAR：当科の適応と成績
第 47 回日本血管外科学会学術総会，2019 年 5 月，名古屋

松浦 誠，東上震一，薦岡成年，畔柳智司，降矢温一，平松範彦，小島三郎，春日健介，竹本哲史
破裂性腹部大動脈瘤に対する腹部大動脈瘤ステントグラフト内挿術の有用性
第 47 回日本血管外科学会学術総会，2019 年 5 月，名古屋

畔柳智司，東上震一，薦岡成年，降矢温一，平松範彦，松浦 誠，小島三郎，春日健介，竹本哲史
肺動脈血栓除去術の治療成績
第 62 回関西胸部外科学会学術集会，2019 年 6 月，徳島

薦岡成年，東上震一，畔柳智司，降矢温一，平松範彦，松浦 誠，小島三郎，春日健介，竹本哲史
当科における弓部大動脈瘤への hybrid TEVAR の適応と成績
第 62 回関西胸部外科学会学術集会，2019 年 6 月，徳島

降矢温一，東上震一，畔柳智司，薦岡成年，平松範彦，松浦 誠，小島三郎，春日健介，竹本哲史
CABG ハイリスク例の人工心肺使用
第 62 回関西胸部外科学会学術集会，2019 年 6 月，徳島

小島三郎，東上震一，畔柳智司，薦岡成年，降矢温一，平松範彦，松浦 誠，春日健介，竹本哲史
食欲不振から大動脈食道瘻が判明した 1 症例
第 62 回関西胸部外科学会学術集会，2019 年 6 月，徳島

松浦 誠，東上震一，薦岡成年，畔柳智司，降矢温一，平松範彦，小島三郎，春日健介，竹本哲史
瘤径拡大に伴い心不全症状が出現した冠動脈バイパス術後大伏在静脈グラフト瘤の一例
第 62 回関西胸部外科学会学術集会，2019 年 6 月，徳島

竹本哲史，東上震一，薦岡成年，畔柳智司，降矢温一，平松範彦，松浦 誠，小島三郎，春日健介
右側大動脈弓に伴う Kommerell 憩室に対するステントグラフト内挿術の 1 症例
第 62 回関西胸部外科学会学術集会，2019 年 6 月，徳島

春日健介，東上震一，薦岡成年，畔柳智司，降矢温一，平松範彦，松浦 誠，小島三郎，竹本哲史
左前下行枝狭窄による心筋梗塞後 VSP に対し Daggett 変法および double patch 法にて修復し良好な転帰を得た一症
例
第 62 回関西胸部外科学会学術集会，2019 年 6 月，徳島

畔柳智司，東上震一，薦岡成年，降矢温一，平松範彦，松浦 誠，小島三郎，春日健介，竹本哲史
CABG + SAVR の手術リスクに対する考察
第 24 回日本冠動脈外科学会学術大会，2019 年 7 月，金沢

降矢温一，東上震一，畔柳智司，薦岡成年，平松範彦，松浦 誠，小島三郎，春日健介，竹本哲史
当院における BITA の成績
第 24 回日本冠動脈外科学会学術大会，2019 年 7 月，金沢

松浦 誠, 東上震一, 薦岡成年, 畔柳智司, 降矢温一, 平松範彦, 小島三郎, 春日健介, 竹本哲史
破裂性腹部大動脈瘤に対する手術加療目的での転院搬送は現実的か
第 47 回日本救急医学会総会・学術集会, 2019 年 10 月, 東京

畔柳智司, 東上震一, 薦岡成年, 降矢温一, 平松範彦, 松浦 誠, 小島三郎, 春日健介, 竹本哲史
弓部大動脈に対する現在の治療方針と成績
第 60 回日本脈管学会総会, 2019 年 10 月, 東京

薦岡成年, 東上震一, 畔柳智司, 降矢温一, 平松範彦, 松浦 誠, 小島三郎, 春日健介, 竹本哲史
PETTICOAT 法と re-intervention : complete aortic remodeling に向けて
第 60 回日本脈管学会総会, 2019 年 10 月, 東京

平松範彦, 東上震一, 薦岡成年, 畔柳智司, 降矢温一, 小島三郎, 松浦 誠, 春日健介, 竹本哲史
EVAR 後 endoleak の治療により拡大が止まった骨破壊性慢性拡張性血腫と考えられる軟部腫瘍の 1 例
第 60 回日本脈管学会総会, 2019 年 10 月, 東京

松浦誠, 東上震一, 薦岡成年, 畔柳智司, 降矢温一, 平松範彦, 小島三郎, 春日健介, 竹本哲史
急速拡大を示した左鎖骨下動脈に entry を持つ Stanford B 型大動脈解離に対する debranch TEVAR
第 60 回日本脈管学会総会, 2019 年 10 月, 東京

畔柳智司, 東上震一, 薦岡成年, 降矢温一, 平松範彦, 松浦 誠, 小島三郎, 春日健介, 竹本哲史
SIMPLESTRATEGY で行う僧帽弁形成術の長期予後
第 72 回日本胸部外科学会定期学術集会, 2019 年 10 月, 京都

薦岡成年, 東上震一, 畔柳智司, 降矢温一, 平松範彦, 松浦 誠, 小島三郎, 春日健介, 竹本哲史
大動脈解離に対する PETTICOAT 法と complete aortic remodeling にむけての re-intervention
第 72 回日本胸部外科学会定期学術集会, 2019 年 10 月, 京都

降矢温一, 東上震一, 畔柳智司, 薦岡成年, 平松範彦, 松浦 誠, 小島三郎, 春日健介, 竹本哲史
当院での BITA と SITA の比較
第 72 回日本胸部外科学会定期学術集会, 2019 年 10 月, 京都

畔柳智司, 東上震一, 薦岡成年, 降矢温一, 平松範彦, 松浦 誠, 小島三郎, 春日健介, 竹本哲史
CABG + SAVR のリスク因子の検討
第 33 回日本冠疾患学会学術集会, 2019 年 12 月, 岡山

降矢温一, 東上震一, 畔柳智司, 薦岡成年, 平松範彦, 松浦 誠, 小島三郎, 春日健介, 竹本哲史
腎機能障害に OPCAB は有効か
第 33 回日本冠疾患学会学術集会, 2019 年 12 月, 岡山

竹本哲史, 東上震一, 薦岡成年, 畔柳智司, 降矢温一, 平松範彦, 松浦 誠, 小島三郎, 春日健介
低左心機能患者に対する橈骨動脈グラフトの有用性
第 33 回日本冠疾患学会学術集会, 2019 年 12 月, 岡山

田附興風会 医学研究所 北野病院

【学会発表】

< 全国学会・地方会・その他 >

首藤加奈

エキスパンダーにて組織拡張中に肋骨骨折を認めた乳癌患者の 2 例

第 62 回日本形成外科学会総会・学術総会, 2019 年 5 月, 札幌

首藤加奈

腹直筋皮弁による再建乳房内に転移を認めた再発乳癌の1例
第27回日本乳癌学会学術総会, 2019年7月, 東京

首藤加奈

子宮頸癌術後の難治性乳糜腹水に対し下肢リンパ管細静脈吻合が著効した1例
第123回関西形成外科学会・学術集会, 2019年12月, 京都

独立行政法人国立病院機構 京都医療センター 呼吸器外科

【学会発表】

< 全国学会・地方会・その他 >

橋本雅之, 堀本かんな, 武田恵子, 澤井 聡, 大塩麻友美
嗄声を伴う中縦隔気管支嚢胞にエタノール固定後切除を行った一例
第36回日本呼吸器外科学会学術集会, 2019年5月, 大阪

堀本かんな, 武田恵子, 橋本雅之, 澤井 聡, 元石 充, 大塩麻友美
胸腔鏡下手術を施行した奇静脈瘤の1例
第36回日本呼吸器外科学会学術集会, 2019年5月, 大阪

堀本かんな, 武田恵子, 橋本雅之, 澤井 聡
免疫チェックポイント阻害剤使用後小細胞肺癌への転化を認めた非小細胞癌の症例
第60回日本肺癌学会学術集会, 2019年12月, 大阪

橋本雅之, 堀本かんな, 澤井 聡, 大塩麻友美
肺癌術後の乳び胸に対し, CO2送気下胸腔鏡下胸管結紮術を施行した一例
第32回日本内視鏡外科学会総会, 2019年12月, 横浜

京都第一赤十字病院 乳腺外科

【論文】

< 和文学術論文 >

北野早映, 本田晶子, 糸井尚子, 李哲柱, 水野暢人, 池部均
転移性乳癌に対して Nab-paclitaxel 投与中に黄斑浮腫を認めた1例
乳癌の臨床 34 (6) : 531-537, 2019

【学会発表】

本田晶子, 北野早映, 糸井尚子, 小谷達也, 李 哲柱
再発後化学療法歴のあるパルボシクリブの使用についての検討
第27回日本乳癌学会学術集会, 2019年7月, 東京

糸井尚子, 北野早映, 本田晶子, 小谷達也, 李 哲柱, 山本沙織, 福田 令
当院における BRCA1/2 遺伝子検査体制整備と Olaparib の使用経験
第27回日本乳癌学会学術集会, 2019年7月, 東京

北野早映, 李 哲柱, 本田晶子, 糸井尚子, 小谷達也
CDK4/6 阻害剤耐性後に mTOR 阻害剤を使用した2例
第27回日本乳癌学会学術集会, 2019年7月, 東京

糸井尚子, 北野早映, 本田晶子, 李 哲柱
当院における転移再発乳癌に対するオラパリブの使用経験
第 81 回日本臨床外科学会総会, 2019 年 11 月, 高知

北野早映, 本田晶子, 糸井尚子, 李 哲柱
急速に増悪したが, 放射線治療により局所制御が得られたトリプルネガティブ乳癌の 1 例
第 82 回日本臨床外科学会総会, 2019 年 12 月, 高知

松室祐美, 糸井尚子, 北野早映, 李 哲柱, 山野 剛, 浦田洋二
半年の経過で急速に増大した乳腺紡錘細胞癌の一例
第 75 回京滋乳癌研究会, 2019 年 9 月, 京都

糸井尚子
『バイオロジーを考慮した HER2 陰性 MBC の治療戦略』昭和大学 先端がん治療研究所 所長 医学部腫瘍内科 教授
鶴谷純司 先生
第 76 回京滋乳癌研究会, 2019 年 10 月, 京都

糸井尚子
～最近の話題～ 乳がんと遺伝子検査
市民公開講座, 2019 年 11 月, 京都

松室祐美, 糸井尚子, 北野早映, 李 哲柱, 山野 剛, 浦田洋二
半年の経過で急速に増大した乳腺紡錘細胞癌の一例
第 77 回京滋乳癌研究会, 2019 年 11 月, 京都

社会医療法人社団仁生会 甲南病院 外科・消化器外科・肛門外科

【著書】

山本 寛
V 胃切除後症状の対策 ダンピング症候群 食事と生活の工夫で, 症状は軽くなります
ALPHA CLUB, 2019 年 5 月

【論文】

< 英文学術論文 >

Saiki S, Yamaguchi T, Tanaka S, Sasaki A, Naitoh T, Seto Y, Matsubara H, Yokote K, Okazumi S, Ugi S, Yamamoto H, Ohta M, Ishigaki Y, Kasama K, Seki Y, Irie J, Kusakabe T, Tsujino M, Shimizu H, Shirai K, Onozaki A, Kitahara A, Hayashi K, Miyazaki Y, Masaki T, Nagayama D, Yamamura S, Tatsuno I.
Background characteristics and postoperative outcomes of insufficient weight loss after laparoscopic sleeve gastrectomy in Japanese patients.
Ann Gastroenterol Surg26; 3(6): 638-647, 2019

Ugi S, Morino K, Yamaguchi T, Yamamoto H, Kaida S, Miyazawa I, Sato D, Sekine O, Fujita Y, Kashiwagi A, Tani M, Maegawa H.
Preserving β -cell function is the major determinant of diabetes remission following laparoscopic sleeve gastrectomy in Japanese obese diabetic patients.
Endocr J 28; 66(9): 817-826, 2019

【学会発表】

Yamamoto H.
Future perspectives on the cost effectiveness of bariatric surgery in Japan.
JDDW, Kobe, 2019 年 11 月, 神戸

山本 寛
肥満外科手術の当院での取り組み
BRIGE Forum in 甲南, 2019年9月, 甲賀

山本 寛
糖尿病外科と当院の取り組み
第34回甲賀湖南糖尿病研究会, 2019年12月, 甲賀

山本 寛
肥満・糖尿病外科手術
大津薬剤師会研修会, 2019年11月, 大津

山本 寛, 神谷純広
高齢者に隠れた外科疾患～食道裂孔ヘルニア～
ドクター交流会 症例検討会, 2019年10月, 甲賀

山本 寛
減量手術の医療経済効果をどのように評価するか
第10回肥満症総合治療セミナー, 2019年3月, 東京

山本 寛
高度肥満症に対する肥満外科治療の費用対効果に関する研究
第37回日本肥満症治療学会, 2019年11月, 東京

山本 寛
Changes of intestinal bacterial flora in the treatment of morbid obesity-Medical versus surgical treatment-
The 74rd General Meeting of JSGS, 2019年7月, 東京

山本 寛, 谷 眞至
アディポネクチン測定による術後感染症のハイリスク患者の抽出
第119回日本外科学会, 2019年4月, 大阪

神谷純広
closing remarks BRIDGEFORUUNIN 甲南, 2020年2月, 甲賀

山本 寛, 神谷純広, 山口 剛, 貝田佐知子, 谷 眞至
肥満糖尿病患者における腹腔鏡下スリーブ後の糖尿病の寛解には β 細胞機能が維持されていることが重要である
第32回日本内視鏡外科学会, 2019年12月, 横浜

公立甲賀病院 呼吸器外科

【論文】

< 英文学術論文 >

Kataoka Y, Igarashi T, Ohshio Y, Fujita T, Hanaoka J.
Predictive importance of galectin-3 for recurrence of non-small cell lung cancer.
General Thoracic and Cardiovascular Surgery, 2019 Aug; 67(8): 704-711, 2019

< 和文学術論文 >

藤田琢也, 片岡瑛子, 花岡 淳, 井上修平, 尾崎良智, 大内政嗣
肋間開胸術後に発症した肋骨骨髓炎・肋軟骨炎
胸部外科 73 (2) : 117-119, 2020

【学会発表】

< 国際学会 >

Kataoka Y, Fujita T, Hanaoka J.

CD271 SERVES AS A PROGNOSTIC MARKER IN NSCLC.

28th Meeting of the European Society of Thoracic Surgeons, June, 2019, Dublin, Ireland

< 全国学会・地方会・その他 >

藤田琢也, 片岡瑛子

Pembrolizumab 治療後の Bevacitumab 併用化学療法中に, 急性腹症を発症した一例

第 60 回日本肺癌学会学術総会, 2019 年 12 月, 大阪

片岡瑛子, 藤田琢也

気管支鏡検査後に肺化膿症を併発した肺癌の 1 切除例

第 42 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2019 年 7 月, 東京

片岡瑛子, 藤田琢也, 花岡 淳

pN2 非小細胞肺癌におけるがん間質線維芽細胞の役割

第 72 回日本胸部外科学会定期学術集会, 2019 年 11 月, 京都

片岡瑛子, 藤田琢也, 花岡 淳

pN2 非小細胞肺癌における予後予測因子としての CD271 発現の意義

第 78 回日本癌学会学術総会, 2019 年 9 月, 京都

社会医療法人天神会 古賀病院 21 消化器外科

【学会発表】

< 全国学会・地方会・その他 >

池添清彦, 田中亮介, 山口方規, 磯本浩晴, 西田直代

結腸腺扁平上皮癌の臨床病理学的検討

第 44 回日本大腸肛門病学会九州地方会, 2019 年 9 月, 大分

山口方規, 池添清彦

腹腔鏡手術で根治切除可能であった肺癌大腸転移の 1 例

第 32 回日本内視鏡外科学会総会, 2019 年 12 月, 横浜

独立行政法人地域医療推進機構 滋賀病院 外科・乳腺外科

【論文】

< 英文学術論文 >

Itoi N, Umeda T, Ishida M, Murata S, Mori T, Kawai Y, Tomida K, Shimizu T, Kushima R, Tani M.

Infiltration of CD4, CD8, CD56, and Fox-P3-positive lymphocytes in breast carcinoma tissue after neoadjuvant chemotherapy with or without trastuzumab.

Breast Disease 38: (2019)57-65, 2019

< 和文学術論文 >

唐澤久美子, 相原道子, 山下啓子, 山本明美, 名越澄子, 中野弘一, 大久保ゆかり, 片井みゆき, 前田佳子, 萬知子, 梅田朋子, 渋谷景子, 加藤聖子, 鈴木利哉

女性医師等のキャリア支援策の実態とキャリア開発について AJMC 女性医師等のキャリア支援策に関する実態調査の報告 (会議録)

医学教育 (0386-9644) 50 (Suppl) : 49, 2019

河合由紀, 北村美奈, 木村由梨, 勝元さえこ, 佐藤智佳, 茶野徳宏, 富田 香, 森 毅, 梅田朋子, 清水智治, 谷 眞至
 当院における遺伝性乳癌診療の取り組みと現況 HBOC の診療体制と今後の展望について (解説)
 滋賀医科大学雑誌 (0912-3016)32(1) : 6-10, 2019

【学会発表】

<全国学会・地方会>

八木俊和, 辰巳征浩, 木田睦士, 児玉創太, 内藤弘之, 来見良誠

当院における高齢者に対する腹腔鏡下直腸固定術の経験

第 32 回日本内視鏡外科学会, 2019 年 12 月, 横浜

梅田朋子, 内藤弘之, 八木俊和, 児玉創太, 長澤芳信, 竹村しづき, 杉原洋行, 中島滋美, 馬野真次, 吉田章子,
 清水智治, 谷 眞至, 来見良誠

遠隔病理診断ネットワークを利用した乳がん手術の検討

第 119 回日本外科学会総会, 2019 年 4 月, 大阪

梅田朋子, 河合由紀, 富田 香, 北村美奈, 辰巳征浩, 坂井幸子, 加藤久尚, 澤田佳奈, 油木理恵, 島田加奈, 森 毅,
 阿部 元, 清水智治, 谷 眞至

トラスツズマブエムタシンにて長期間 SD を維持できた 1 例

第 27 回日本乳癌学会学術総会, 2019 年 7 月, 東京

梅田朋子, 内藤弘之, 八木俊和, 児玉創太, 長澤芳信, 辰巳征浩, 竹林紀子, 中島滋美, 馬野真次, 吉田章子,
 竹村しづき, 杉原洋行, 真鍋俊明, 九嶋亮治, 来見良誠

当院における遠隔病理診断ネットワークを利用した乳癌手術

第 115 回滋賀県外科医会, 2019 年 6 月, 大津

八木俊和, 辰巳征浩, 木田睦士, 児玉創太, 梅田朋子, 内藤弘之, 来見良誠

再発鼠径ヘルニアに対する TAPP の経験

第 19 回滋賀ヘルニア研究会, 2019 年 6 月, 大津

辰巳征浩, 児玉創太, 八木俊和, 長澤芳信, 木田睦士, 梅田朋子, 内藤弘之, 来見良誠

当院における 90 歳以上手術症例の検討

第 115 回滋賀県外科医会, 2019 年 6 月, 大津

辰巳征浩

女性医師の中での男性医師の主張

第 8 回滋賀県女性医師交流会, 2019 年 10 月, 大津

富田 香, 河合由紀, 辰巳征浩, 北村美奈, 加藤久尚, 坂井幸子, 森 毅, 清水智治, 梅田朋子, 谷 眞至

当院における乳癌発見契機別の病期分布と術式について

第 27 回日本乳癌学会学術総会, 2019 年 7 月, 東京

澤田佳奈, 梅田朋子, 河合由紀, 富田 香, 北村美奈, 辰巳征浩, 油木映里, 坂井幸子, 加藤久尚, 島田加奈, 清水智治,
 森谷鈴子, 谷 眞至

乳癌術後 15 年目に発生した骨肉腫の 1 例

第 27 回日本乳癌学会学術総会, 2019 年 7 月, 東京

北村美奈, 辰巳征浩, 島田加奈, 富田 香, 坂井幸子, 河合由紀, 三宅 亨, 植木智之, 貝田佐知子, 北村直美, 飯田洋也,
 山口 剛, 園田寛道, 梅田朋子, 清水智治, 谷 眞至

BRACAnalysis 診断システムにて変異陽性となった高齢者再発乳癌の 1 例

第 27 回日本乳癌学会学術総会, 2019 年 7 月, 東京

静岡県立静岡がんセンター 食道外科

【論文】

< 英文学術論文 >

Nitta N, Yamamoto Y, Sugiura T et al.

"A case of pancreatic cancer invading the superior mesenteric artery causing extensive intestinal necrosis that was successfully treated by surgery"

Journal of Surgical Case Reports, 2019; 4, 1-4

< 和文学術論文 >

新田 信人, 蘆田 良, 杉浦 禎一 ほか

十二指腸壁内血腫 (径 12cm) を伴った膵頭部癌の 1 例

日本臨床外科学会雑誌 80 (5) : 976-982, 2019

【学会発表】

< 全国学会・地方会・その他 >

新田 信人, 伊藤 貴明, 杉浦 禎一 ほか

脾臓 Sclerosing angiomatoid nodular transformation の 1 切除例

第 297 回東海外科学会, 2019 年 4 月, 愛知

新田 信人, 山本 有祐, 杉浦 禎一 ほか

疾患別にみた予定残肝 ICG 消失率 (RemK) と術後肝不全の関連性

第 119 回日本外科学会, 2019 年 4 月, 大阪

新田 信人, 岡村 行泰, 杉浦 禎一 ほか

肝原発神経内分泌腫瘍の 1 例

第 59 回肝癌症例検討会, 2019 年 5 月, 東京

Nitta N, Ohgi K, Sugiura T et al.

Impact of paraaortic lymph node metastasis or positive peritoneal lavage cytology on the postoperative survival in bile duct cancer.

第 31 回日本肝胆膵外科学会, 2019 年 6 月, 香川

新田 信人, 大木 克久, 杉浦 禎一 ほか

高度門脈侵襲を伴う肝細胞癌切除例の治療成績

第 74 回日本消化器外科学会, 2019 年 7 月, 東京

新田 信人, 大木 克久, 杉浦 禎一 ほか

術前抗菌剤投与と膵頭十二指腸切除術後感染性合併症との関連性

第 81 回日本臨床外科学会, 2019 年 11 月, 高知

順天堂大学 心臓血管外科

【論文】

< 英文学術論文 >

Sakakura R, Asai T, Suzuki T, Kinoshita T, Enomoto M, Kondo Y, Shiraiishi S.

Outcomes after aortic valve replacement for aortic valve stenosis, with or without concomitant coronary artery bypass grafting.

Gen Thorac Cardiovasc Surg. 67(6): 510-517, 2019

Asai T.

Commentary: Axillary artery cannulation was used safely for the stable majority of patients.
J Thorac Cardiovasc Surg. 158(3): 664, 2019

Asai T.

Commentary: Ischemic left ventricular dysfunction needs durable complete surgical coronary revascularization.
J Thorac Cardiovasc Surg. 30:S0022-5223(19)31148-1, 2019

Asai T.

Commentary: Shaggy aorta in thoracoabdominal aortic aneurysm repair, an insidiously growing threat.
J Thorac Cardiovasc Surg. 19:S0022-5223(19)31848-3, 2019

Asai T.

Commentary: More valuable data on aortic blood flow patterns in valve-sparing aortic root replacements.
J Thorac Cardiovasc Surg. 4:S0022-5223(19)30757-3, 2019

Asai T.

Commentary: How to transpose the isolated left vertebral artery in hybrid thoracic endovascular aortic repair.
J Thorac Cardiovasc Surg. 9:S0022-5223(19)31367-4, 2019

Hachiro K, Kinoshita T, Asai T, Suzuki T.

Impact of Mitral Surgery for Mitral Regurgitation on Coexisting Aortic Regurgitation.
Ann Thorac Cardiovasc Surg. 7:10.5761/atcs.oa.19-00141, 2019

Suzuki T, Asai T, Kinoshita T.

Emergency Surgery for Acute Type A Aortic Dissection in Octogenarians Without Patient Selection.

Kinoshita T, Yoshida H, Hachiro K, Suzuki T, Asai T.

Spinal cord collateral flow during antegrade cerebral perfusion for aortic arch surgery.

"J Thorac Cardiovasc Surg. 2019 Aug25 :S0022-5223(19)31642-3. doi:

10.1016/j.jtcvs.2019.07.088. Epub ahead of print. PMID: 31543306."

Hachiro K, Kinoshita T, Asai T, Suzuki T.

Left ventricular mass regression in patients without patient-prosthesis mismatch after aortic valve replacement for aortic stenosis.

Gen Thorac Cardiovasc Surg. 2019 Aug14:10.1007/s11748-019-01188-2. doi: 10.1007/s11748-019-01188-2. Epub ahead of print. PMID: 31414321.

Vu T, Fujiyoshi A, Hisamatsu T, Kadota A, Zaid M, Segawa H, Kondo K, Asai T, Miura K, Ueshima H.

Lipoprotein particle profiles compared with standard lipids in the association with sub-clinical aortic valve calcification in apparently healthy Japanese men

Eur Heart J. 40: 2870-2870, 2019

Desai ND, Bakaeen FG, Svensson LG, Rosinski BF, Asai T, Roselli E, Bavaria JE

Cannulation strategies in acute type A dissection repair: A systematic axillary artery approach Discussion

J Thorac Cardiovasc Surg. 158(3): 656-659, 2019

Hachiro K, Kinoshita T, Asai T, Suzuki T.

Hypoxia-induced galectin-3 enhances RhoA function to activate the motility of tumor cells in non-small cell lung cancer

Oncology reports. 41(2): 853-862, 2019

Asai T.

An Update Review on Postinfarction Ventricular Septal Rupture

Journal of Coronary Artery Disease 25: 16-20, 2019

著者：浅井 徹，編集：日本低侵襲心臓手術学会，
低侵襲心臓手術の基本と実践：始めたいひと，始めたいひと (B. 僧帽弁の手術 5. 変性性僧帽弁閉鎖不全に対する
MICS による形成術)

【学会発表】

< 国際学会 >

Asai T.

Degenerative Mitral Valve Remodeling and Butterfly Technique.
ABRECCV Brazil, Virtual Meeting September, 2019 Tokyo, Japan >>> San Paulo

Asai T.

Acute Phase Ventricular Septal Rupture (VSR) and a novel repair technique: Extended sandwich patch repair via
RV incision.
2019 CACVS congress, Nanjing, September, 2019

Asai T.

Total in-situ arterial grafting in OPCAB: Impact of anaortic OPCAB with all skeletonized conduits.
2019 CACVS congress, Nanjing, September, 2019

Asai T.

Degenerative mitral valve disease remodeling and butterfly technique, Rationale and Impact of Butterfly Effect.
2019 CACVS congress, Nanjing, September, 2019

Asai T.

A forgotten conduit: the gastroepiploic artery. CABG: strategy is the secret for success
33rd EACTS Annual Meeting, October, 2019, Lisbon

Asai T.

Live-in-a-box – Papillary muscle repair following MI.
The 1st Bengaluru Live Valve Congress 2019, November, 2019, India

Asai T.

Live-in-a-box – Mitral valve repair in Barlow’ s disease.
The 1st Bengaluru Live Valve Congress 2019, Bengaluru, November, 2019

Asai T.

Live case – Butterfly technique for mitral valve repair>rheumatic mitral repair.
The 1st Bengaluru Live Valve Congress 2019, November, 2019, India,

Asai T.

Evolving concept of Mitral valve repair and beyond
The invited morning seminar, New York University Medical Center, December, 2019 NY

Asai T. Hochiminh

Live Surgery- HOCM with LVOTO and kyphosis,
Medical and Pharmaceutical University Hospital, Ho Chi Minh city, December, 2019

Asai T.

Degenerative Repair –Targeted Resection “Butterfly technique”
AATS Mitral Conclave, keynote lecture, NY, May, 2019

Asai T.

Double Triangular Resection: the geometry control for the anterior leaflet with extreme redundancy.
AATS Mitral Conclave, Video Presentation, NY, May, 2019

Asai T.
Extended sandwich patch repair for acute posterior ventricular septal rupture.
AATS 99th Annual Meeting, Boston, USA, May, 2019

Asai T.
Outcomes with GEA grafting as a part of total arterial grafting,
5th International Coronary Congress, NY, USA, December, 2019

Asai T.
A Novel Repair for Post Infarction Ventricular Septal Rupture, The Extended Sandwich Patch Method
5th International Coronary Congress, NY, USA, December, 2019

Asai T.
Alternative conduits for redo-CABG
5th International Coronary Congress, NY, USA, December, 2019

< 全国学会・地方会・その他 >

浅井 徹

Mitral valve repair strategy based on quantitative assessment for complex degenerative mitral disease: 複雑病変に対する僧帽弁形成術のコツ
第 119 回日本外科学会定期学術集会, 2019 年 4 月, 大阪

浅井 徹

My technical basis of ITA-LAD anastomosis. Video Symposium1-1: My technique of ITA-LAD anastomosis

日本冠動脈外科学会, 2019 年 7 月, 金沢

浅井 徹

Intraoperative graft assessment in multi-arterial OPCAB: state-of-the-arts technology, SENSHIN Program2: Deliberating on intraoperative graft verification,
日本冠動脈外科学会, 2019 年 7 月, 金沢

浅井 徹

心筋梗塞後心室中隔破裂に対する経右室拡大サドイッチ法, ビデオシンポジウム 1 (成人心臓) 心筋梗塞合併症に対する手術術式
第 72 回日本胸部外科学会定期学術集会, 2019 年 10 月, 京都

浅井 徹

RITA は, skeletonized in-situ で使うべきである
第 33 回日本冠疾患学会学術集会, 2019 年 12 月, 岡山

医療法人東和会 第一東和会病院 内視鏡外科センター

【学会発表】

< 全国学会・地方会 >

千野佳秀, 藤村昌樹, 佐藤 功, 水谷 真
前立腺手術後に生じた鼠径ヘルニアに対する治療戦略
日本ヘルニア学会, 2019 年 5 月, 四日市

千野佳秀, 藤村昌樹, 佐藤 功, 水谷 真
理想的な総胆管結石症治療を目指して - 当院での 10 年間の成績から考える理想的戦略 -
四医師会, 2019 年 6 月, 高槻

千野佳秀, 藤村昌樹, 佐藤 功, 水谷 真
当院における腹腔鏡内視鏡合同手術 20 例の治療成績—適応から合併症を生じない工夫まで—
日本内視鏡外科学会, 2019 年 12 月, 横浜

Chino Y, Fujimura M, Sato I, Mizutani M, Tabata T, Tagi T, Matsumoto N, Takayama S, Shimaoka S, Iida M.
The best practice for common bile duct stones -Our outcomes for 10 years-
日本消化器外科学会, 2019 年 7 月, 東京

医療法人医仁会 武田総合病院 呼吸器外科

【学会発表】

< 全国学会・地方会 >

北村将司, 鈴木雄治, 赤澤 彰
術後横隔神経麻痺に対し横隔膜縫縮術を施行し人工呼吸器離脱が可能となった 1 例
第 36 回日本呼吸器外科学会総会, 2019 年 5 月, 大阪

北村将司, 鈴木雄治, 赤澤 彰
結核性胸膜炎の胸腔ドレーン挿入部に発症した胸胸結核に対して膿瘍切除筋肉充填術施行した 2 例
第 94 回日本結核病学会総会, 2019 年 6 月, 大分

北村将司, 鈴木雄治, 赤澤 彰
当科における CT ガイド下経皮的色素注入による肺切除術前マーキングの検討
第 42 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2019 年 7 月, 東京

北村将司, 鈴木雄治, 赤澤 彰
同時 2 か所の CT ガイド下経皮的色素注入マーキング法の工夫
第 42 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2019 年 7 月, 東京

北村将司, 鈴木雄治, 赤澤 彰
肺癌術後化学療法中に発症した壊死性虚血性大腸炎の 1 例
第 60 回日本肺癌学会学術集会, 2019 年 12 月, 大阪

北村将司, 鈴木雄, 赤澤 彰
左肺上区切除術後の有癭性膿胸に対して開窓術施行し良好な経過を得た 1 例
第 60 回日本肺癌学会学術集会, 2019 年 12 月, 大阪

医療法人信愛会 暇生会脳神経外科病院 外科

【論文】

< 和文学術論文 >

跡地春仁, 松尾彩加, 森本瑞代, 井之上佐由利, 山口郁恵, 竹采京子, 村上耕一郎, 高橋 朗
カルニチン投与により難治性腹水の減少が示唆された 2 症例
学会誌 JSPEN. Vol.1 (4) : 289-296, 2019

【学会発表】

< 国際学会 >

Yamashiro K, Murakami K, Shiomi H, Goto A.

Evaluation of the Advising Doctor for Operating of Medical Student by Laparoscopic Surgery Simulator
10th HCI: International Conference on Human-Computer Interaction, 2019年7月, Orland

< 全国学会・地方会・その他 >

村上耕一郎, 森本瑞代, 井之上佐由, 松尾彩加, 竹采京子, 山口郁恵, 金城奉軒, 高橋 朗,
板垣成彦, 跡地春仁

術後多臓器不全においてPPI誘発性腸炎と食道カンジダ症を発症した一例

第11回日本静脈経腸栄養学会近畿支部学術集会, 2019年6月, 大阪

村上耕一郎

左側胆嚢の胆石症に対し3Dシミュレーションを併用して良好なポート位置を予測し腹腔鏡下手術を遂行した症例
第55回日本胆道学会学術集会, 2019年10月, 名古屋

長浜赤十字病院 外科

【論文】

< 和文学術論文 >

東口貴之, 塩見尚礼, 前川 毅, 長門 優, 谷口正展, 丹後泰久, 張 弘富, 中村一郎, 中村誠昌
気管挿管を行わず吊り上げ式腹腔鏡下胆嚢摘出術を施行した遺伝性血管浮腫の1例
滋賀医大誌 32 (1) : 46-49, 2019

長門 優, 塩見尚礼, 前川 毅, 東口貴之, 谷口正展, 丹後泰久, 張 弘富, 中村一郎, 中村誠昌

大腸内視鏡検査前処置としてのピコスルファートナトリウム内服が誘因となった虚血性大腸炎の一例
滋賀医大誌 32 (1) : 50-54, 2019

【学会発表】

< 全国学会・地方会・その他 >

中村一郎, 村本圭史, 東口貴之, 長門 優, 園田寛道, 谷口正展, 丹後泰久, 張 弘富, 中村誠昌, 塩見尚礼
ロボット支援下腹腔鏡下幽門側胃切除術の有用性

第81回日本臨床外科学会総会, 2019年11月, 高知

中村一郎, 前川毅, 東口貴之, 長門 優, 谷口正展, 丹後泰久, 張 弘富, 中村誠昌, 塩見尚礼

高齢者胃痛に対する腹腔鏡下幽門側胃切除術の長期短期成績

第74回日本消化器外科学会総会, 2019年7月, 東京

中村一郎, 張 弘富, 中村誠昌, 塩見尚礼

Efficacy of chemotherapy after nivolumab treatment for patients with advanced gastric cancer

第57回日本癌治療学会総会, 2019年10月, 福岡

中村一郎

喉頭痛放射線化学療法根治後, 窒息で発見された頸部食道癌の1例

第73回日本食道学会学術集会, 2019年6月, 福岡

中村一郎, 村本圭史, 東口貴之, 長門 優, 谷口正展, 園田寛道, 張 弘富, 丹後泰久, 中村誠昌, 塩見尚礼
直腸膀胱瘻, 精嚢浸潤を伴うS状結腸直腸癌に対して術前化学療法を施行し, 根治切除し得た1例

第115回滋賀県外科医会, 2019年6月, 滋賀

村本圭史, 中村一郎, 東口貴之, 長門 優, 谷口正展, 園田寛道, 張 弘富, 丹後泰久, 中村誠昌, 塩見尚礼
CTでの診断により受診後早期に腹腔鏡下で修復し得た子宮広間膜ヘルニア嵌頓の1例

第32回日本内視鏡外科学会総会, 2019年12月, 神奈川

吉澤奈々, 中村一郎, 村本圭史, 東口貴之, 長門 優, 園田寛道, 谷口正展, 丹後泰久, 張 弘富, 中村誠昌, 塩見尚礼

腹腔鏡下リンパ節生検により診断し得た腹腔内リンパ節結核の1例

第81回日本臨床外科学会総会, 2019年11月, 高知

村本圭史, 丹後泰久, 東口貴之, 長門 優, 園田寛道, 谷口正展, 張 弘富, 中村一郎, 中村誠昌, 塩見尚礼, 廣江光亮, 横田佳大, 酒井滋企, 馬場弘道, 駒井康伸

Peutz-Jeghers 症候群に対し, 術中小腸内視鏡下ポリペクトミー併用, 十二指腸・小腸・結腸左半切除術を行った一例

第83回滋賀消化器研究会, 2019年7月, 滋賀

丹後泰久, 塩見尚礼

A case of cholangiolocellular carcinoma mimicking a metastatic liver tumor of gastric cancer

第31回日本肝胆膵外科学会・学術集会, 2019年6月, 高松

丹後泰久, 塩見尚礼, 馬場弘道, 駒井康伸

当院における拡大胆嚢摘出術症例の検討

第55回日本胆道学会・学術集会, 2019年10月, 名古屋

中村一郎, 村本圭史, 東口貴之, 長門 優, 谷口正展, 園田寛道, 張 弘富, 丹後泰久, 中村誠昌, 塩見尚礼

直腸膀胱瘻, 精嚢浸潤を伴うS状結腸直腸癌に対して術前化学療法を施行し, 根治切除し得た1例

第115回滋賀県外科医会, 2019年6月, 滋賀

吉澤奈々, 中村一郎, 村本圭史, 東口貴之, 長門 優, 園田寛道, 谷口正展, 丹後泰久, 張 弘富, 中村誠昌, 塩見尚礼

腹腔鏡下リンパ節生検により診断し得た腹腔内リンパ節結核の1例

第81回日本臨床外科学会総会, 2019年11月, 高知

塩見尚礼, 中村一郎, 村本圭史, 東口貴之, 長門 優, 谷口正展, 園田寛道, 丹後泰久, 張 弘富, 中村誠昌

Best と考える内視鏡手術・ロボット手術とその限界(ロボット) 当院におけるロボット支援腹腔鏡下幽門側胃切除術

第32回日本小切開・鏡視外科学会, 2019年6月, 大阪

塩見尚礼, 丹後泰久

A study on postoperative cholangitis for pancreaticobiliary disease

第31回日本肝胆膵外科学会・学術集会, 2019年6月, 高松

塩見尚礼, 丹後泰久

Evaluation of laparoscopic distal pancreatectomy for pancreatic cancer in our hospital

第31回日本肝胆膵外科学会・学術集会, 2019年6月, 高松

塩見尚礼, 馬場弘道, 駒井康伸

膵胆道合流異常に対する分流手術後に限局性主膵管拡張を呈した1症例

第50回日本膵臓学会大会, 2019年7月, 東京

塩見尚礼, 村本圭史, 東口貴之, 長門 優, 谷口正展, 園田寛道, 丹後泰久, 張 弘富, 中村一郎, 中村誠昌

当院における膵腸吻合の手技と成績

第46回日本膵切研究会, 2019年8月, 下呂

寺村育美(長浜赤十字病院 がん診療支援室), 富永治美, 伊藤聡子, 布施智絵, 塩見尚礼

シームレスな治療をめざして『私のカルテ』の運用

第55回日本赤十字社医学会総会, 2019年10月, 広島

竹内佳代(長浜赤十字病院 外科), 谷口正展, 村本圭史, 東口貴之, 園田寛道, 丹後泰久, 張 弘富, 中村一郎, 中村誠昌, 塩見尚礼

胃内異物を腹腔鏡下で摘出した1例

第55回日本赤十字社医学会総会, 2019年10月, 広島

塩見尚礼, 村本圭史, 東口貴之, 長門 優, 谷口正展, 園田寛道, 丹後泰久, 張 弘富, 中村一郎, 中村誠昌

急性胆道感染症診療の現状と今後～ガイドライン改訂後どう変わったか～ 当院における急性胆嚢炎診療の Tokyo guideline 2018 治療指針による検討

第32回日本外科感染症学会総会, 2019年11月, 岐阜

園田寛道, 三宅 亨, 植木智之, 清水智治, 前平博充, 竹林克士, 貝田佐知子, 飯田洋也, 山口 剛, 谷 眞至

経肛門腹腔鏡手術を用いた局所進行低位直腸 GIST に対する術前化学療法後の腹腔鏡下直腸部分切除術

第74回日本消化器外科学会総会, 2019年7月, 東京

園田寛道, 清水智治, 三宅 亨, 植木智之, 小島正継, 長澤芳信, 谷 眞至

cStage2-3 直腸癌に術前化学療法の有用性

第74回日本大腸肛門病学会学術集会, 2019年10月, 東京

園田寛道, 清水智治, 長澤芳信, 三宅 亨, 植木智之, 谷 眞至

ロボット支援腹腔鏡下直腸低位前方切除術の初期治療成績

第57回日本癌治療学会学術集会, 2019年10月, 福岡

園田寛道, 村本圭史, 東口貴之, 長門 優, 谷口正展, 丹後泰久, 張 弘富, 中村一郎, 中村誠昌, 塩見尚礼

地方一般市中病院における pT4 大腸癌に対する腹腔鏡手術の治療成績

第81回日本臨床外科学会総会, 2019年11月, 高知

園田寛道, 村本圭史, 東口貴之, 長門 優, 谷口正展, 丹後泰久, 張 弘富, 中村一郎, 中村誠昌, 塩見尚礼

地方一般市中病院における pT4 大腸癌に対する腹腔鏡手術の治療成績

第32回日本内視鏡外科学会総会, 2019年12月, 神奈川

園田寛道

大腸癌におけるスチバーガのポジショニング

滋賀 CRC Expert meeting, , 2019年5月, 滋賀

園田寛道

進行再発大腸癌化学療法における最適な二次治療を考える

Colorectal Cancer Confernce in SHIGA 2019, 2019年9月, 滋賀

園田 寛道, 村本圭史, 東口貴之, 長門 優, 谷口正展, 丹後泰久, 張 弘富, 中村一郎, 中村誠昌, 塩見尚礼

当院におけるスムーズなロボット支援腹腔鏡下直腸切除術導入の工夫

第26回滋賀内視鏡手術研究会, 2019年11月, 滋賀

谷口正展, 前川毅, 東口貴之, 長門 優, 丹後泰久, 張 弘富, 中村一郎, 中村誠昌, 塩見尚礼

当院における進行下部直腸癌に対する術前放射線化学療法の治療成績

第74回日本消化器外科学会総会, 2019年7月, 品川

谷口正展, 東口貴之, 長門 優, 丹後泰久, 中村一郎, 塩見尚礼

坐骨直腸窩に発生した平滑筋肉腫の一例

第74回日本大腸肛門病学会学術集会, 2019年10月, 東京

谷口正展, 村本圭史, 東口貴之, 長門 優, 谷口正展, 園田寛道, 丹後泰久, 張 弘富, 中村一郎, 中村誠昌,

塩見尚礼

腹腔鏡下直腸癌手術における縫合不全リスク因子の検討

第32回日本内視鏡外科学会総会, 2019年12月, 神奈川

長門 優, 丹後泰久, 前川 毅, 東口貴之, 谷口正展, 張 弘富, 中村一郎, 中村誠昌, 塩見尚礼
水上オートバイ事故による外傷性直腸壁損傷に対してダメージコントロール手術を行った1例
第74回日本消化器外科学会総会, 2019年7月, 品川

園田寛道, 村本圭史, 東口貴之, 長門 優, 谷口正展, 丹後泰久, 張 弘富, 中村一郎, 中村誠昌, 塩見尚礼, 山中章義,
中島正敬
同時性巨大卵巣転移, 腹膜播種を伴った上行結腸癌に対して根治手術を施行しえた1例
第92回大腸癌研究会, 2020年1月, 広島

中村誠昌
原子力災害時の保健医療支援の“空白”をどのように埋めるか
第25回日本災害医学会総会・学術集会, 2020年2月, 神戸

塩見尚礼
そこがポイント!おなかの病気, 最新治療 「胆嚢・胆管の病気」
日本消化器病学会関西支部 第62回市民公開講座, 2019年9月, 草津

塩見尚礼
胆石のお話し
赤十字県民大学, 2019年11月, 米原

塩見尚礼
がんちゃんの冒険
長浜市立南中学校 がん教育授業, 2019年11月, 長浜

塩見尚礼
がんの予防と治療について～お腹にできるがんを中心に～
赤十字県民大学, 2019年5月, 米原

医療法人社団医伸会 のじまバスキュラーアクセスクリニック

【論文】

<和文学術論文>

野島武久, 本宮康樹
シャント作製困難例の原因と対策
腎と透析 87 (別冊): 6-8, 2019

野島武久, 本宮康樹
閉塞病変に対する E-VAC 血栓吸引カテーテルの選択と実際
透析 VAIVT 1 : 52-55, 2019

【学会発表】

<全国学会・地方会>

野島武久
GIT-graft inclusion technique-
Vascular Access Conference, 2019年5月, 東京

野島武久, 本宮康樹
術者単独での AVF/AVG における手術手技工夫と長期成績
第23回日本アクセス研究会学術集会・総会, 2019年9月, 横浜

野島武久, 本宮康樹
過剰血流内シャントへの Graft Inclusion Technique 12 年の長期成績
第 23 回日本アクセス研究会学術集会・総会, 2019 年 9 月, 横浜

野島武久, 本宮康樹
Cephalic arch stenosis (CAS) への治療戦略と cephalic vein transposition の有用性
第 23 回日本アクセス研究会学術集会・総会, 2019 年 9 月, 横浜

野島武久
動画で見るアクセス治療の実際
第 11 回神奈川バスキュラーアクセス勉強会, 2019 年 10 月, 横浜

野島武久
究道会, とともに歩んだこの 5 年
第 10 回究道会 2019 年 11 月, 大阪

野島武久
術者単独 AVF 作製時の初期成功率向上への工夫と長期成績
第 5 回京都 Vascular Access Meeting, 2019 年 11 月, 京都

野島武久
Video lecture series for Vascular Access
Interventional Nephrology Seminar in 呉, 2020 年 2 月, 呉

医療法人社団昂会 東近江市立能登川病院

【論文】

< 和文学術論文 >

油木純一, 長谷川 均, 雑賀興慶, 松田和哉
虫垂に酷似した大腸重複症に穿孔と穿通を合併した 1 例
日本腹部救急医学会雑誌 39 (5), 2019

【学会発表】

< 全国学会・地方会 >

油木純一, 長谷川 均
鼠径ヘルニアに関する Radoiech's angle の検討
第 17 回日本ヘルニア学会, 2019 年 5 月, 四日市

油木純一, 迫 裕孝, 長谷川 均, 籠 洋三, 谷 総一郎, 東田宏明, 仲 成幸, 花澤一芳
乳癌との鑑別を要した肉芽腫性乳腺炎の 1 例
第 81 回日本臨床外科学会, 2019 年 11 月, 高知

独立行政法人国立病院機構 東近江総合医療センター 呼吸器外科

【論文】

< 英文学術論文 >

Ohuchi M, Inoue S, Ozaki Y, Namura Y, Ueda K.

Single-trocar thoroscopic periardio-pleural fenestration under local anesthesia for malignant pleural effusion:a case report.

Surgical Case Report. 5(136); 1-4, 2019

< 和文学術論文 >

藤田琢也, 片岡瑛子, 花岡 淳, 井上修平, 尾崎良智, 大内政嗣

肋間開胸術後に発症した肋骨骨髓炎・肋軟骨炎

胸部外科 73 (2) : 117-119, 2020

【学会発表】

< 国際学会 >

Ohuchi M, Inoue S, Ozaki Y, Namura Y, Wada H, Sakashita T.

Evaluation of lung expansion after single-trocar video-assisted flexible thoroscopic debriedment under local anesthesia for multiloculaed parapneumonic empyema.

24th Congress of the Asian Pacific Society of Respirology, 2019年11月, Hanoi

< 全国学会・地方会 >

尾崎良智, 井上修平, 大内政嗣, 苗村佑樹

抗 gamma aminobutyric acid(GABA) A 受容体抗体による自己免疫性脳炎を併発した胸腺腫の1例

第36回日本呼吸器外科学会学術集会, 2019年5月, 大阪

大内政嗣, 井上修平, 尾崎良智, 苗村佑樹

後縦隔ミューラー管嚢胞の1切除例

第36回日本呼吸器外科学会学術集会, 2019年5月, 大阪

上林憲司, 尾崎良智, 月野光博

自施設における2018年NSCLC IV期症例数・EGFR遺伝子変異陽性症例数に対する1st TKI治療の内訳
肺癌治療について考える～EGFR TKIを中心に～, 2019年5月, 長浜

大内政嗣, 井上修平, 尾崎良智, 苗村佑樹

結核性胸膜炎の治療後8年を経過して発生し, 肺内に穿破した胸膜結核腫の1例

第94回日本結核病学会総会, 2019年6月, 大分

和田 広, 坂下拓人, 井上修平, 尾崎良智, 大内政嗣, 苗村佑樹

当院における中心静脈カテーテル留置を要した結核患者の検討

第94回日本結核病学会総会, 2019年6月, 大分

尾崎良智, 井上修平, 大内政嗣, 苗村佑樹, 和田 広, 坂下拓人

抗結核治療中に多発病変を形成した胸囲結核の1手術例

第94回日本結核病学会総会, 2019年6月, 大分

苗村佑樹, 尾崎良智, 大内政嗣, 井上修平

免疫チェックポイント阻害剤のrechallenge療法についての検討

第110回日本肺癌学会関西支部学術集会, 2019年6月, 京都

大内政嗣, 井上修平, 尾崎良智, 苗村佑樹, 和田 広, 坂下拓人

当院における局所麻酔下細径胸腔鏡施行症例の検討

第42回日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2019年7月, 東京

尾崎良智, 苗村佑樹, 大内政嗣, 井上修平
当科における免疫チェックポイント阻害剤の rechallenge 療法
Lung Cancer Conference in Shiga, 2019年7月, 大津

苗村佑樹, 大内政嗣, 尾崎良智, 井上修平
術中・術後に偶発的に発見された肺結節病変の2例
第47回 Shiga Chest Disease Conference, 2019年7月, 大津

大内政嗣, 井上修平, 尾崎良智, 苗村佑樹
当科における若年性女性気胸手術症例の検討
第23回日本気胸・嚢胞性肺疾患学会総会, 2019年8月, 東京

大内政嗣, 苗村佑樹, 尾崎良智, 井上修平
胸腔鏡下右肺上葉切除術
第55回近江呼吸器疾患研究会, 2019年8月, 京都

苗村佑樹, 尾崎良智, 井上修平, 大内政嗣
当科における糖尿病を合併した臨床病期分類IV期原発性肺癌に対するプラチナ併用化学療法についての検討
第60回日本肺癌学会学術集会, 2019年12月, 大阪

大内政嗣, 井上修平, 尾崎良智, 苗村佑樹
小腸型腺癌への悪性転化を伴った若年者縦隔成熟奇形腫の1例
第60回日本肺癌学会学術集会, 2019年12月, 大阪

尾崎良智, 井上修平, 大内政嗣, 苗村佑樹
免疫チェックポイント阻害剤治療効果予測スコアの試み
第60回日本肺癌学会学術集会, 2019年12月, 大阪

尾崎良智, 井上修平, 大内政嗣, 苗村佑樹
肺癌治療における nab-PTX の位置づけ
第11回滋賀肺癌化学療法講演会, 2020年2月, 大津

社会医療法人生長会 ベルランド総合病院 外科

【著書】

川崎誠康, 土橋洋史, 土橋果実 他
救急医療のゴールデンタイム】診療領域別ゴールデンタイム 消化器系疾患のゴールデンタイム
救急医学 43 (12) : 1573-1579, 2019

【論文】

< 和文学術論文 >

松永隆志, 金光聖哲, 若原智之 他
術前に診断し腹腔鏡下手術を施行した子宮広間膜裂孔ヘルニア嵌頓の2例
日外科系連会誌 44 (4) : 850-856, 2019

松永隆志, 山口 剛, 貝田佐知子 他
後腹膜脂肪肉腫8例の検討
癌と化療 46 (13) : 2104-2106, 2019

【学会発表】

< 全国学会・地方会・その他 >

川崎誠康, 土橋果実, 松永隆志 他

腹腔鏡下結腸右半切除における頭側アプローチ先行による中結腸動脈根部郭清の定型化
日本内視鏡外科学会総会, 2019年12月, 横浜

川崎誠康, 亀山雅男, 小林宏寿 他

本邦の大腸癌腹膜播種分類における客観的評価基準導入の試み
日本消化器病学会, 2019年11月, 神戸

川崎誠康, 安田 洋, 山本堪介 他

直腸癌術前化学放射線治療の効果と再発因子についての検討
第74回日本大腸肛門病学会学術集会, 2019年1月, 東京

川崎誠康, 安田 洋, 山本堪介 他

Peritoneal Carcinomatosis Index(PCI)との相関性を考慮した日本の大腸癌腹膜播種分類の検証
日本消化器外科学会, 2019年7月, 東京

土橋洋史, 山本堪介, 豊田 翔 他

COPD患者に対する腹腔鏡下大腸癌手術の短期成績
第74回日本消化器外科学会総会, 2019年7月, 東京

松永隆志, 前平博充, 飯田洋也 他

膵頭十二指腸切除術後早期腹腔内液体貯留の臨床的意義
第119回日本外科学会定期学術集会, 2019年4月, 大阪

松永隆志, 前平博充, 飯田洋也 他

膵頭十二指腸切除術後早期におけるCTでの腹腔内液貯留と術後合併症との関連性
第74回日本消化器外科学会総会, 2019年7月, 東京

松永隆志, 前平博充, 飯田洋也 他

膵頭十二指腸切除術後早期の腹腔内液貯留による術後合併症予測
第27回日本消化器関連学会週間 / 第17回日本消化器外科学会大会, 2019年11月, 神戸

山本堪介, 土橋果実, 松永隆志 他

マイクロサテライト不安定性で結果の異なった同時性重複大腸癌の一例
第81回日本臨床外科学会総会, 2019年11月, 高知

社会医療法人生長会 ベルランド総合病院 乳腺外科

【論文】

< 英文学術論文 >

Abe H, Tomida K, Kawai Y, Mori T, Kubota Y, Ishida M, Tani M

Breast cancer metastasis to the stomach: A case report

滋賀医科大学雑誌 32(1) : 24-27, 2019

【学会発表】

< 全国学会・地方会・その他 >

阿部 元

最新の乳がん薬物療法とその使い方

堺市薬剤師会研修会, 2019年4月, 堺

阿部 元, 堀内敏孝, 寺本敦子, 田中義人, 竹井裕美子, 米田光里, 長畑敏弘
乳癌術後急性期疼痛に対する傍脊椎ブロックと前胸壁ブロックの比較検討
第 27 回日本乳癌学会総会, 2019 年 7 月, 東京

竹井裕美子, 寺本敦子, 田中義人, 山崎圭一, 米田光里, 阿部 元
乳癌乳腺全切除術に対する, 皮弁固定によるドレーン排液減少の可能性
第 27 回日本乳癌学会総会, 2019 年 7 月, 東京

寺本敦子, 竹井裕美子, 田中義人, 山崎圭一, 米田光里, 阿部 元
バルボシクリブの至適投与量についての検討
第 27 回日本乳癌学会総会, 2019 年 7 月, 東京

田中義人, 寺本敦子, 竹井裕美子, 阿部 元, 山本大悟, 楠本健司
乳房温存術後の陥凹変形に対して Thoracodorsal Artery Flap(TDAP flap) による変形修正術 4 症例の検討
第 27 回日本乳癌学会総会, 2019 年 7 月, 東京

阿部 元, 寺本敦子, 竹井裕美子, 田中義人, 米田光里
HER2 陽性乳癌に対する Pertuzumab を用いた術前化学療法 of 検討
第 57 回日本癌治療学会学術集会, 2019 年 10 月, 福岡

竹井裕美子, 寺本敦子, 米田光里, 阿部 元
乳癌乳腺全切除術に対する, 皮弁固定によるドレーン排液減少の可能性
第 177 回日本乳癌学会近畿地方会, 2019 年 12 月, 神戸

三菱京都病院 呼吸器外科

【学会発表】

< 国際学会 >

Hiramoto S, Tamaki T, Kikuchi A, Hori T, Yoshioaka A.
Association between primary cancer site, metastatic site, comorbidity, and details of symptom and treatment in advanced gastrointestinal cancer patients at end of life.
ESMO World Congress on gastrointestinal Cancer 2019, 2019 年 7 月, Barcelona

Hiramoto S, Tamaki T, Kikuchi A, Hori T, Yoshioaka A.
Association between prognosis and discontinuation by image diagnosis for advanced gastrointestinal cancer patients who received end of life Chemotherapy.
ESMO World Congress on gastrointestinal Cancer 2019, 2019 年 7 月, Barcelona

< 全国学会・地方会・その他 >

多久和晴子, 菊池綾子, 堀 哲雄, 平本秀二, 吉岡 亮, 竹内 恵
転移再発乳癌治療に対する Advance Care Planning と予後延長効果についての影響
第 119 回日本外科学会定期学術集会, 2019 年 4 月, 大阪

堀 哲雄, 元石 充, 山下直己
手術で診断を得た左肋骨原発ランゲルハンス細胞組織球症の一例
第 36 回日本呼吸器外科学会学術集会, 2019 年 5 月, 大阪

内藤雅人, 田中崇洋, 元石 充, 高見拓矢, 堀 佑太郎, 西川 徹, 尾池文隆
胸腔鏡下に切除しえた食道嚢胞
第 81 回日本臨床外科学会, 2019 年 11 月, 高知

堀 哲雄, 元石 充, 山下直己

非小細胞肺癌に対するニボルマブによる複数の血栓塞栓症が疑われた一例

第50回日本肺癌学会学術集会, 2019年12月, 大阪

独立行政法人国立病院機構 南京都病院 呼吸器外科

【学会発表】

< 全国学会・地方会・その他 >

大塩恭彦, 余田 誠, 林 一喜, 白鳥琢也, 岡本圭吾, 川口 庸, 大塩麻友美, 花岡 淳

当科における肺癌手術時のエナジーデバイスの使用とその有効性

第119回日本外科学会定期学術集会, 2019年4月, 大阪

橋本雅之, 堀本かんな, 武田恵子, 澤井 聡, 大塩麻友美

嗄声を伴う中縦隔気管支嚢胞にエタノール固定後切除を行った一例

第36回日本呼吸器外科学会学術集会, 2019年5月, 大阪

堀本かんな, 武田恵子, 橋本雅之, 元石 充, 大塩麻友美

胸腔鏡下手術を施行した奇静脈瘤の1例

第36回日本呼吸器外科学会学術集会, 2019年5月, 大阪

大塩恭彦, 余田 誠, 林 一喜, 白鳥琢也, 岡本圭吾, 川口 庸, 大塩麻友美, 花岡 淳

エナジーデバイスと持続吸引カテーテルを組み合わせた胸腔鏡手術における工夫

第36回日本呼吸器外科学会学術集会, 2019年5月, 大阪

大塩恭彦, 余田 誠, 林 一喜, 白鳥琢也, 岡本圭吾, 川口 庸, 大塩麻友美, 仲川宏明, 福永健太郎, 中野恭幸,

花岡 淳

肺手術時の胸膜損傷の修復における新規経老閉鎖材料の模索

第42回日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2019年7月, 東京

大塩恭彦, 林 一喜, 白鳥琢也, 大塩麻友美, 花岡 淳

当科における縦隔疾患に対する治療戦略と工夫について

第32回日本内視鏡外科学会総会, 2019年12月, 横浜

医療法人社団緑成会 横浜総合病院ハートセンター 心臓血管外科

【論文】

< 和文学術論文 >

東田隆治, 大井正也, 牧 昌利

慢性難治性潰瘍に対する細胞外マトリックス (ブタ小腸粘膜下組織) グラフト (OASIS) の使用経験

日本下肢救済・足病学会誌 11(3): 104-109, 2019

【学会発表】

< 国際学会 >

Higashita R, Nakayama Y, Ohara M.

In-Body-Tissue-Engineered Vascular Graft "Biotube" as Innovative and Useful Vascular Access for Dialysis Patients.

56th ERA-EDTA Congress, 2019年6月, Budapest

< 全国学会・地方会・その他 >

牧 昌利, 東田隆治, 後藤由紀子, 藤井優佳, 藤森大吾
 当院創傷ケアセンターの総力を挙げて大腿切断を回避し足趾まで救肢し得た1例
 第11回日本下肢救済・足病学会, 2019年6月, 神戸

藤井優佳, 藤森大吾, 東田隆治, 牧 昌利
 糖尿病患者の創傷有無が活動レベルおよび身体機能に及ぼす影響
 第11回日本下肢救済・足病学会, 2019年6月, 神戸

東田隆治
 究極の再生医療「生体内組織形成術」
 第16回日本フットケア学会富士山セミナー, 2019年9月, 沼津

東田隆治
 再生臓器としての人工血管～生体内組織形成術(iBTA)による革新的人工血管の開発
 第60回日本脈管学会総会, 2019年10月, 東京

医療法人社団洛和会 洛和会音羽病院 呼吸器外科

【学会】

< 全国学会・地方会・その他 >

堀本かんな, 武田恵子, 橋本雅之, 澤井 聡
 胸腔鏡下手術を施行した奇静脈瘤の症例
 第36回日本呼吸器外科学会学術集会, 2019年5月, 大阪

堀本かんな, 武田恵子, 橋本雅之, 澤井 聡
 免疫チェックポイント阻害剤使用後に小細胞癌への転化を認めた非小細胞癌の症例
 第60回肺癌学会学術集会, 2019年12月, 大阪

一般社団法人滋賀医科大学外科同門会

■ 役 員

■ 定 款

■ 賛助会員

一般社団法人滋賀医科大学外科同門会役員・委員

令和2年(2020)年1月～

〔理事 長〕 ・加 藤 弘 文

〔副 理 事 長〕 ・谷 徹

〔理 事〕 ・谷 真 至 ・鈴木 友 彰
・浅 井 徹 ・小 玉 正 智 (名誉会員)
・花 澤 一 芳 (会計・総務) ・平 野 正 満 (会計・総務)
・来 見 良 誠 (教育・学術) ・井 上 修 平 (教育・学術)
・遠 藤 善 裕 (広報) ・白 石 昭 一 郎 (広報)

〔監 事〕 ・寺 田 信 國 ・山 本 明

〔代 議 員〕 ・梅 田 朋 子 ・江 口 豊 ・岡 藤 太 郎
・尾 崎 良 智 ・木 下 武 ・畔 柳 智 司
・澤 井 聡 ・塩 見 尚 礼 ・清 水 智 治
・内 藤 弘 之 ・仲 成 幸 ・生 内 一 夫
・花 岡 淳 ・松 林 景 二 ・水 黒 知 行
・村 田 聡 ・目 片 英 治 ・横 田 徹

〔事 務 局 長〕 ・仲 成 幸

〔委 員 会 委 員〕

(会計・総務) ・大 塩 恭 彦 ・清 水 智 治
(選挙管理委員会) ・木 下 武 ・目 片 英 治 ・近 藤 康 生
(企画(教育・学術)) ・村 田 聡 ・賀 来 良 輔 ・河 合 由 紀
(広報) ・山 口 剛 ・木 下 武
(事務局) ・木 下 武 ・山 口 剛

名 誉 会 員 ・小 玉 正 智 ・(故)岡 田 慶 夫

一般社団法人滋賀医科大学外科同門会定款

第1章 総則

(名称)

第1条 当法人は、一般社団法人滋賀医科大学外科同門会と称する。

(主たる事務所の所在地)

第2条 当法人は、主たる事務所を滋賀県大津市に置く。

2. 当法人は、理事会の決議により前項のほか、従たる事務所を必要な場所に置くことができる。

(目的)

第3条 当法人は、外科に関する学術の研鑽、普及及び滋賀医科大学外科学講座の発展と向上及び地域における外科医療の充実を目的とする。

(事業)

第4条 当法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 学術振興及び研究援助
- (2) 滋賀医科大学外科学講座の拡充と設備の強化及びその助成
- (3) 外科を志す人材勧誘活動とその支援
- (4) 関連病院及び地域医療機関との連携強化
- (5) 会員相互の親睦をはかるための行事
- (6) その他当法人の目的達成に必要と認められる事業

(公告方法)

第5条 当法人の公告方法は、主たる事務所の公衆の見やすい場所に掲示する方法により行う。

(機関)

第6条 当法人の機関として、社員総会及び理事以外に理事会及び監事を置く。

第2章 会員及び社員

(会員の資格及び社員)

第7条 当法人の会員は、次の5種とし、当法人の目的に賛同するものは、当法人の会員になることができる。

- (1) 正会員 滋賀医科大学外科学講座の過去または現在の在籍者、及び希望者
- (2) 特別会員 滋賀医科大学外科学講座の非常勤講師、あるいはこれに準じるもの
- (3) 賛助会員 法人の事業を賛助する団体及び個人
- (4) 名誉会員 原則として理事長を務めた者の中から、理事会の議を経て推薦されたもの
- (5) 休会会員 正会員のうち、休会を希望するもの

2. 当法人に第3章の規定に基づき正会員の中から選出された代議員を置き、代議員をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（以下「法人法」という。）上の社員とする。

(正会員の権利)

第8条 正会員は、第3章に定める代議員選挙の選挙権及び被選挙権を等しく有するほか、法人法に規定された次に掲げる権利を代議員（社員）と同様に当法人に対して行使することができる。

- (1) 法人法第14条第2項に定める権利（定款の閲覧等）
- (2) 法人法第32条第2項に定める権利（社員名簿の閲覧等）
- (3) 法人法第50条第6項に定める権利（社員の代理権証明書面等の閲覧等）
- (4) 法人法第52条第5項に定める権利（電磁的方法による議決権行使記録の閲覧等）
- (5) 法人法第57条第4項に定める権利（社員総会の議事録の閲覧等）
- (6) 法人法第129条第3項に定める権利（計算書類等の閲覧等）
- (7) 法人法第229条第2項に定める権利（清算法人の貸借対照表の閲覧等）
- (8) 法人法第246条第3項、第250条第3項及び第256条第3項に定める権利（合併契約等の閲覧等）

(入会)

第9条 当法人の会員となるには、当法人所定の入会申込書により入会の申し込みをし、理事会の承認を得なければならない。

(入会金及び会費)

第10条 正会員は、当法人の目的を達成するため、それに必要な経費を支払う義務を負う。

2. 正会員は、社員総会において別に定める入会金及び会費を納入しなければならない。なお、会員に関するその他の事項は、別に定める細則によるものとする。

(会員名簿)

第11条 当法人は、会員の氏名又は名称及び住所を記載した会員名簿（この名簿は、正会員につき法人法上の「社員名簿」を兼ねるものとする。）を作成し、当法人の主たる事務所に据え置くものとする。

(会員の資格喪失)

第12条 会員は、次の各号の一に該当する場合には、その資格を喪失する。

- (1) 退会したとき
- (2) 成年被後見人又は被補佐人になったとき
- (3) 死亡し、若しくは失踪宣告を受け、又は解散したとき
- (4) 正当な理由無く3年以上会費を滞納し、催告を受けてもそれに応じず、納入しないとき
- (5) 除名されたとき

(退会)

第13条 会員は、理事長が別に定める退会届を理事長に提出して、任意に退会することができる。

(除名)

第14条 当法人の会員が、当法人の名誉を棄損し、若しくは当法人の目的に反する行為をしたとき、又は社員としての義務に違反したときは、法人法第49条第2項に定める社員総会の特別決議により除名することができる。この場合、その会員に対し、議決の前に弁明の機会を与えなければならない。

(提出金品の不返還)

第15条 既納の入会金、会費及びその他の提出金品は、返還しない。

第3章 代議員

(代議員)

第16条 当法人に代議員を置き、概ね正会員数の7%の割合で選出された代議員をもって、法人法上の社員とする（端数の取扱いについては理事会で定める。）。2. 代議員は、第12条に掲げる事由により退会した場合は、法人法上の社員としての地位を喪失し、退社するものとする。

3. 代議員が理事となった場合には、代議員を辞任するものとする。

(代議員の選出)

第17条 代議員は、正会員による代議員選挙により選出する。代議員の選挙を行うために必要な細則は理事会において定める。

2. 正会員は、他の正会員と等しく代議員選挙に立候補し又は代議員を選挙する権利を有する。理事及び理事会は、代議員を選出することはできない。

(任期)

第18条 代議員の任期は、選出後3年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時社員総会（定時代議員総会）の終結の時までとする。

ただし、任期満了後においても後任者が選出されるまではその職務を行わなければならない。

また、代議員が社員総会決議取消しの訴え、解散の訴え、責任追及の訴え及び役員解任の訴え（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（以下「法人法」という。）第266条第1項、第268条、第278条、第284条）を提起している場合（法人法第278条第1項に規定する訴えの提起の請求をしている場合を含む。）には、当該訴訟が終結するまでの間、当該代議員は社員たる地位を失わない。当該代議員は、役員を選任及び解任（法人法第63条及び第70条）並びに定款変更（法人法第146条）についての議決権を有しないこととする。

2. 任期満了前に退任した代議員の補欠として選出された者の任期は、前任者の任期の残存期間と同一とする。
3. 増員により選出された代議員の任期は、他の代議員の任期の残存期間と同一とする。

（補欠代議員の予選）

第19条 代議員が欠けた場合又は代議員の員数を欠くこととなるときに備えてあらかじめ補欠の代議員を選出することができる。この場合の代議員の任期は、前任者の任期の残存期間と同一とする。

2. 補欠の代議員を予選する場合には、次に掲げる事項も併せて決定しなければならない。

- (1) 当該候補者が補欠の代議員である旨
 - (2) 当該候補者を1人又は2人以上の特定の代議員の補欠の代議員として選出するときは、その旨及び当該特定の代議員の氏名
 - (3) 同一の代議員（2人以上の代議員の補欠として選出した場合にあつては、当該2人以上の代議員）につき2人以上の補欠の代議員を選出するときは、当該補欠の代議員相互間の優先順位
3. 第1項の補欠代議員の予選に係る議決が効力を有する期間は、当該議決後3年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時社員総会（定時代議員総会）の終結の時までとする。

第4章 社員総会

（招集等）

第20条 社員総会は、第3章に定める代議員をもって組織する。

2. 前項の社員総会をもって法人法上の社員総会とする。
3. 当法人の社員総会は、定時社員総会と臨時社員総会があるものとし、定時社員総会は毎事業年度終了後2ヶ月以内に、臨時社員総会は必要がある場合に臨時開催する。
4. 社員総会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事長が招集する。
5. 総社員の5分の1の議決権を有する社員は、理事長に対し、社員総会の目的である事項及び招集の理由を示して社員総会の招集を請求することができる。
6. 社員総会の議長は、理事長がこの任に当たる。ただし、理事長に事故若しくは支障があるときは副理事長がこれに代わる。
7. 社員総会の招集は、法令に別段の定めがある場合を除き、開催日の1週間前までに、その会議の日時、場所、及び目的である事項を記載した書面又は電磁的方法によって通知しなければならない。

（権 限）

第21条 社員総会は、当法人の最高議決機関として、次の事項について議決する。

- (1) 事業報告
- (2) 役員を選任又は解任
- (3) 定款の変更
- (4) 役員報酬等の額及び規定
- (5) 法人法第113条に規定する役員責任の一部免除
- (6) 会員の除名
- (7) 解散及び残余財産の処分
- (8) 理事会において社員総会に付議した事項
- (9) その他重要な事項

（議決権）

第22条 社員総会における議決権は、社員1人につき1個とする。

（定足数及び決議の方法）

第23条 社員総会は、総社員の過半数の出席がなければ開催することができない。

2. 社員総会の決議は、法令又はこの定款に定めがある場合を除き、総社員の議決権の過半数を有する社員が出席し、出席した当該社員の議決権の過半数をもって行う。
3. 前項に規定にかかわらず、次の決議は、総社員の半数以上であつて、総社員の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行う。
 - (1) 会員の除名
 - (2) 監事の解任
 - (3) 役員等の責任の一部免除
 - (4) 定款の変更
 - (5) 解散
 - (6) その他法令で定められた事項

（書面表決等）

第24条 やむを得ない理由のために社員総会に出席できない社員は、あらかじめ通知された事項について書面をもって又は電磁的方法により表決し、若しくは他の会員を代理人として委任することができる。

2. 前項の場合における前条の規定については、その社員は出席したものとみなす。
3. 理事又は社員が社員総会の決議の目的である事項について提案した場合において、その提案について社員の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、その提案を可決する旨の社員総会の決議があつたものとみなす。

（社員総会議事録）

第25条 社員総会の議事については、法令の定めるところにより議事録を作成し、社員総会の日から10年間主たる事務所に据え置く。

2. 議長は、前項に議事録に記名押印する。

第5章 役員等

（役員設置等）

第26条 当法人に次の役員を置く。理事3名以上15名以内 監事2名以内

2. 理事のうち1名を理事長、1名を副理事長、2名以内を会長とする。
3. 前項の理事長を法人法上の代表理事とする。

（事務局及び職員）

第27条 当法人に、事務を処理するため事務局を設け、事務局長及び必要な職員を置く。

2. 事務局長は、理事会の議決を経て理事長が委嘱し、職員は理事長が任免する。
3. 事務局の組織及び運営に関する必要な事項は、理事会の議決を経て理事長が別に定める。

（選任等）

第28条 理事及び監事は、社員総会の決議によって選任する。

2. 理事長、副理事長及び会長は、理事会の決議によって理事の中から選定する。

（理事の職務権限）

第29条 理事長は、当法人を代表し、その業務を執行する。

2. 副理事長は理事長を補佐し、会長は、当法人の業務を分担執行する。
3. 事務局長は当法人の事務を執行する。
4. 理事長、会長及び事務局長は、毎事業年度毎に4ヶ月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない。

(監事の職務権限)

第30条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。

2. 監事は、いつでも、理事及び使用人に対して事業の報告を求め、当法人の業務及び財産の状況の調査をすることができる。

(任期)

第31条 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時社員総会の終結の時までとし、再任を妨げない。

2. 監事の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時社員総会終結の時までとし、再任を妨げない。

3. 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする。

4. 役員は、辞任又は任期の満了後において、定員を欠くに至った場合には、新たに選任された者が就任するまでは、その職務を行う権利義務を有する。

(解任)

第32条 役員は、社員総会の決議によって解任することができる。ただし、監事を解任する場合は、総社員の半数以上であって、総社員の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行わなければならない。

(報酬)

第33条 役員は、無報酬とする。

2. 役員には、その職務を執行するために要した費用を弁償することができる。

3. 前2項に関し必要な事項は、総会の議決を経て、理事長が別に定める。

(取引の制限)

第34条 理事が次に掲げる取引をしようとする場合は、理事会において、その取引について重要な事実を開示し、理事会の承認を得なければならない。

(1) 自己又は第三者のためにする当法人の事業の部類に属する取引

(2) 自己又は第三者のためにする当法人との取引

(3) 当法人がその理事の債務を保証することその他理事以外の者との間における当法人とその理事との利益が相反する取引

(責任の一部免除又は限定)

第35条 理事または監事は一般法人法第111条第1項の賠償責任について、法令に定める要件に該当する場合には、理事会の決議によって、賠償責任額から法令に定める最低責任限度額を控除して得た額を限度として免除することができる。

第6章 理事会

(構成)

第36条 当法人に理事会を置く。

2. 理事会は、すべての理事をもって構成する。

3. 監事は理事会に出席し、意見を述べる事ができる。

(権限)

第37条 理事会は、次の職務を行う。

(1) 当法人の業務執行の決定

(2) 理事の職務の執行の監督

(3) 理事長、副理事長及び会長の選定及び解職

(招集)

第38条 理事会は、理事長が招集する。

2. 理事長が欠けた時又は理事長に事故あるときは、各理事が理事会を招集する。

(議長)

第39条 理事会の議長は、理事長がこれに当たる。ただし、理事長が欠けたとき又は理事長に事故あるときは、理事長があらかじめ理事会の決議を経て定められた順位により他の理事がこれに代わるものとする。

(決議)

第40条 理事会の決議は、決議についての利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

(理事会の決議の省略)

第41条 理事が理事会の決議の目的である事項について提案をした場合において、当該提案につき議決に加わることができる理事の全員が書面により同意の意思表示をしたとき(監事が当該提案に異議を述べた場合を除く。)は、当該提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなす。

(理事会議事録)

第42条 理事会の議事については、法令で定めるところにより議事録を作成する。

2. 出席した理事長及び監事は、前項の議事録に署名又は記名押印し、10年間当法人の主たる事務所に据え置くものとする。

(理事会規則)

第43条 理事会に関する事項は、法令又はこの定款に定めるもののほか、理事会において定める理事会規則による。

第7章 決算

(事業年度)

第44条 当法人の事業年度は、毎年12月1日から11月30日までの年1期とする。

(事業計画及び取予算)

第45条 当法人の事業計画及び取予算については、毎事業年度開始日の前日までに理事長が作成し、理事会の決議を経て社員総会の承認(理事会の承認)を受けなければならない。

2. 前項の規定にかかわらず、やむを得ない理由により予算が成立しないときは、理事長は、社員総会の決議に基づき、予算成立の日まで前年度の予算に準じ収入を得又は支出することができる。

3. 前項の収入支出は、新たに成立した予算の収入支出とみなす。

(事業報告及び決算)

第46条 当法人の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、理事長が次の書類を作成し、監事の監査を受け、理事会の承認を経て定時社員総会に提出し、第1号、第2号についてはその内容を報告し第3号から第5号の書類については承認を受けなければならない。

(1) 事業報告書

(2) 事業報告書の附属明細書

(3) 貸借対照表

(4) 損益計算書(正味財産増減計算書)

(5) 貸借対照表及び損益計算書(正味財産増減計算書)の附属明細書

2. 第1項の書類のほか、監査報告の書類を主たる事務所に5年間据え置くとともに、定款及び会員名簿を主たる事務所に据え置くものとする。

(剰余金の処分制限)

第47条 当法人は、会員その他の者に対し、剰余金の分配をすることができない。

(残余財産の帰属)

第48条 清算をする場合において、当法人の残余財産は、類似の事業を目的とする公益社団法人又は公益財団法人に帰属させるものとする。

2. 前項に規定する他の公益社団法人又は公益財団法人は、第17条に規定する社員総会の決議により定めるものとする。

一般社団法人 滋賀医科大学外科同門会 賛助会員一覧

2020年10月1日現在

赤穂市民病院
医療法人医仁会 武田総合病院
医療法人恭昭会 彦根中央病院
医療法人弘英会 琵琶湖大橋病院
医療法人弘正会 西京都病院
医療法人社団浅ノ川 心臓血管センター 金沢循環器病院
医療法人社団昂会 日野記念病院
医療法人社団昂会 湖東記念病院
医療法人社団美松会 生田病院
医療法人社団洛和会 洛和会音羽病院
医療法人仁生会 甲南病院
医療法人総心会 長岡京病院
医療法人東和会 第一東和会病院
医療法人徳洲会 宇治徳洲会病院
医療法人徳洲会 近江草津徳洲会病院
医療法人徳洲会 岸和田徳洲会病院
医療法人芙蓉会 南草津病院
医療法人マキノ病院
医療法人友仁会 友仁山崎病院
医療法人よつば会 くろづ外科医院
近江八幡市立総合医療センター
公益財団法人近江兄弟社 ヴォーリス記念病院
公益財団法人 豊郷病院
公立甲賀病院
国民健康保険 小松市民病院
社会医療法人誠光会 草津総合病院
社会医療法人信愛会 暁生会脳神経外科病院
社会医療法人生長会 ベルランド総合病院
社会医療法人天神会 古賀病院 21
社会医療法人天神会 新古賀病院
社会福祉法人恩賜財団 済生会守山市民病院
特定医療法人社団御上会 野洲病院
独立行政法人国立病院機構 京都医療センター
独立行政法人国立病院機構 東近江総合医療センター
独立行政法人国立病院機構 南京都病院
独立行政法人地域医療機能推進機構 滋賀病院
長浜市立湖北病院
長浜赤十字病院
三菱京都病院

一般社団法人滋賀医科大学外科同門会の活動に、ご支援ご協力を賜り誠にありがとうございました。
会員相互の親睦活動に加え、外科に関する学術の研鑽、若手外科医の育成、及び地域の外科医療の発展になお一層尽力する活動を行っていく所存でございます。

一般社団法人滋賀医科大学外科同門会

滋賀医科大学外科同門会 2020年度

発行日 2020年9月

連絡先 滋賀医科大学 外科学講座内
外科同門会事務局
〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町
電話:077-548-2238 / 077-548-2244
